

## 「がん対策に関する世論調査」の概要

平成 21 年 10 月  
内閣府政府広報室

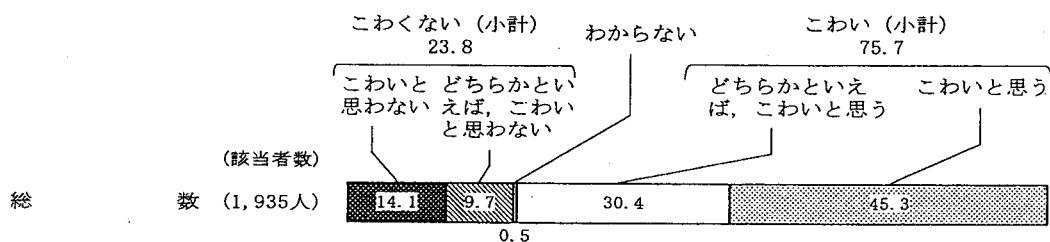
- 調査対象 全国 20 歳以上の者 3,000 人  
有効回収数 1,935 人 (回収率 64.5%)  
調査期間 平成 21 年 8 月 27 日～9 月 6 日 (調査員による個別面接聴取)
- 調査目的 がん対策に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目
- 1 がんに対する意識について
  - 2 がん検診に関する意識について
  - 3 がんに関する情報について
  - 4 がん診療について
  - 5 がん登録について
  - 6 がん対策に関する政府への要望について
- 調査実績 「がん対策に関する世論調査」(平成 19 年 9 月調査)
- その他 本調査の概要は、内閣府ホームページに 11 月 2 日 (月) より掲載  
予定です。  
<http://www8.cao.go.jp/survey/h21/h21-gantaisaku/index.html>

# 1 がんに対する意識について

## (1) がんについての印象

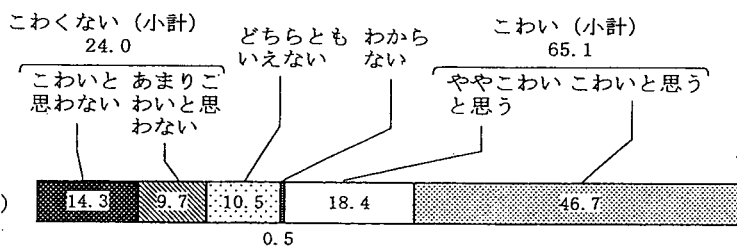
平成 21 年 9 月

- ・こわくない (小計) 23.8%
  - ・こわいと思わない 14.1%
  - ・どちらかといえば、こわいと思わない 9.7%
- ・こわい (小計) 75.7%
  - ・どちらかといえば、こわいと思う 30.4%
  - ・こわいと思う 45.3%



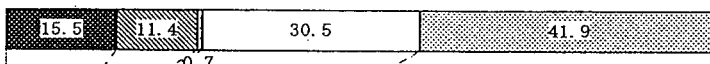
(参考)

(平成19年9月調査) (1,767人)

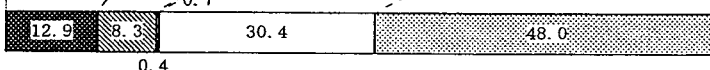


[ 性 ]

男性 (869人)

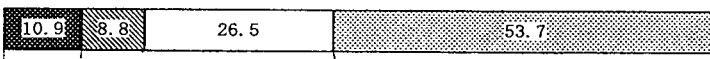


女性 (1,066人)

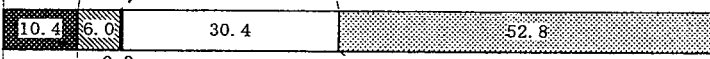


[ 年 齢 ]

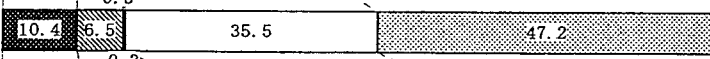
20～29歳 (147人)



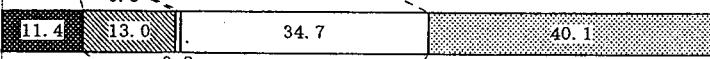
30～39歳 (299人)



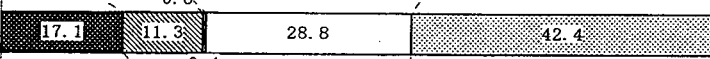
40～49歳 (307人)



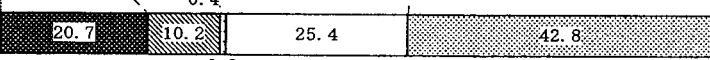
50～59歳 (369人)



60～69歳 (451人)



70歳以上 (362人)



0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)

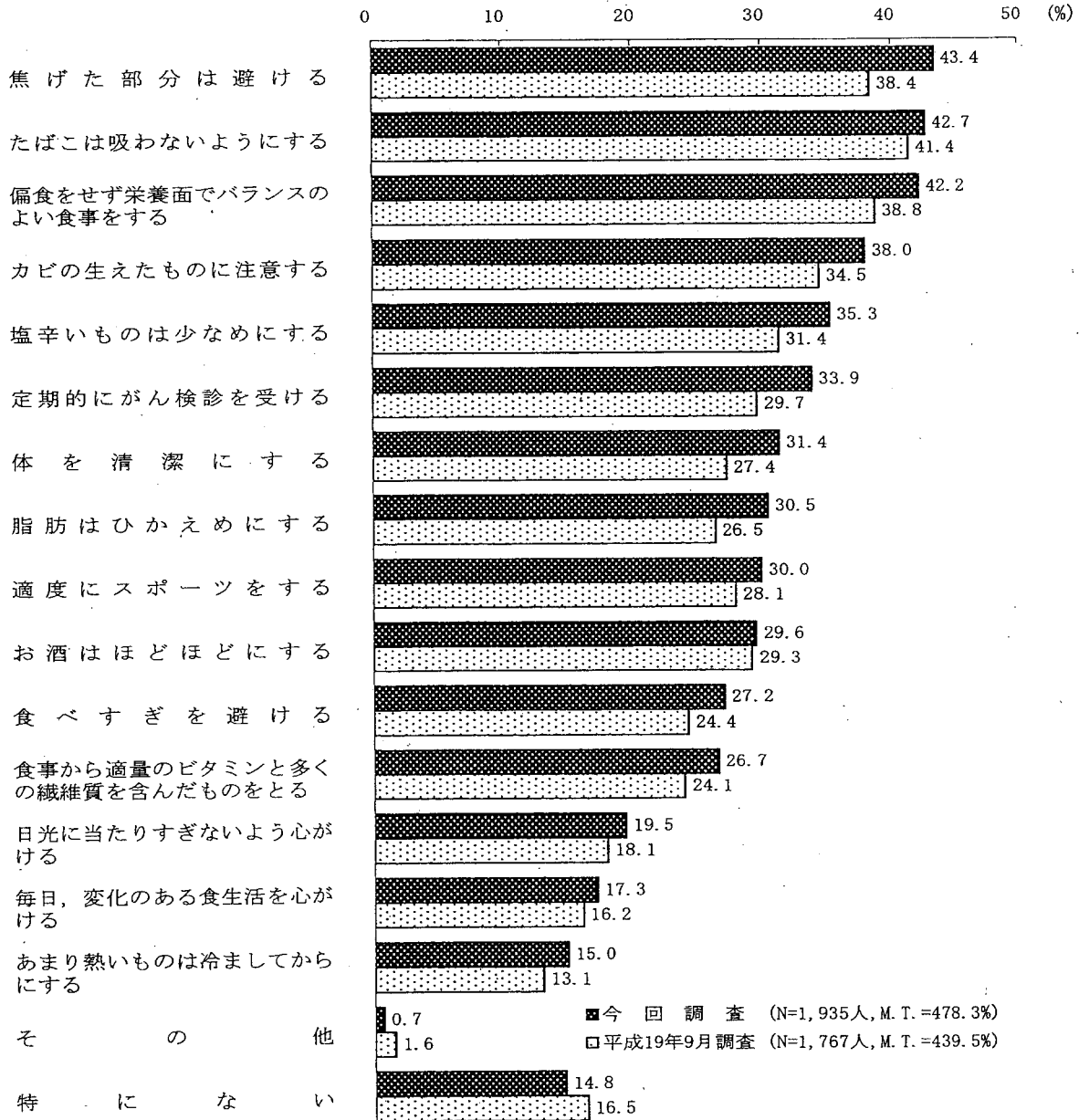
(2) がんを予防するための実践

(複数回答, 上位3項目)

平成19年9月 平成21年9月

・焦げた部分は避ける	38.4%	→	43.4% (増)
・たばこは吸わないようにする	41.4%	→	42.7%
・偏食をせず栄養面でバランスのよい食事をする	38.8%	→	42.2% (増)
・特にな	16.5%	→	14.8%

(複数回答)

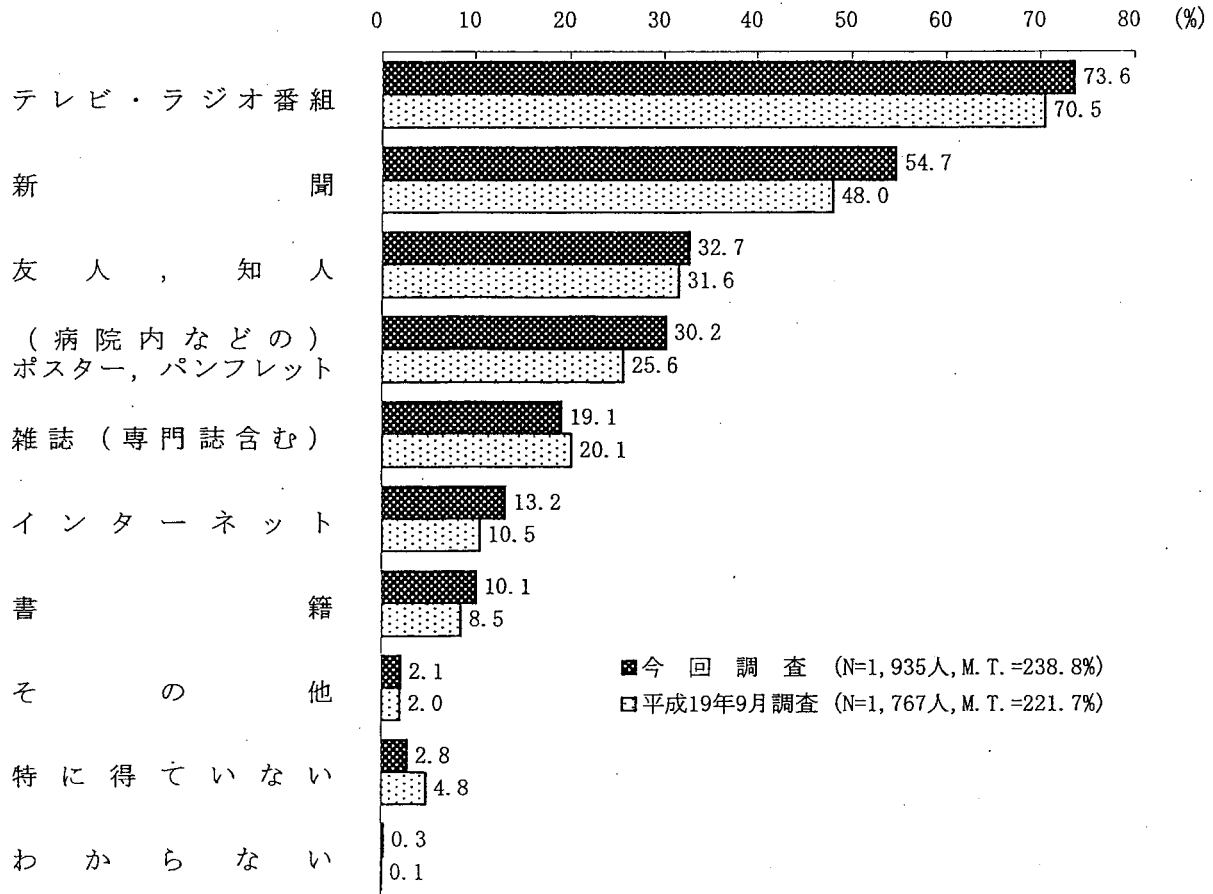


(3) がんに関する情報源

(複数回答, 上位4項目)

	平成19年9月	平成21年9月
・テレビ・ラジオ番組	70.5%	73.6% (増)
・新聞	48.0%	54.7% (増)
・友人、知人	31.6%	32.7%
・(病院内などの)ポスター、パンフレット	25.6%	30.2% (増)

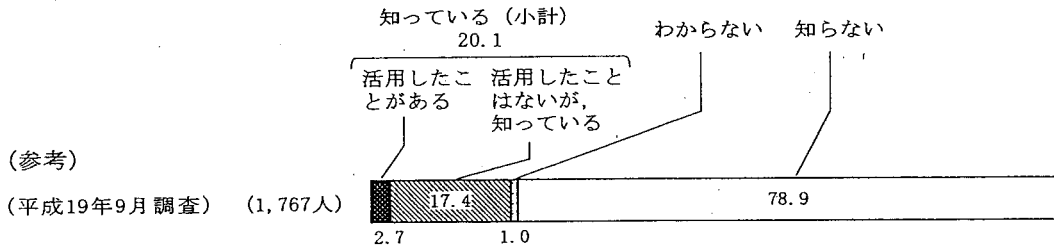
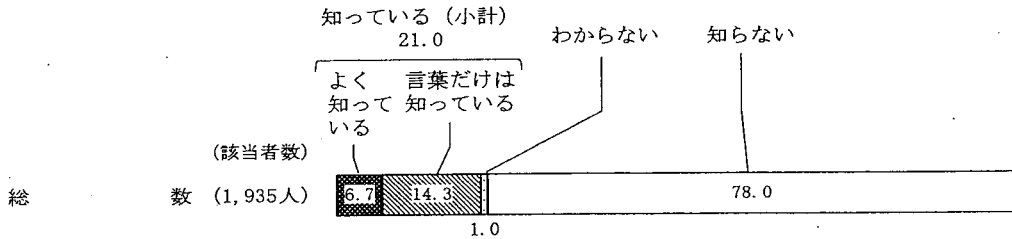
(複数回答)



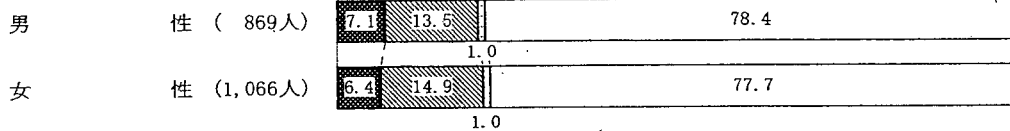
(4) がん情報サービスの認知度

平成 21 年 9 月

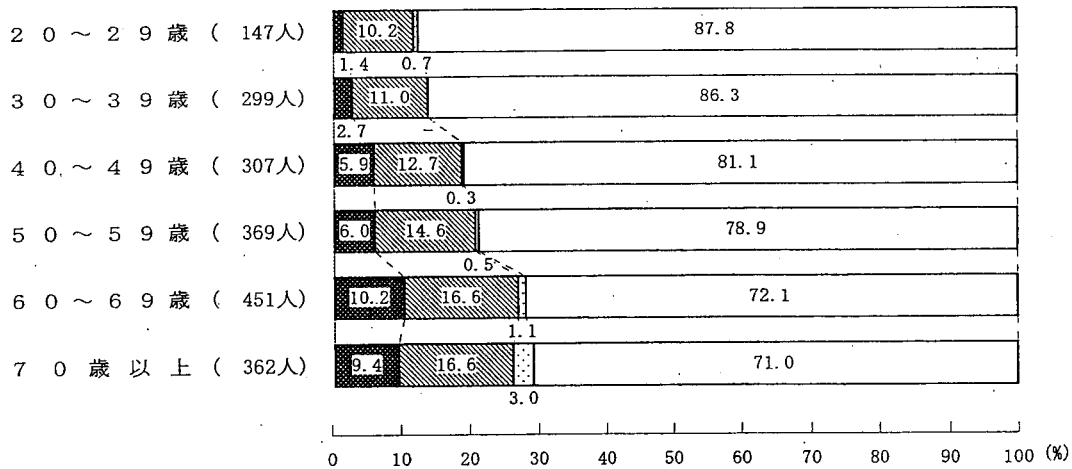
- ・知っている (小計) 21.0%
- ・よく知っている 6.7%
- ・言葉だけは知っている 14.3%
- ・知らない 78.0%



[ 性 ]



[ 年 齢 ]

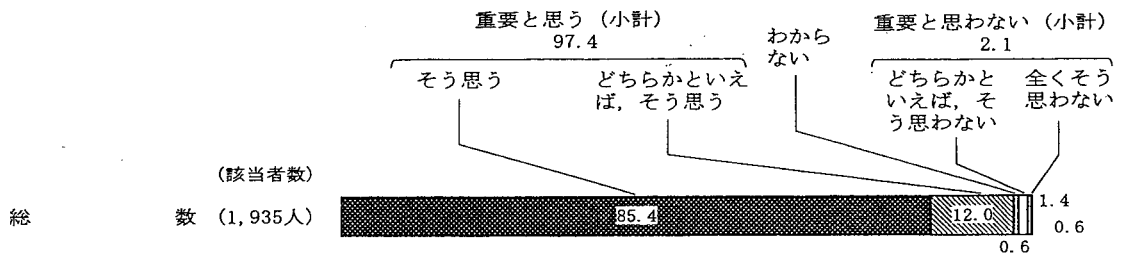


## 2 がん検診に関する意識について

### (1) がん検診の関心度

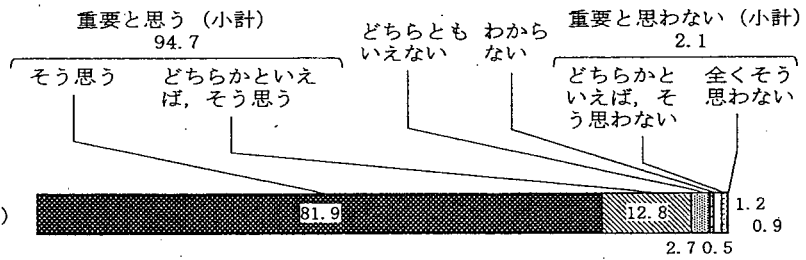
平成 21 年 9 月

・重要と思う (小計)	97.4%
・そう思う	85.4%
・どちらかといえば、そう思う	12.0%
・重要と思わない (小計)	2.1%
・どちらかといえば、そう思わない	1.4%
・全くそう思わない	0.6%



(参考)

(平成19年9月調査) (1,767人)



[ 性 ]

男性 (869人)



女性 (1,066人)



[ 年齢 ]

20～29歳 (147人)



30～39歳 (299人)



40～49歳 (307人)



50～59歳 (369人)



60～69歳 (451人)



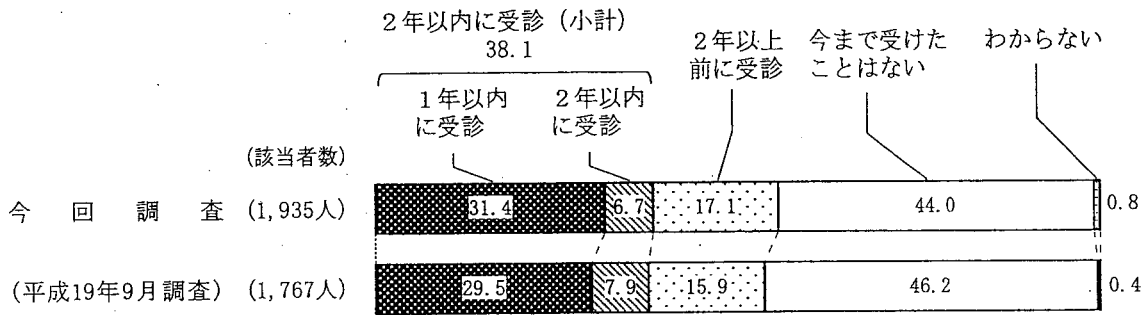
70歳以上 (362人)



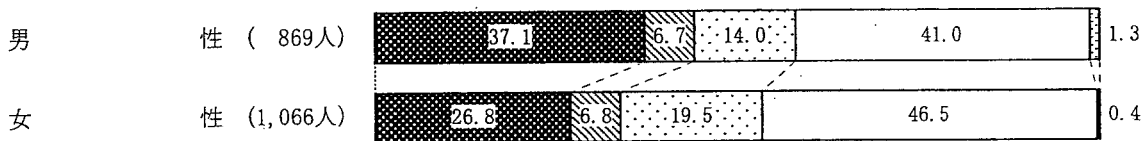
0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 (%)

(2) がん検診の受診状況（胃がん検診）

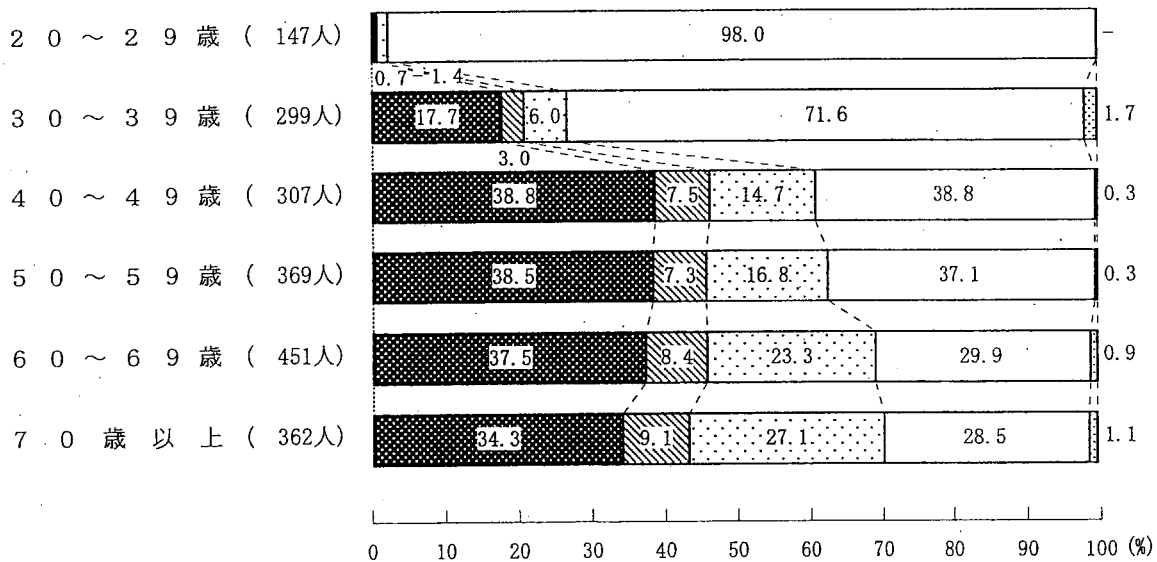
	平成 19 年 9 月	→	平成 21 年 9 月
・ 2 年以内に受診（小計）	37.5%		38.1%
・ 1 年以内に受診	29.5%		31.4%
・ 2 年以内に受診	7.9%		6.7%
・ 2 年以上前に受診	15.9%		17.1%
・ 今まで受けたことはない	46.2%		44.0%



[ 性 ]

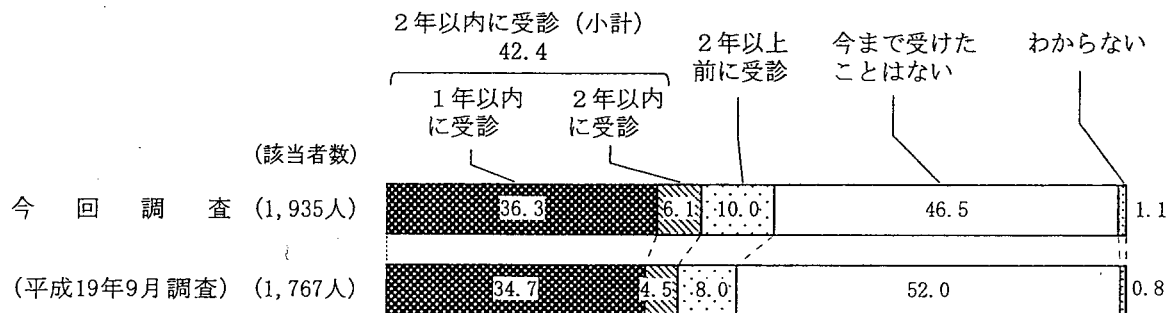


[ 年 齢 ]

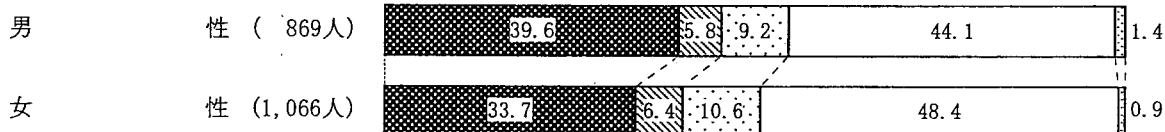


(3) がん検診の受診状況 (肺がん検診)

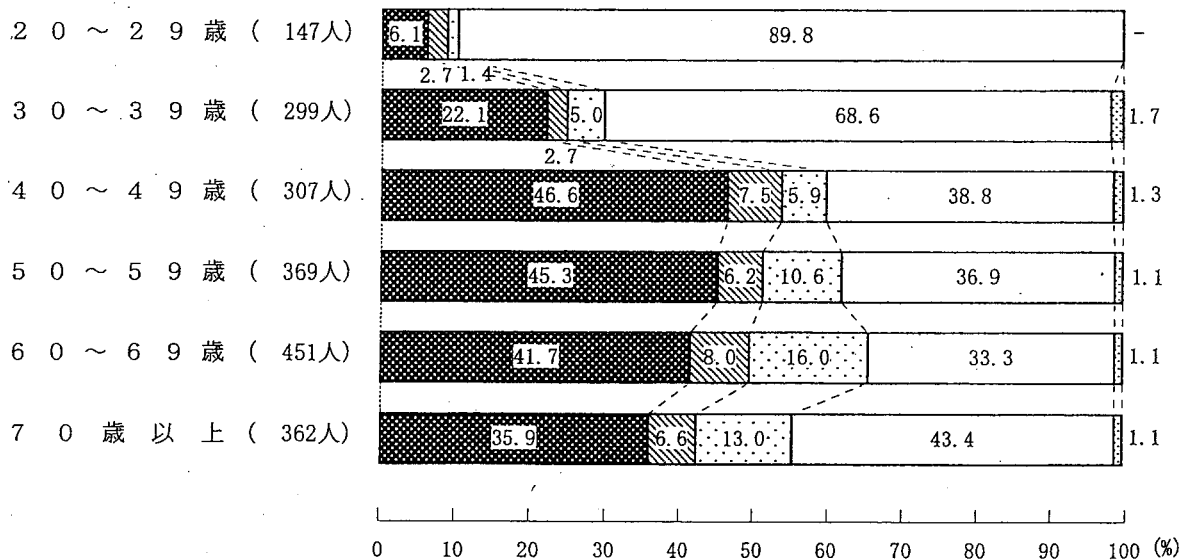
	平成 19 年 9 月	平成 21 年 9 月
・ 2 年以内に受診 (小計)	39.2%	42.4% (増)
・ 1 年以内に受診	34.7%	36.3%
・ 2 年以内に受診	4.5%	6.1% (増)
・ 2 年以上前に受診	8.0%	10.0% (増)
・ 今まで受けたことはない	52.0%	46.5% (減)



[ 性 ]



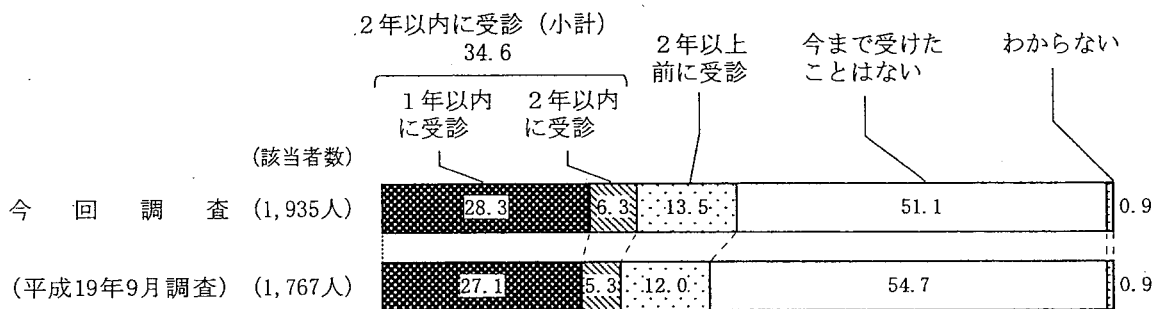
[ 年 齢 ]



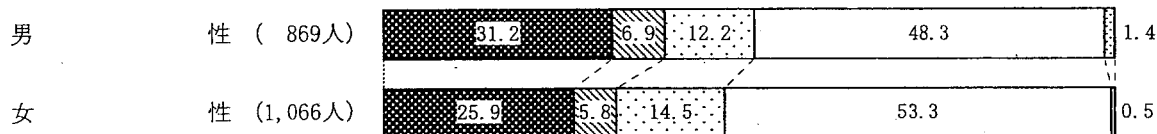


(4) がん検診の受診状況 (大腸がん検診)

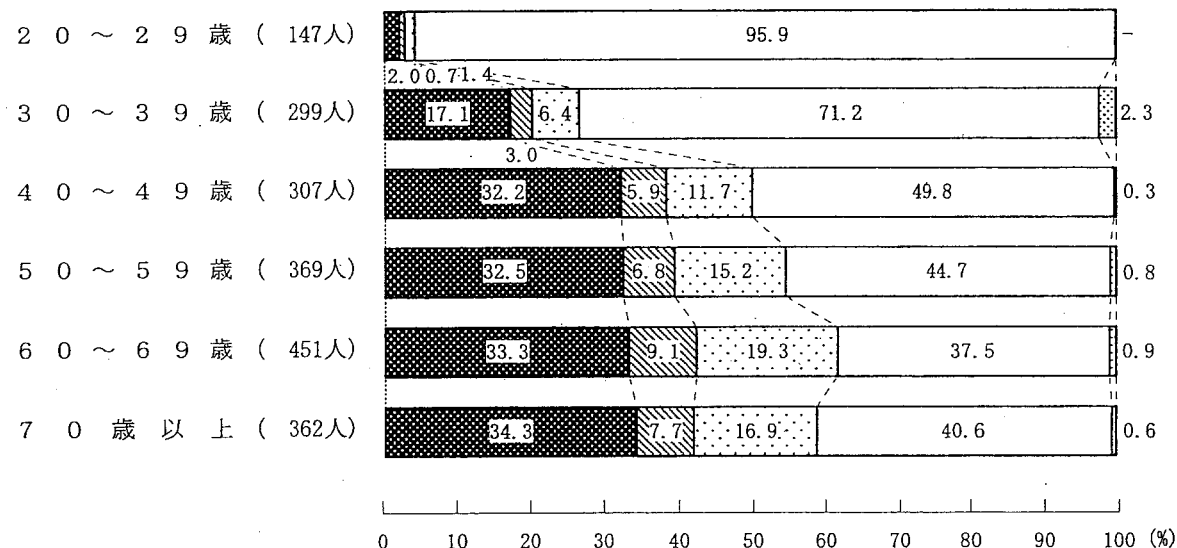
	平成19年9月	→	平成21年9月
・ 2年以内に受診 (小計)	32.4%		34.6%
・ 1年以内に受診	27.1%		28.3%
・ 2年以内に受診	5.3%		6.3%
・ 2年以上前に受診	12.0%		13.5%
・ 今まで受けたことはない	54.7%		51.1% (減)



[ 性 ]

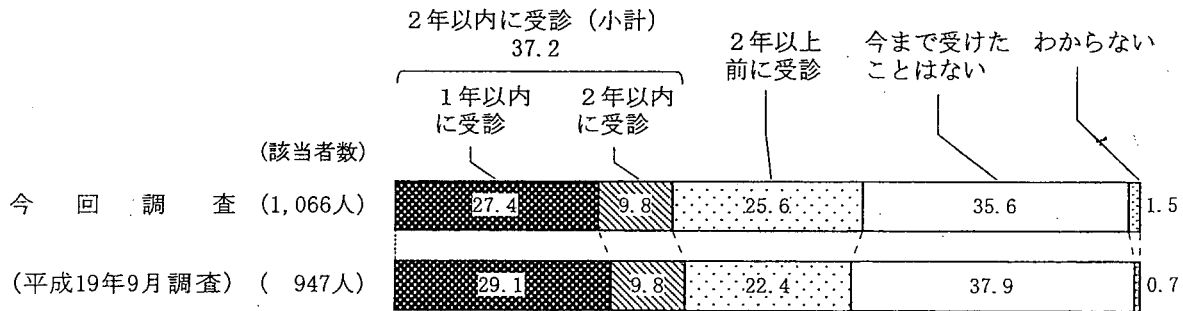


[ 年齢 ]

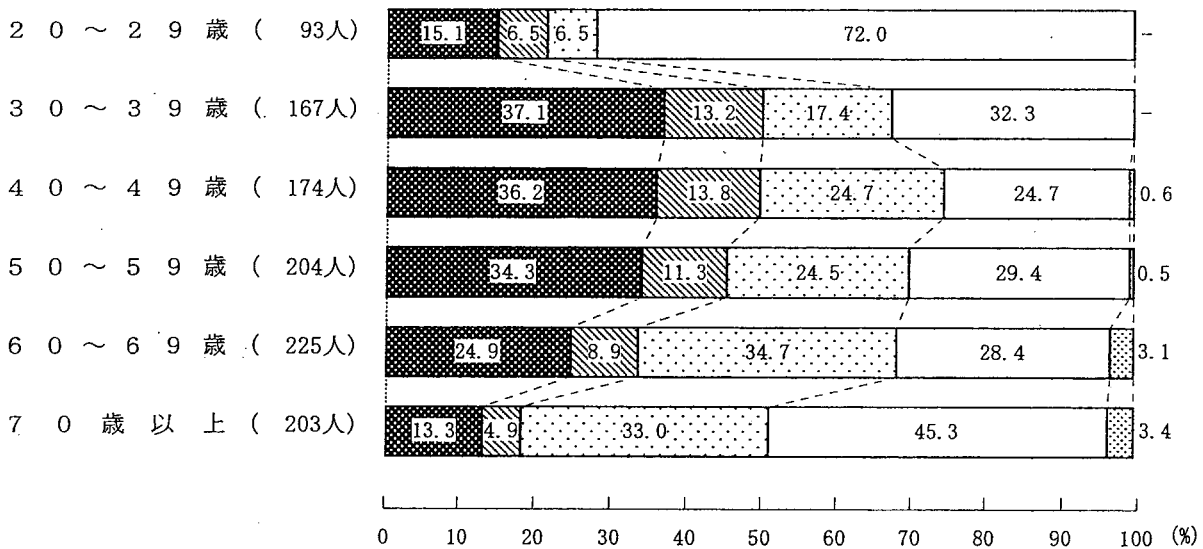


(5) がん検診の受診状況 (子宮がん検診 (女性のみ))

	平成 19 年 9 月	平成 21 年 9 月
・ 2 年以内に受診 (小計)	39.0%	→ 37.2%
・ 1 年以内に受診	29.1%	→ 27.4%
・ 2 年以内に受診	9.8%	→ 9.8%
・ 2 年以上前に受診	22.4%	→ 25.6%
・ 今まで受けたことはない	37.9%	→ 35.6%

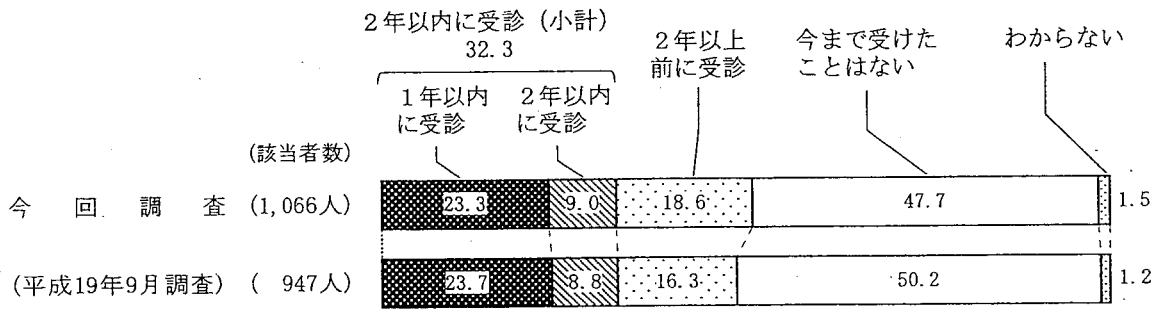


[ 年 齢 ]

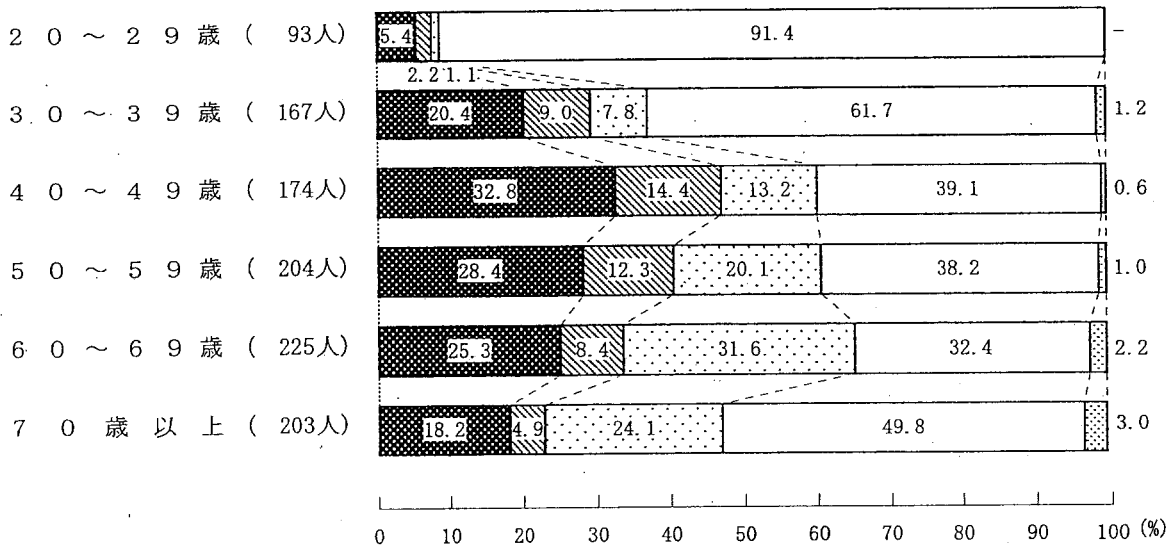


(6) がん検診の受診状況 (乳がん検診 (女性のみ))

	平成 19 年 9 月	→	平成 21 年 9 月
・ 2 年以内に受診 (小計)	32.4%		32.3%
・ 1 年以内に受診	23.7%		23.3%
・ 2 年以内に受診	8.8%		9.0%
・ 2 年以上前に受診	16.3%		18.6%
・ 今まで受けたことはない	50.2%		47.7%

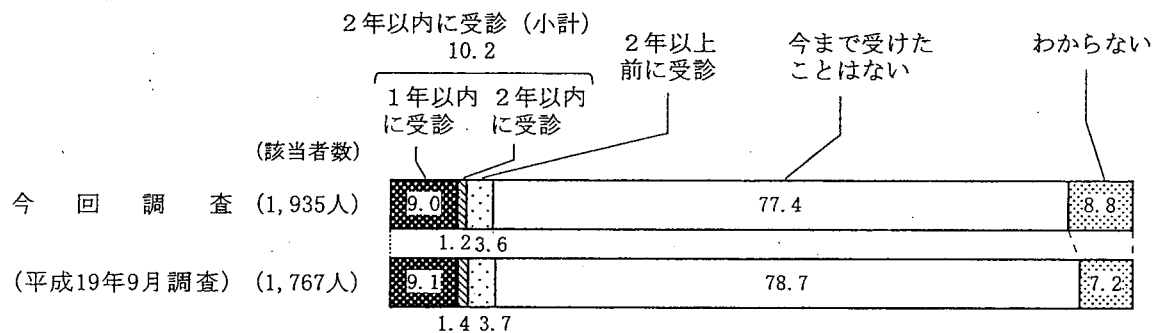


[ 年 齢 ]

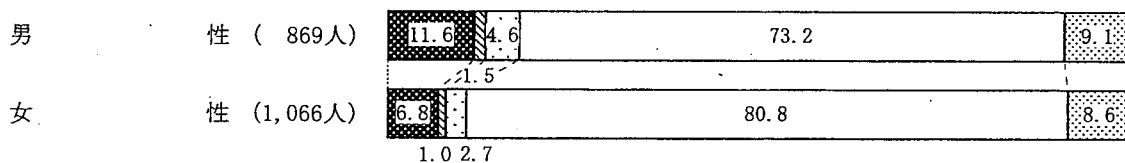


(7) がん検診の受診状況 (その他のがん検診)

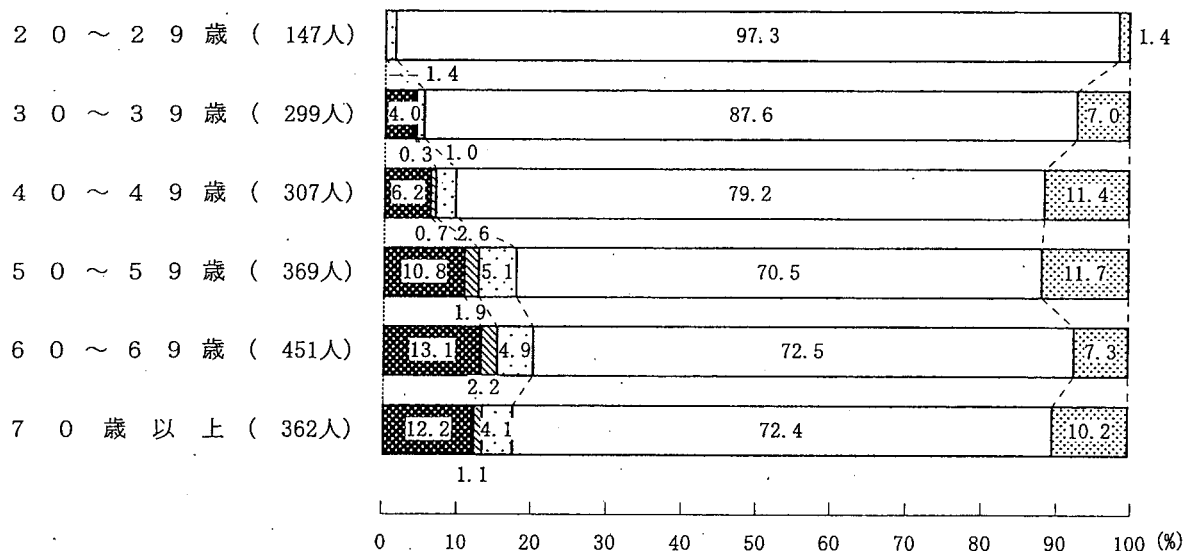
	平成 19 年 9 月	→	平成 21 年 9 月
・ 2 年以内に受診 (小計)	10.4%		10.2%
・ 1 年以内に受診	9.1%		9.0%
・ 2 年以内に受診	1.4%		1.2%
・ 2 年以上前に受診	3.7%		3.6%
・ 今まで受けたことはない	78.7%		77.4%



[ 性 ]



[ 年 齢 ]



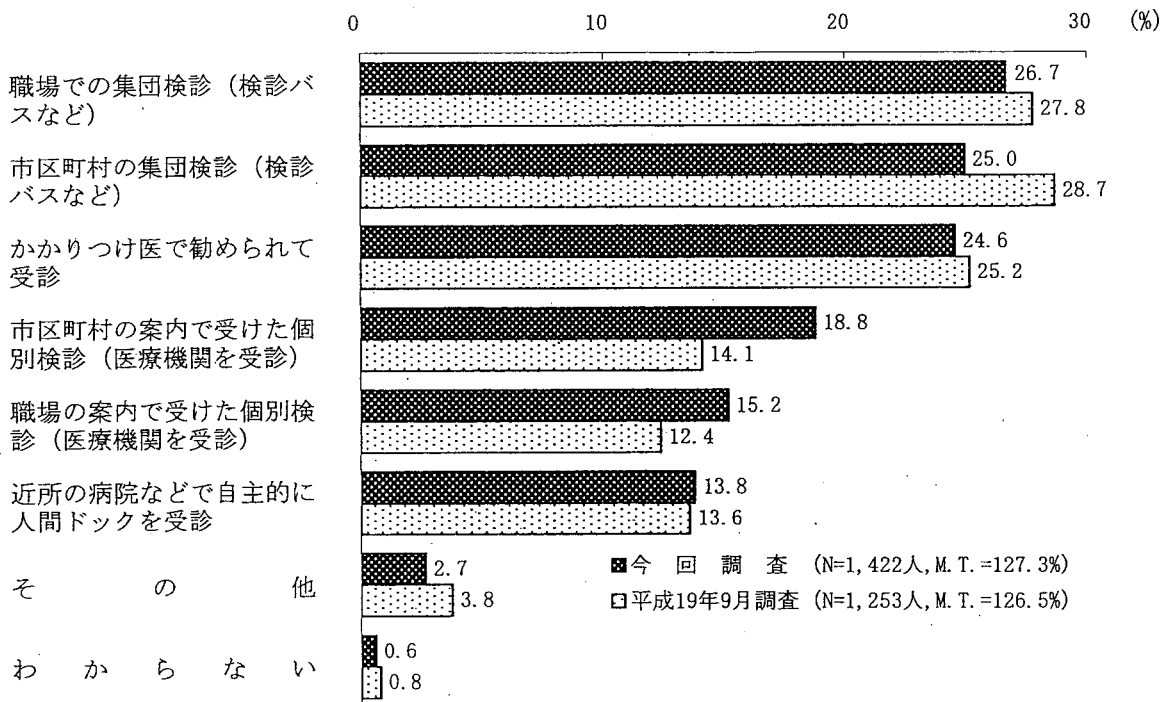
(各がん検診項目で、「1年以内に受診」、「2年以内に受診」及び「2年以上前に受診」に、1つでも答えた者(1,422人)に)

ア. がん検診の受診場所

(複数回答, 上位4項目)

	平成19年9月	平成21年9月
・職場での集団検診(検診バスなど)	27.8%	26.7%
・市区町村の集団検診(検診バスなど)	28.7%	25.0% (減)
・かかりつけ医で勧められて受診	25.2%	24.6%
・市区町村の案内で受けた個別検診(医療機関を受診)	14.1%	18.8% (増)

(一度でも何らかのがん検診を受診された者に, 複数回答)



(各がん検診項目で、「2年以上前に受診」及び「今まで受けたことはない」に、1つでも答えた者(1,729人)に)

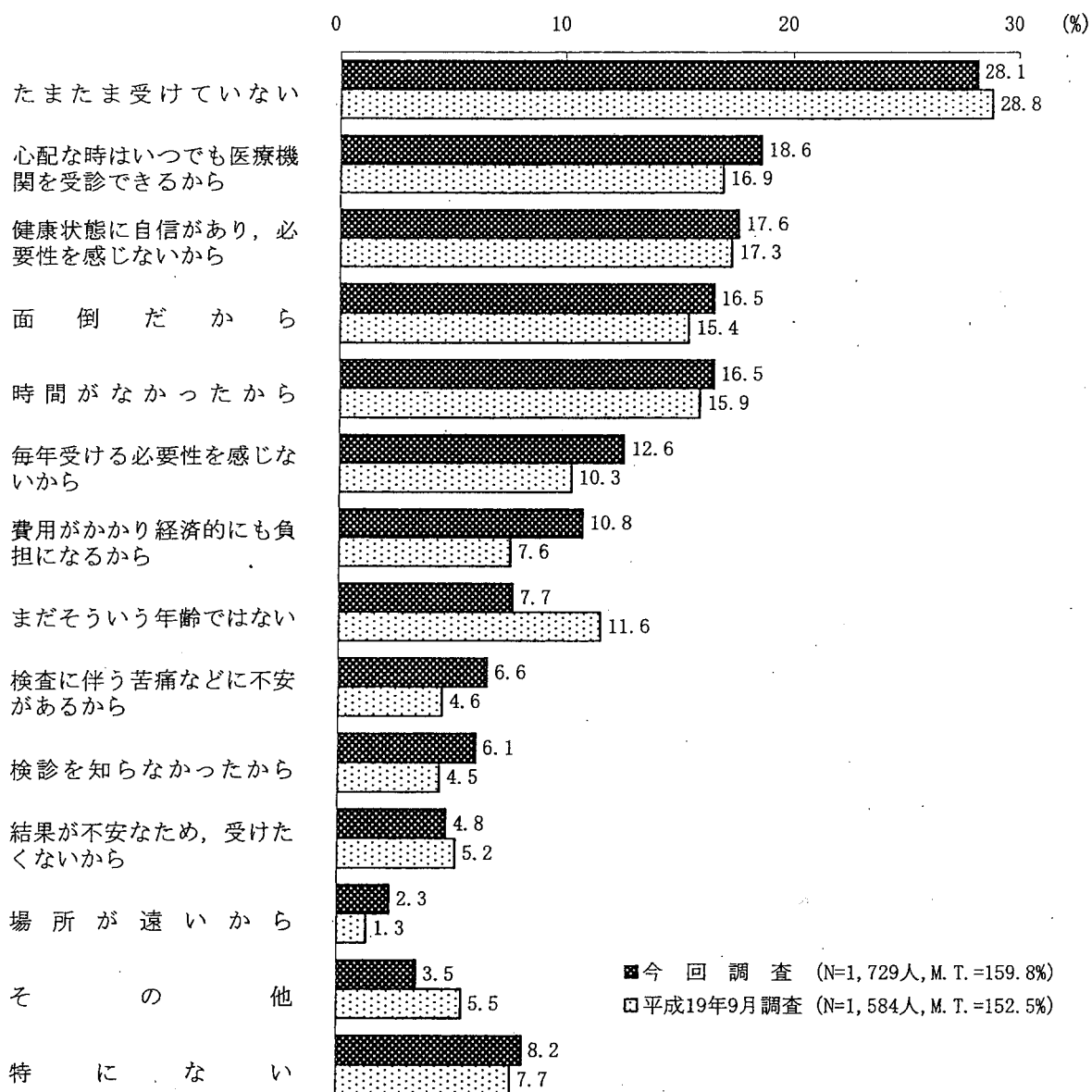
イ 最近、未受診の理由

(複数回答, 上位5項目)

平成19年9月 平成21年9月

・たまたま受けていない	28.8%	→	28.1%
・心配な時はいつでも医療機関を受診できるから	16.9%	→	18.6%
・健康状態に自信があり、必要性を感じないから	17.3%	→	17.6%
・面倒だから	15.4%	→	16.5%
・時間がなかったから	15.9%	→	16.5%

がん検診を「2年以上前に受診」,  
「今まで受けたことはない」と答えた者に、複数回答



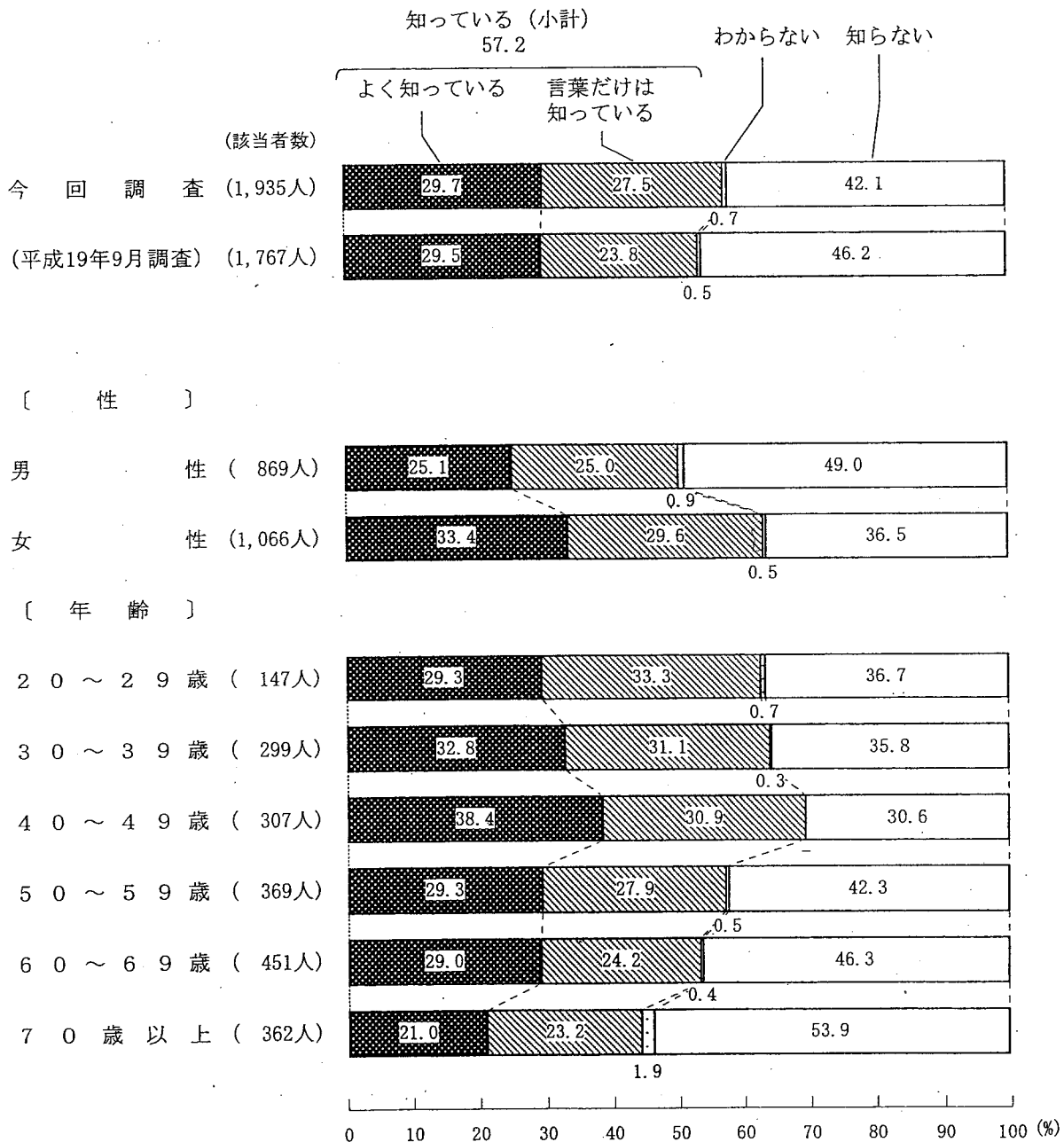
■今回調査 (N=1,729人, M.T.=159.8%)

□平成19年9月調査 (N=1,584人, M.T.=152.5%)

### 3 がんに関する情報について

#### (1) セカンド・オピニオンの認知度

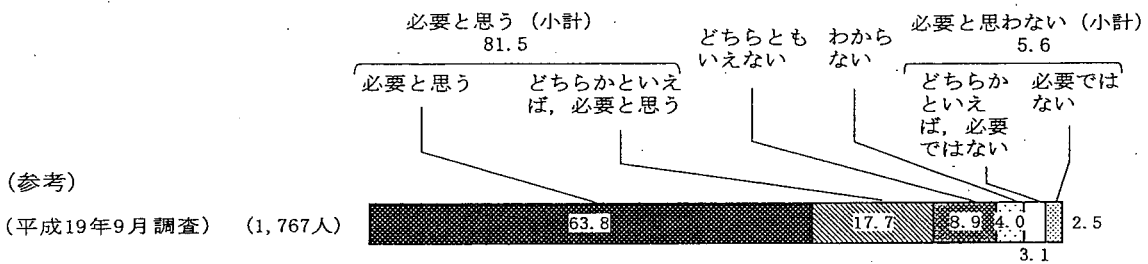
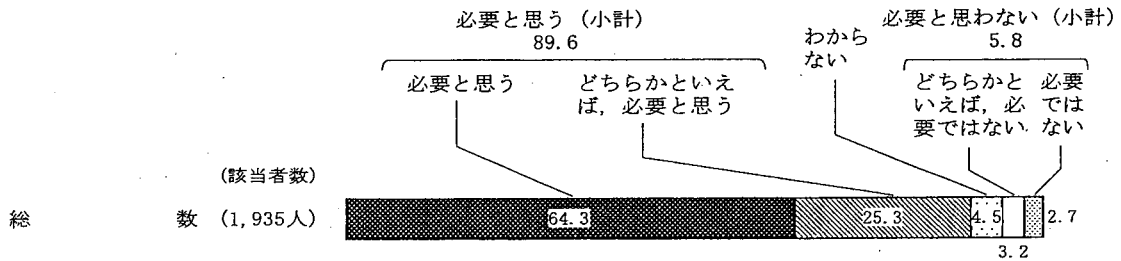
	平成 19 年 9 月	平成 21 年 9 月
・知っている (小計)	53.3%	→ 57.2% (増)
・よく知っている	29.5%	→ 29.7%
・言葉だけは知っている	23.8%	→ 27.5% (増)
・知らない	46.2%	→ 42.1% (減)



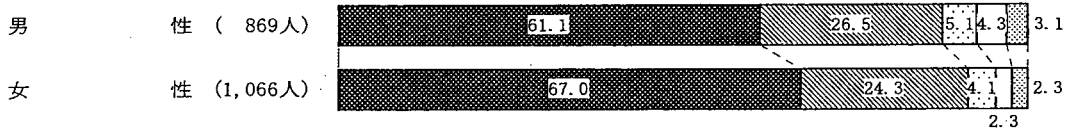
(2) セカンド・オピニオンに対する意向

平成 21 年 9 月

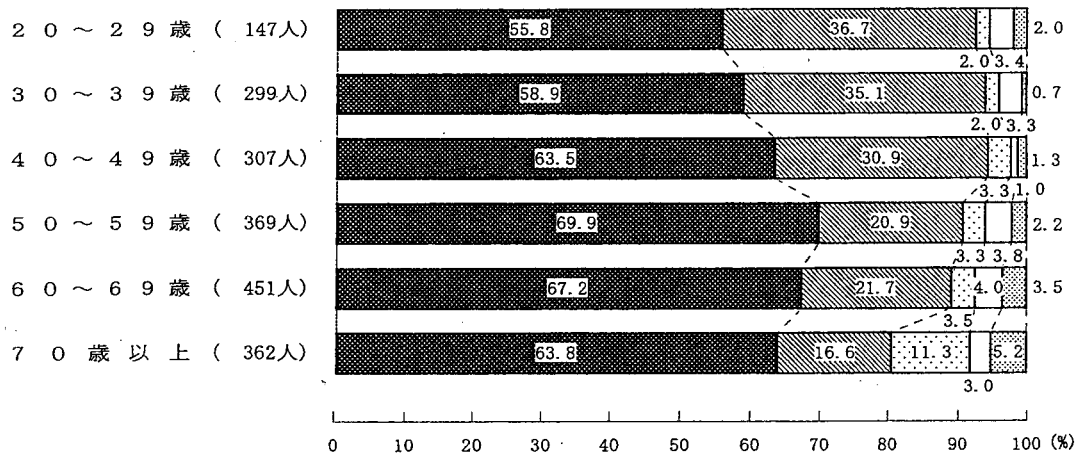
- ・必要と思う (小計) 89.6%
- ・必要と思う 64.3%
- ・どちらかといえば、必要と思う 25.3%
- ・必要と思わない (小計) 5.8%
- ・どちらかといえば、必要ではない 3.2%
- ・必要ではない 2.7%



[ 性 ]



[ 年 齢 ]



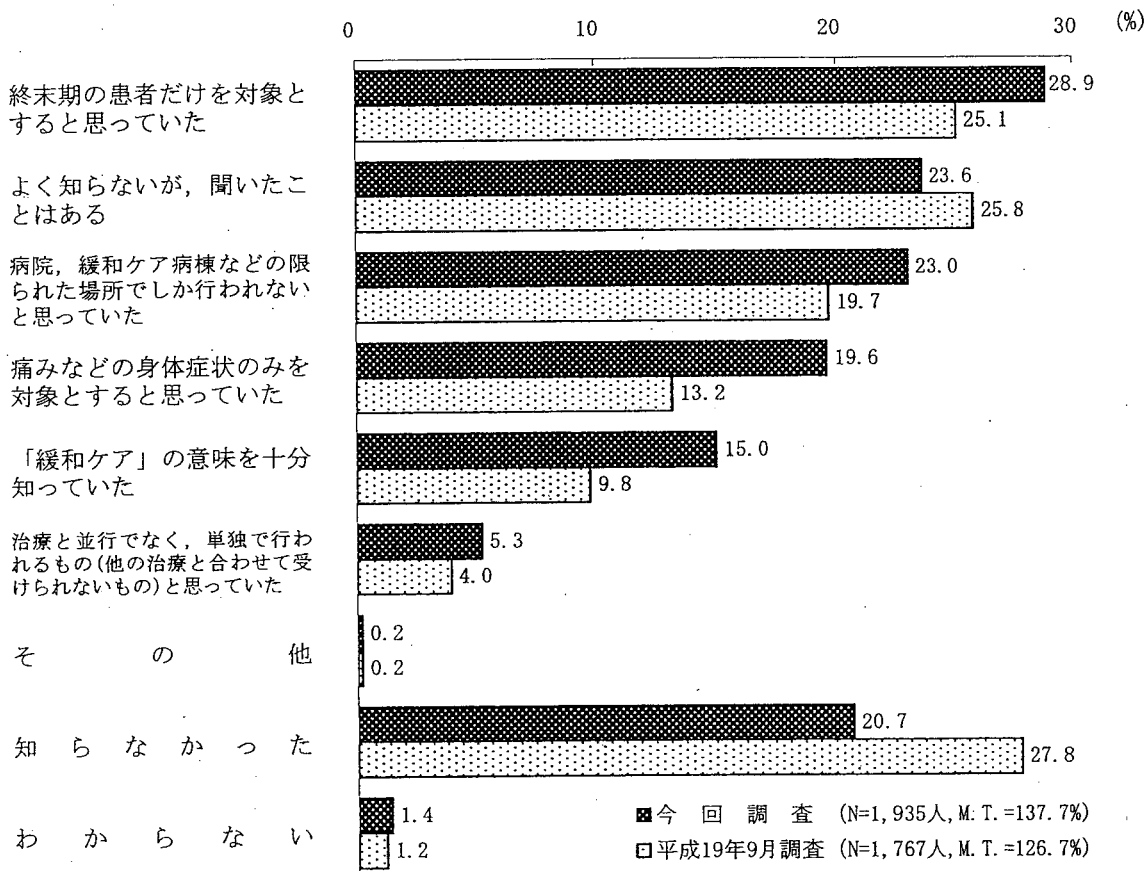


(3) 緩和ケアについてのイメージ

(複数回答, 上位4項目)

	平成19年9月	平成21年9月
・終末期の患者だけを対象とと思っていた	25.1%	28.9% (増)
・よく知らないが、聞いたことはある	25.8%	23.6%
・病院、緩和ケア病棟などの限られた場所ではしか行われな いと思っていた	19.7%	23.0% (増)
・痛みなどの身体症状のみを対象とと思っていた	13.2%	19.6% (増)
・知らなかった	27.8%	20.7% (減)

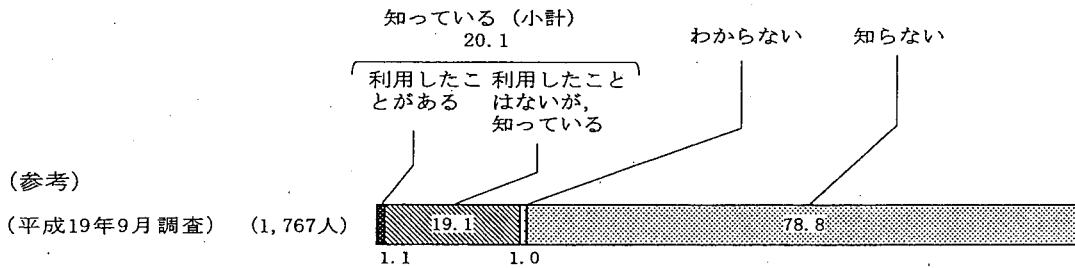
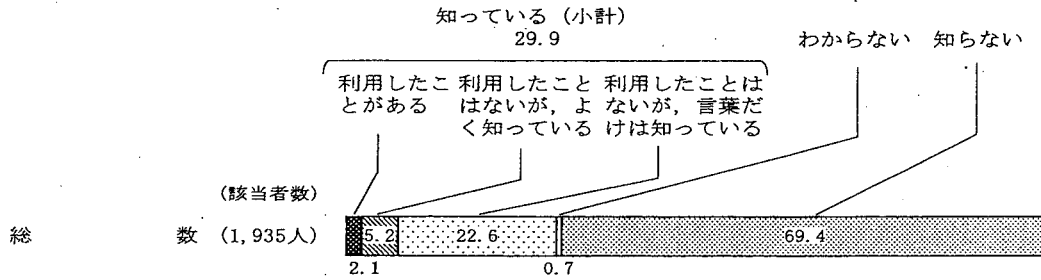
(複数回答)



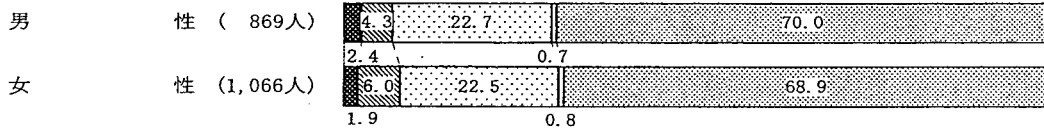
(4) 相談支援センターの認知・利用度

平成 21 年 9 月

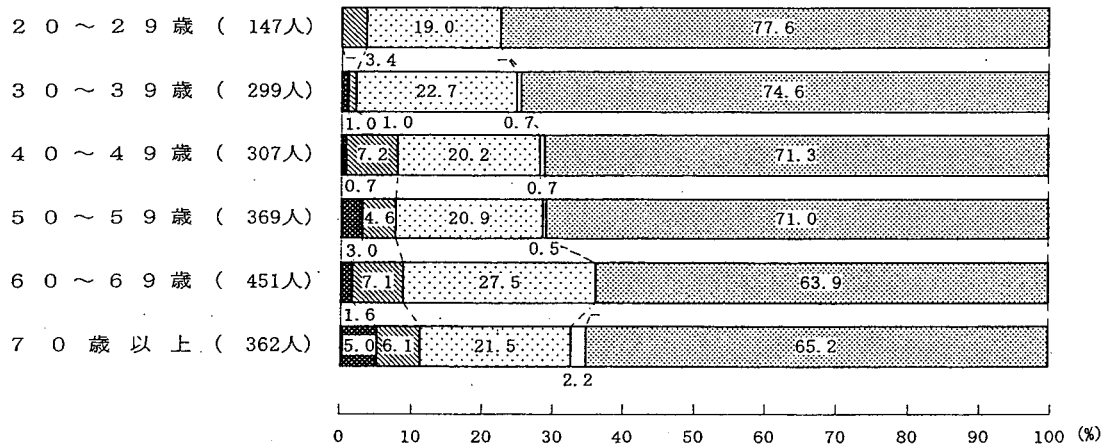
- ・知っている (小計) 29.9%
- ・利用したことがある 2.1%
- ・利用したことはないが、よく知っている 5.2%
- ・利用したことはないが、言葉だけは知っている 22.6%
- ・知らない 69.4%



[ 性 ]



[ 年 齢 ]

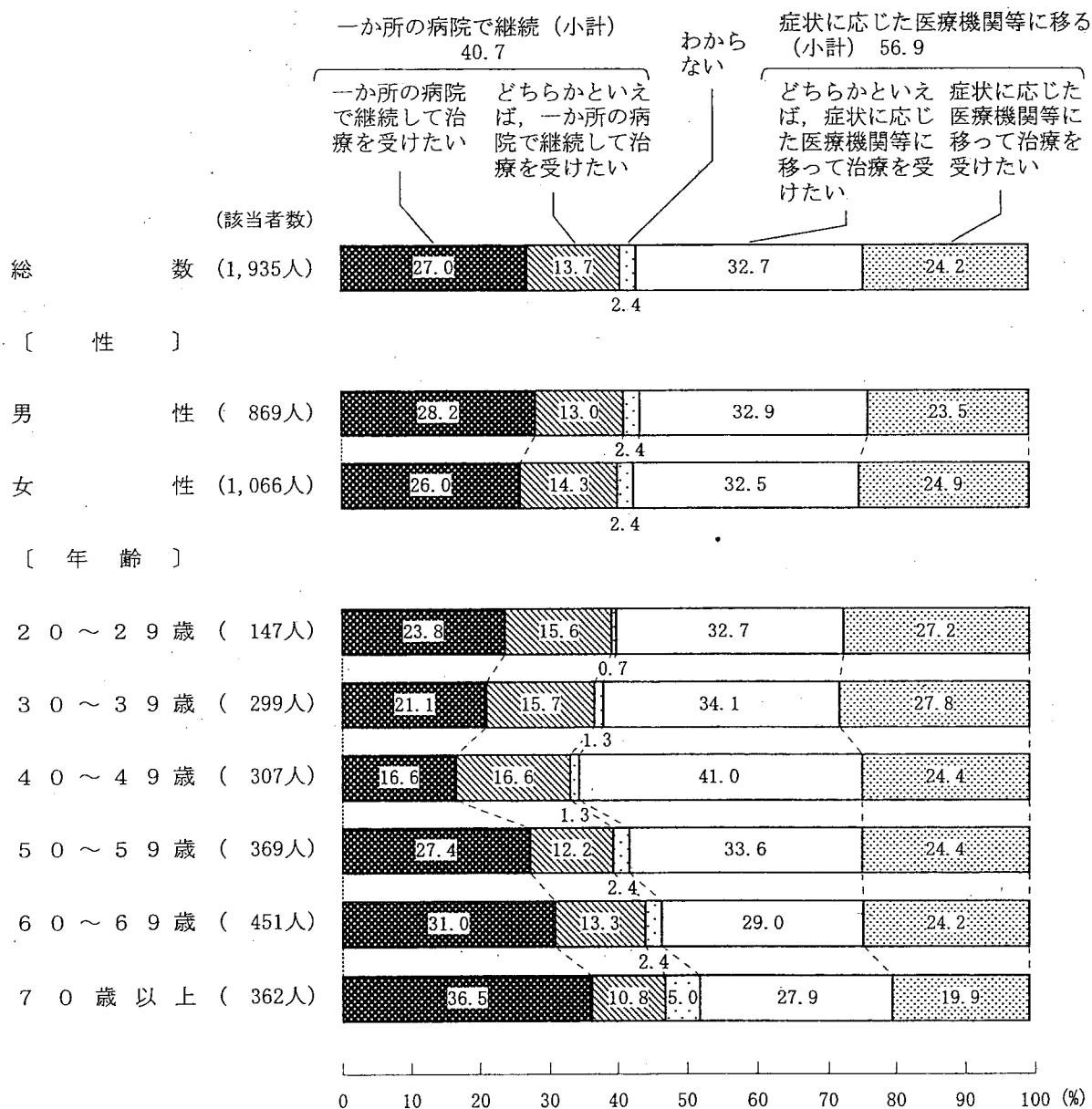


#### 4 がん診療について

##### (1) がん診療の地域連携

平成 21 年 9 月

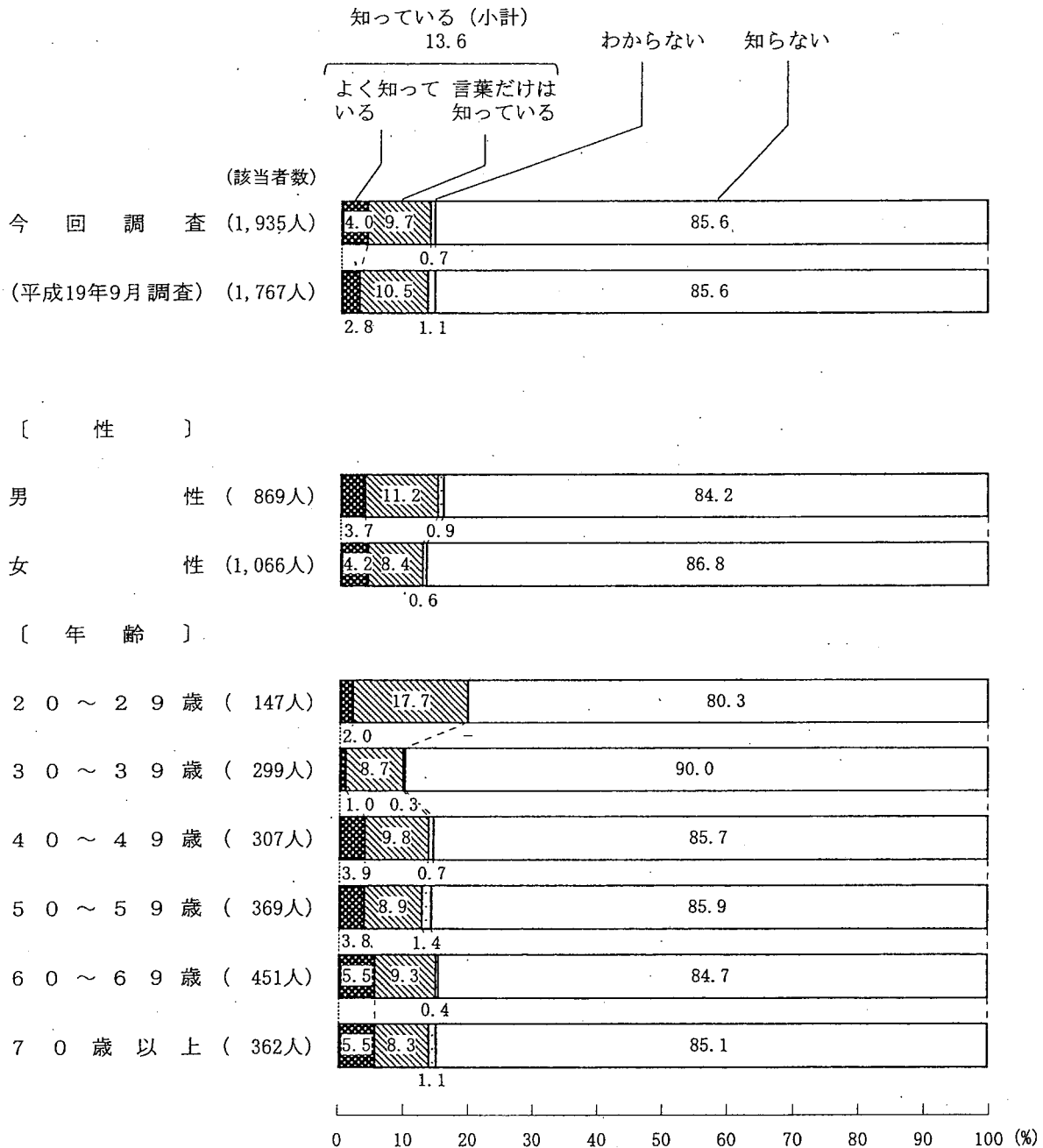
- ・一か所の病院で継続 (小計) 40.7%
- ・一か所の病院で継続して治療を受けたい 27.0%
- ・どちらかといえば、一か所の病院で継続して治療を受けたい 13.7%
- ・症状に応じた医療機関等に移る (小計) 56.9%
- ・どちらかといえば、症状に応じた医療機関等に移って治療を受けたい 32.7%
- ・症状に応じた医療機関等に移って治療を受けたい 24.2%



## 5 がん登録について

### (1) がん登録の認知度

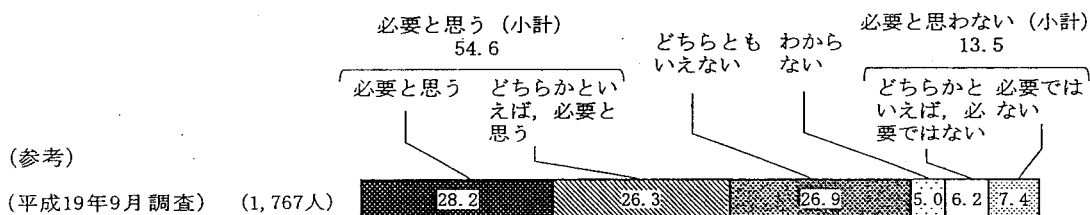
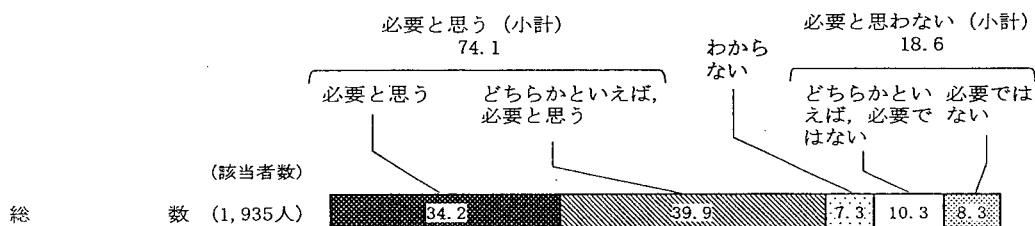
	平成 19 年 9 月	平成 21 年 9 月
・知っている (小計)	13.4%	→ 13.6%
・よく知っている	2.8%	→ 4.0% (増)
・言葉だけは知っている	10.5%	→ 9.7%
・知らない	85.6%	→ 85.6%



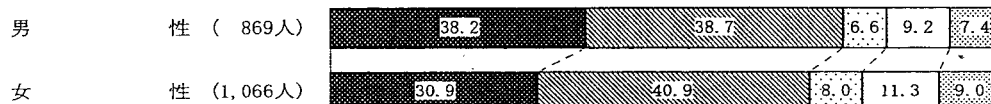
(2) がん登録の必要性

平成 21 年 9 月

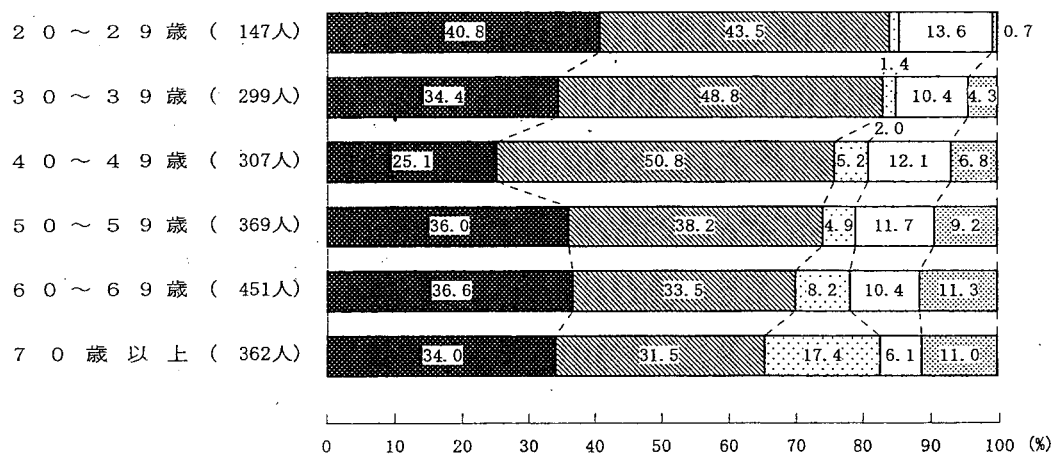
- ・必要と思う (小計) 74.1%
- ・必要と思う 34.2%
- ・どちらかといえば、必要と思う 39.9%
- ・必要と思わない (小計) 18.6%
- ・どちらかといえば、必要ではない 10.3%
- ・必要ではない 8.3%



[ 性 ]



[ 年 齢 ]



6 がん対策に関する政府への要望について

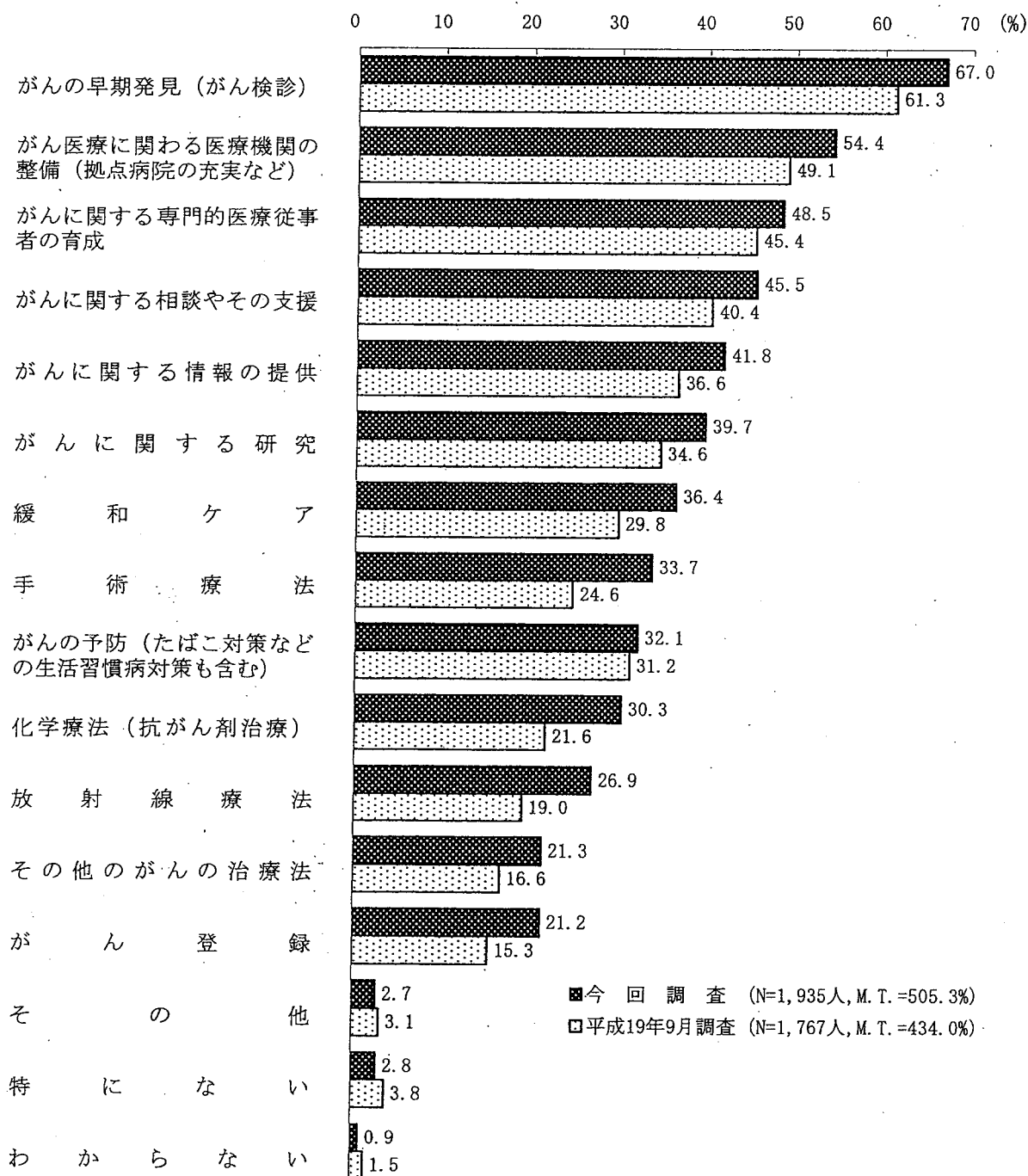
(1) 政府に対する要望

(複数回答, 上位2項目)

平成19年9月 平成21年9月

- ・がんの早期発見(がん検診) 61.3% → 67.0% (増)
- ・がん医療に関わる医療機関の整備(拠点病院の充実など) 49.1% → 54.4% (増)

(複数回答)



## 平成20年国民健康・栄養調査結果の概要について

### 国民健康・栄養調査について

目的:健康増進法(平成14年法律第103号)に基づき、国民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、国民の健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ること

調査客体:平成20年国民生活基礎調査により設定された単位区から無作為抽出した300単位区内の世帯及び当該世帯の1歳以上の世帯員

調査時期:平成20年11月

調査項目:[身体状況調査]

身長、体重、腹囲、血圧、血液検査、歩数、問診(服薬状況、運動)

[栄養摂取状況調査]

食品摂取量、栄養素等摂取量、食事状況(欠食、外食等)

[生活習慣調査]

食生活、身体活動・運動、休養(睡眠)、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般

※平成20年の重点項目 「体型」、「身体活動・運動」、「たばこ」

(結果の概要については、第1部を「重点項目」、第2部を「基本項目」として整理)

### 調査結果のポイント

#### (1) 体型について

一平成12年以降、男性では、肥満者の割合の増加傾向が鈍化、女性では、肥満者の割合が減少。一方、若い女性のやせの者の割合は横ばい

・肥満者の割合は、平成12年以降の年次推移をみると、男性の20～60歳代では肥満者の割合の増加傾向がそれ以前の5年間に比べ鈍化している。また、女性の40～60歳代では、肥満者の割合が減少している。一方、やせの者の割合は、20歳代の女性では、横ばいの状況にある。

・性・年齢階級別にみると、20～30歳代女性では、実測によるBMIも理想とするBMIも他の年齢階級より低い。

・肥満者の男性では29.8%が体重を減らそうとしていない。一方で、やせの女性では12.6%が体重を減らそうとしている。

## (2) 身体活動・運動について

—運動習慣のある者の割合は、3割にとどまっているものの、平成15年に比べ、運動習慣のある者や意識的に身体を動かすなど運動を行う者の割合は増加—

- ・運動習慣のある者の割合は、男性33.3%、女性27.5%であり、平成15年以降男女とも増加している。
- ・意識的に身体を動かすなど運動を行う者の割合は、男女とも増加している。
- ・日常生活の中で積極的に外出する者の割合は、男性の40歳代及び70歳以上、女性の70歳以上では増加している一方、外出することがほとんどない者の割合は、70歳以上では男性10.8%、女性13.5%と他の年齢階級に比べ多い。

## (3) たばこについて

—平成15年と比べ、男女とも喫煙率が減少。やめたいと思う者が男性で増加—

- ・現在習慣的に喫煙している者の割合は、男性36.8%、女性9.1%であり、男女とも減少している。
- ・現在習慣的に喫煙している者のうち、やめたいと思う者の割合は、男性で増加している。
- ・現在習慣的に喫煙している者で1日21本以上吸う者は、平成15年に比べ男性では減少している。



( 抜 粋 )

照 会 先 :	健康局総務課生活習慣病対策室
担 当 :	栄養調査係
電 話 :	03-5253-1111(内線2343, 2345)

# 平成20年 国民健康・栄養調査結果の概要

厚生労働省  
健康局総務課生活習慣病対策室

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、国民の身体の状況、栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査対象及び客体

調査の対象は、平成20年国民生活基礎調査において設定された調査地区内の世帯の世帯員で、平成20年11月1日現在で満1歳以上の者とした。調査の客体は、平成20年国民生活基礎調査において設定された調査地区から、層化無作為抽出した300単位区内の世帯及び世帯員とした。

調査実施世帯数は、3,838世帯であり、集計客体数は下記のとおりである。

総数	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	7,998	378	575	275	557	909	877	1,241	1,483	1,703
血液検査	4,451	-	-	-	245	516	502	794	1,108	1,286
栄養摂取状況調査	9,129	421	704	360	703	1,044	1,037	1,368	1,615	1,877
生活習慣調査	8,557	-	-	386	779	1,113	1,127	1,483	1,696	1,973

男性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	3,651	190	292	142	263	398	396	549	682	739
血液検査	1,819	-	-	-	101	178	185	292	485	578
栄養摂取状況調査	4,269	204	367	190	337	476	498	614	755	828
生活習慣調査	3,940	-	-	202	381	502	531	674	790	860

女性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
身体状況調査	4,347	188	283	133	294	511	481	692	801	964
血液検査	2,632	-	-	-	144	338	317	502	623	708
栄養摂取状況調査	4,860	217	337	170	366	568	539	754	860	1,049
生活習慣調査	4,617	-	-	184	398	611	596	809	906	1,113

### 3. 調査項目

#### 1) 身体状況調査票

- ア. 身長、体重 (満1歳以上)
- イ. 腹囲 (満6歳以上)
- ウ. 血圧 (満15歳以上)
- エ. 血液検査 (満20歳以上)
- オ. 1日の運動量〈歩数〉 (満15歳以上)
- カ. 問診〈服薬状況、運動〉 (満20歳以上)

#### 2) 栄養摂取状況調査票 (満1歳以上)

世帯員各々の食品摂取量、栄養素等摂取量、食事状況〈欠食・外食等〉

#### 3) 生活習慣調査票 (満15歳以上)

食生活、身体活動・運動、休養(睡眠)、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般を把握した。特に平成20年調査では、「体型」、「身体活動・運動」、「たばこ」について重点項目として把握した。

### 4. 調査時期

- 1) 身体状況調査：平成20年11月
- 2) 栄養摂取状況調査：平成20年11月の特定の1日 (日曜日及び祝日は除く)
- 3) 生活習慣調査：栄養摂取状況調査日と同日

### 5. 調査方法

- 1) 身体状況調査：調査対象者を会場に集めて、調査員である医師、管理栄養士、保健師等が調査項目の計測及び問診を実施した。
- 2) 栄養摂取状況調査：世帯毎に調査対象者が摂取した食品を秤量記録することにより実施し、調査員である管理栄養士等が調査票の説明、回収及び確認を行った。
- 3) 生活習慣調査：留め置き法による自記式質問紙調査を実施した。

### 6. 調査系統

調査系統は次のとおりである。

厚生労働省—都道府県・保健所設置市・特別区—保健所—国民健康・栄養調査員

### 7. その他

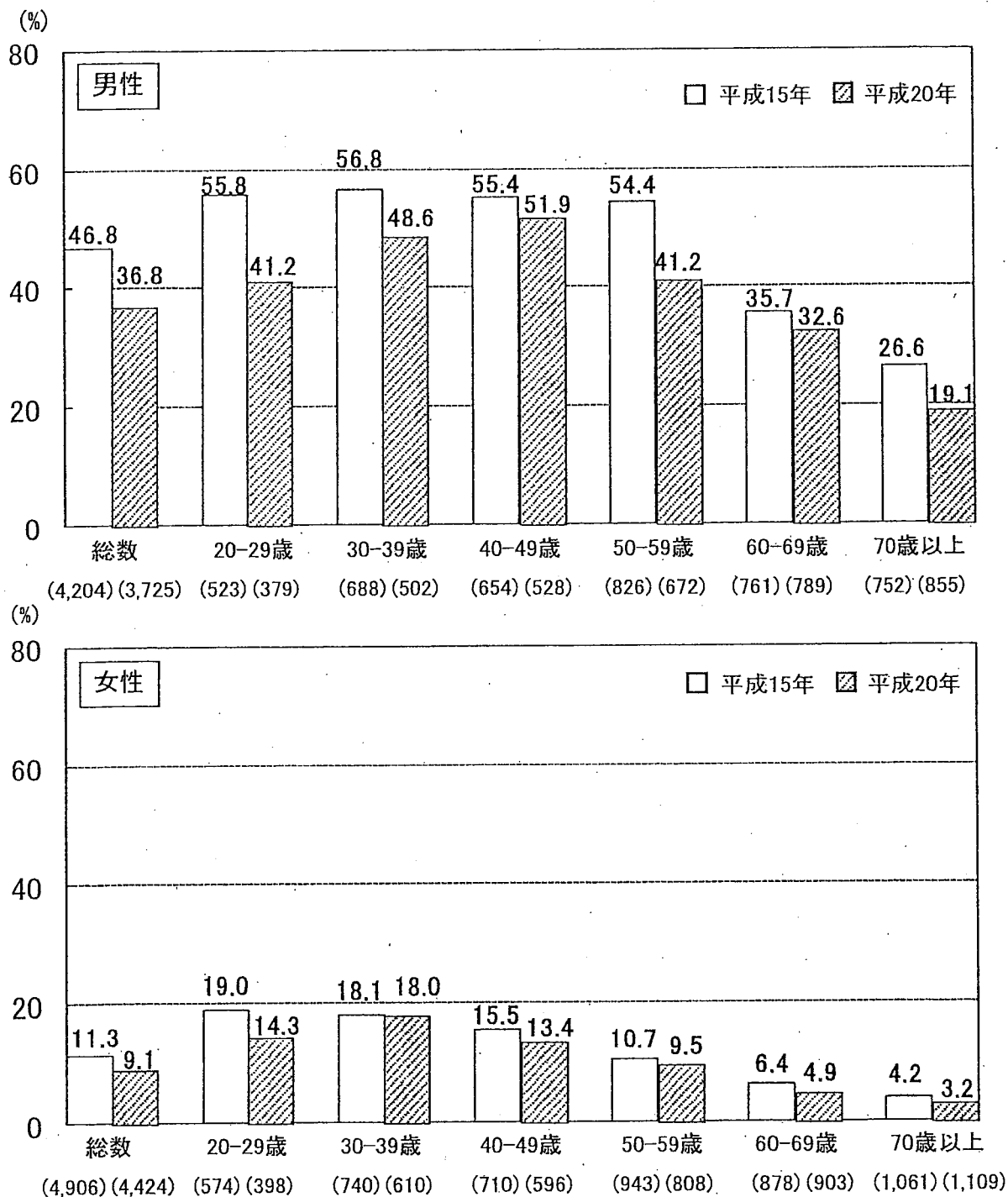
- ・本調査結果は、統計学的な処理に基づき、コメントを記述している。
- ・対象者数については( )内で併記した。
- ・本調査結果に掲載している数値は四捨五入のため、内訳合計が総数と合わないことがある。

### 第3章 たばこに関する状況

#### 1. 喫煙の状況

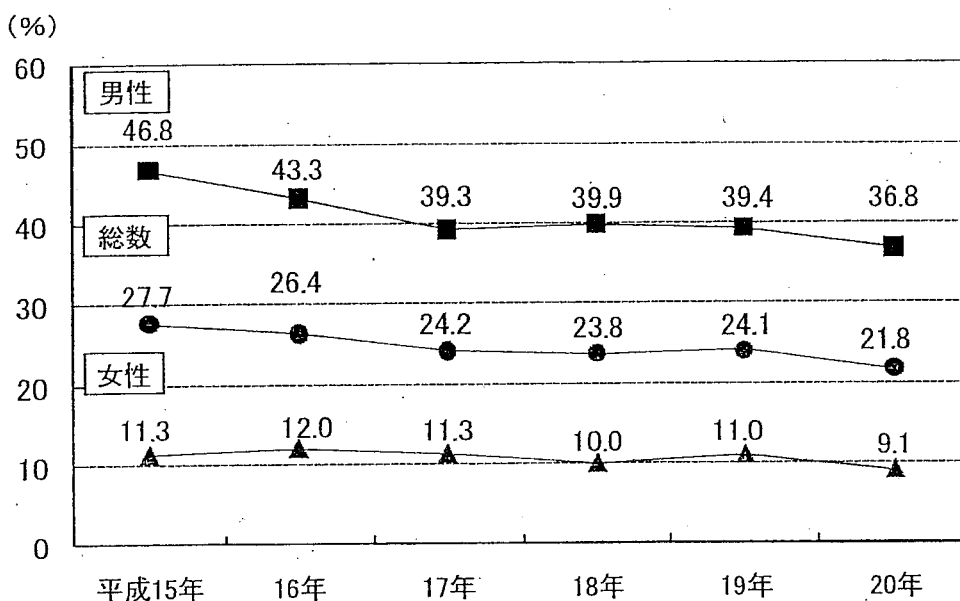
現在習慣的に喫煙している者の割合は、男性36.8%、女性9.1%であり、平成15年以降男女とも減少している。

図10 現在習慣的に喫煙している者の割合（平成15年と20年との比較）



※現在習慣的に喫煙している者：これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている(吸っていた)者のうち、「この1ヶ月間に毎日又は時々たばこを吸っている」と回答した者

図11 現在習慣的に喫煙している者の割合 (20歳以上) (平成15年~20年の年次推移)



(参考) 表4 現在習慣的に喫煙している者の年次推移 (5歳階級別)

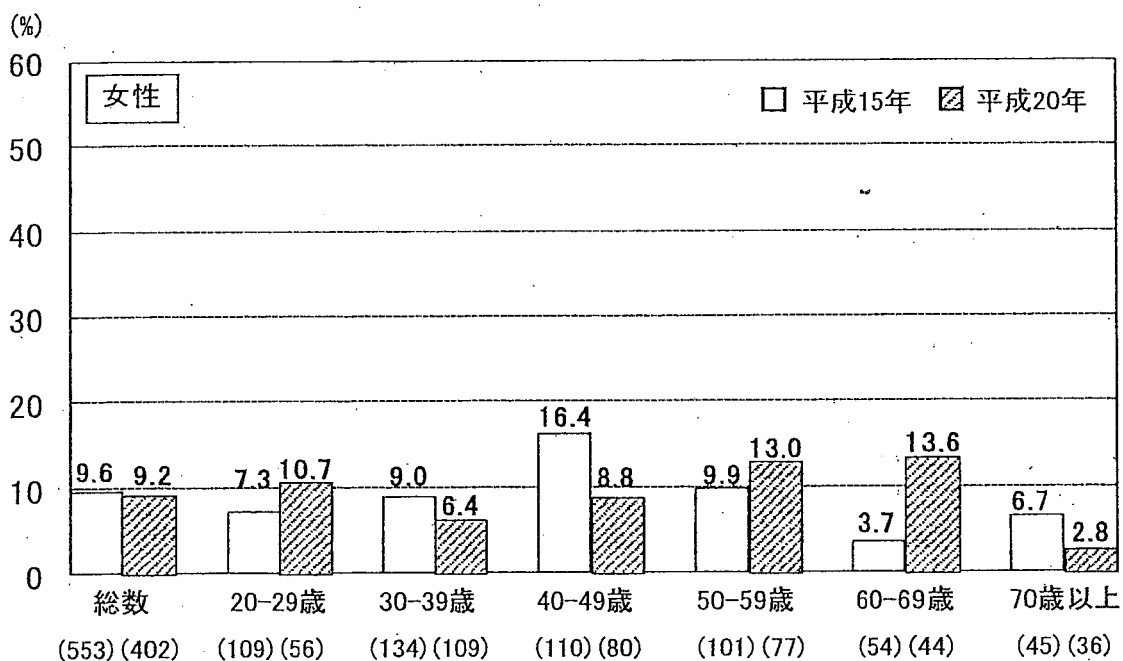
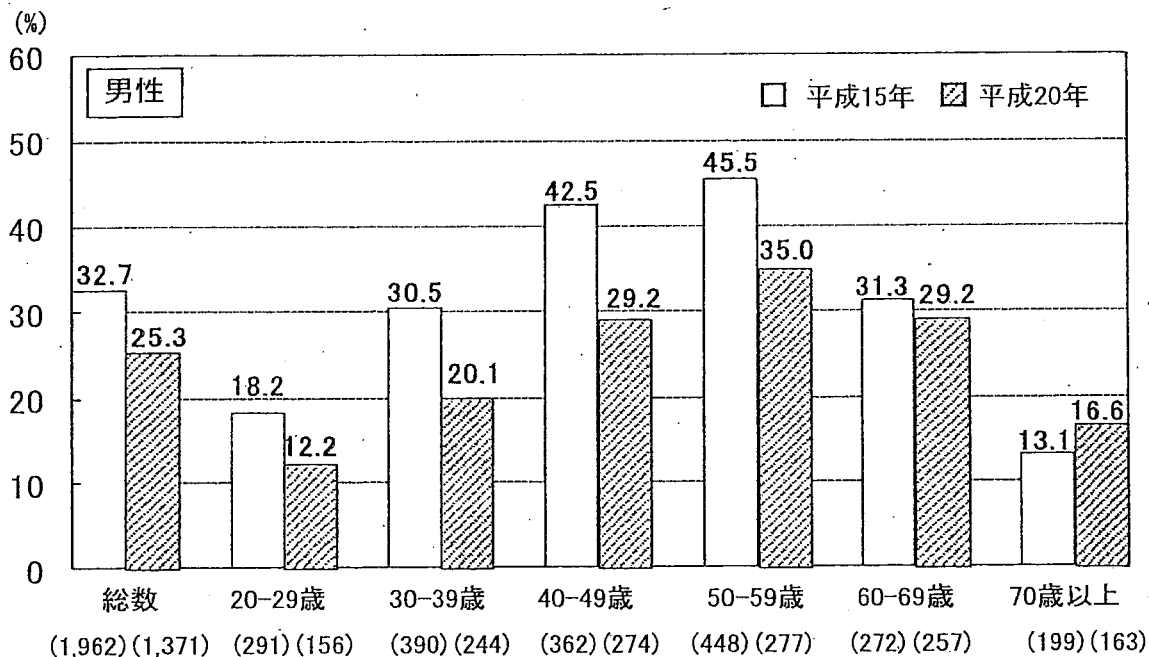
性別	平成15年~17年			平成18年~20年			
	人数(人)	喫煙率 (%)	標準誤差	人数(人)	喫煙率 (%)	標準誤差	
男性	20-24歳	620	46.5	2.17	515	40.4	2.24
	25-29歳	694	57.6	1.93	552	48.2	2.16
	30-34歳	900	55.3	1.72	735	53.5	1.78
	35-39歳	885	57.2	1.70	930	52.0	1.63
	40-44歳	830	50.6	1.78	819	51.8	1.77
	45-49歳	864	50.7	1.79	819	46.5	1.72
	50-54歳	1,051	51.4	1.47	890	46.4	1.71
	55-59歳	1,136	46.1	1.47	1,146	40.9	1.48
	60-64歳	1,070	37.9	1.51	1,084	37.6	1.44
	65-69歳	1,011	30.7	1.46	1,024	28.7	1.47
	70-74歳	922	27.2	1.47	943	21.2	1.34
	75-79歳	592	23.1	1.73	727	19.0	1.37
	80歳以上	515	17.9	1.65	622	16.4	1.50
計	11,090	43.4	0.55	10,806	38.7	0.53	
女性	平成15年~17年			平成18年~20年			
	人数(人)	喫煙率 (%)	標準誤差	人数(人)	喫煙率 (%)	標準誤差	
	20-24歳	687	17.0	1.51	571	13.0	1.43
	25-29歳	779	20.0	1.36	652	19.3	1.52
	30-34歳	999	19.9	1.30	947	17.0	1.25
	35-39歳	973	17.0	1.24	1,045	17.3	1.22
	40-44歳	939	15.8	1.28	959	15.7	1.25
	45-49歳	993	13.9	1.11	869	14.4	1.24
	50-54歳	1,202	14.9	1.05	980	10.3	1.00
	55-59歳	1,264	9.6	0.84	1,367	8.6	0.80
	60-64歳	1,205	8.7	0.81	1,221	7.4	0.77
	65-69歳	1,222	5.4	0.64	1,215	4.9	0.61
	70-74歳	1,013	5.0	0.70	1,024	4.0	0.63
75-79歳	830	3.1	0.62	879	2.4	0.51	
80歳以上	889	2.9	0.56	1,024	3.2	0.53	
計	12,995	11.5	0.34	12,753	10.0	0.32	

※性・年齢階級別について、WHOフォーマットにあわせ、平成15年~17年、平成18年~20年のそれぞれ3年分の結果を足し合わせ、平均化したもの

## 2. 喫煙本数の状況

現在習慣的に喫煙している者で、1日に21本以上吸う者の割合は、男性25.3%、女性9.2%であり、平成15年に比べ男性では減少している。

図12 現在習慣的に喫煙している者における1日に21本以上吸う者の割合  
(平成15年と20年との比較)



### 3. 喫煙及び受動喫煙の健康影響に関する知識

「たばこを吸うと病気にかかりやすくなる」と回答した者の割合は、平成15年に比べ心臓病、脳卒中、肺気腫、歯周病で増加している。  
 また「たばこの煙を吸うと病気にかかりやすくなる」と回答した者の割合は、平成15年に比べ心臓病、妊娠への影響、肺がんで増加している。

図13-1 喫煙の健康影響に関する知識について

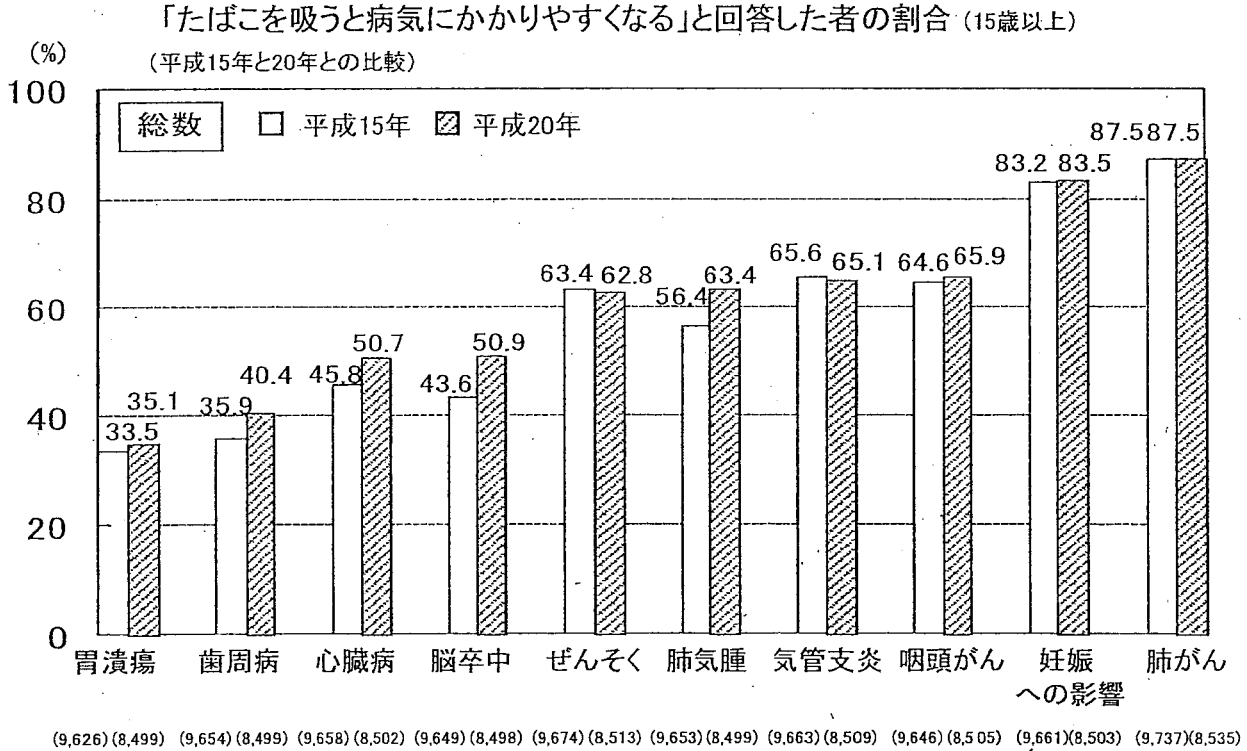
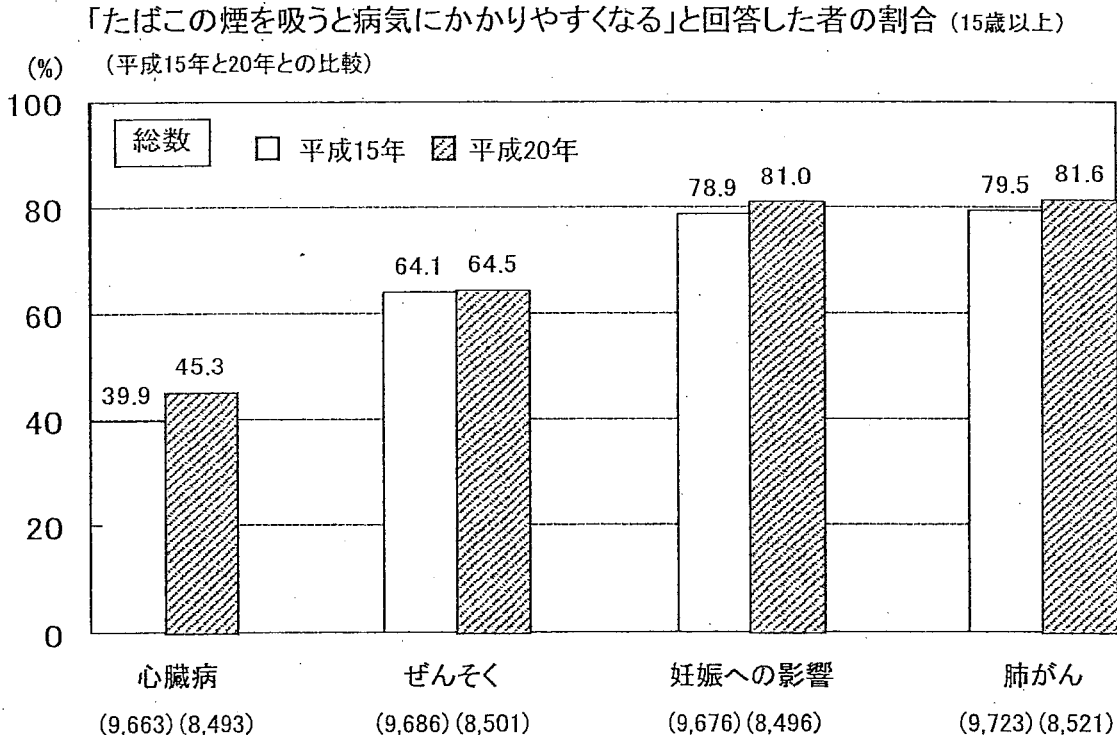


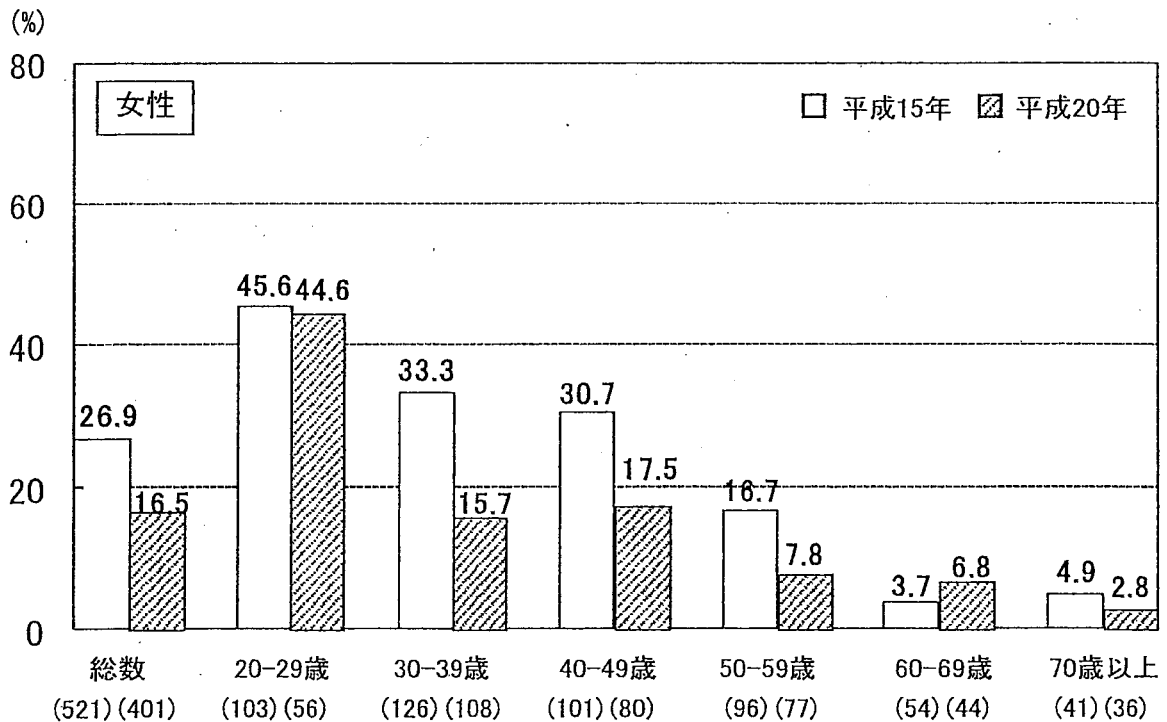
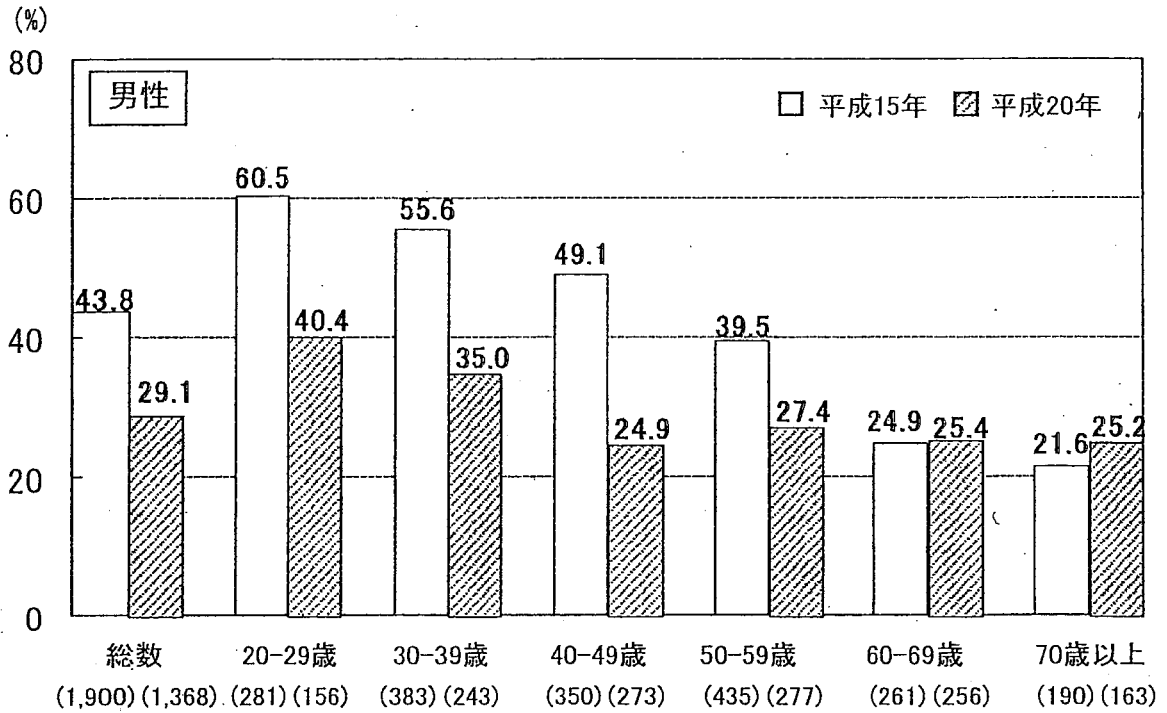
図13-2 受動喫煙の健康影響に関する知識について



#### 4. 喫煙開始年齢

現在習慣的に喫煙している者で、20歳未満で喫煙を開始した者の割合は、男性29.1%、女性16.5%であり、平成15年に比べ男女とも減少している。

図14 現在習慣的に喫煙している者における20歳未満で喫煙を開始した者の割合  
(平成15年と20年との比較)





(参考)

表5 現在習慣的に喫煙している者における喫煙を開始した年齢<20歳未満の内訳>  
(平成15年と20年との比較)

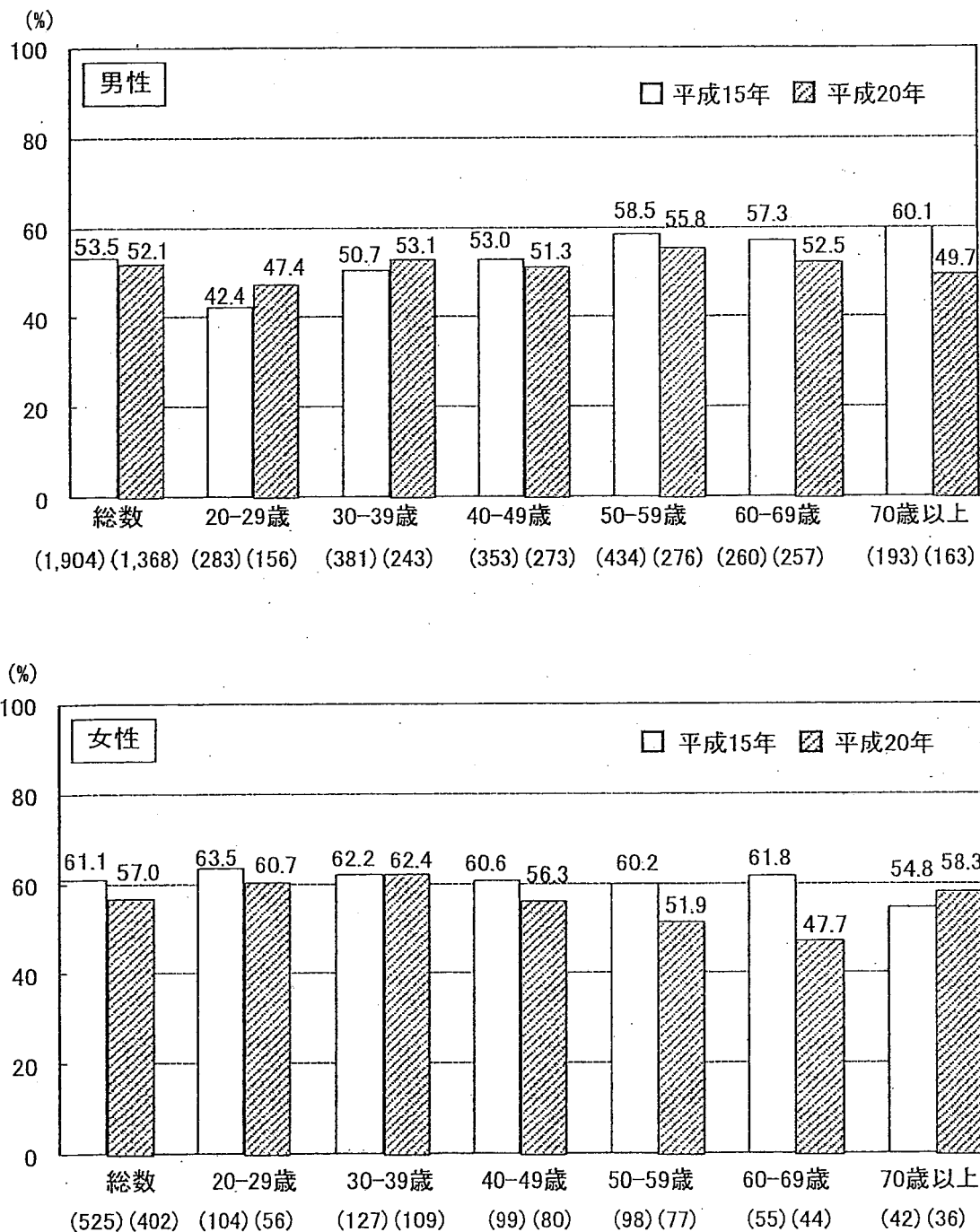
(%)

		男性		女性	
		平成15年	平成20年	平成15年	平成20年
総数	15歳未満	2.1	1.6	1.3	0.5
	15-17歳	12.9	8.9	9.0	5.7
	18歳	21.1	13.6	11.3	6.7
	19歳	7.7	5.0	5.2	3.5
20-29歳	15歳未満	4.3	3.2	1.9	0.0
	15-17歳	25.6	15.4	20.4	21.4
	18歳	21.0	17.3	14.6	14.3
	19歳	9.6	4.5	8.7	8.9
30-39歳	15歳未満	5.2	2.1	4.0	1.9
	15-17歳	18.8	11.9	10.3	5.6
	18歳	24.3	17.3	15.1	5.6
	19歳	7.3	3.7	4.0	2.8
40-49歳	15歳未満	1.4	1.8	0.0	0.0
	15-17歳	11.4	8.4	5.9	2.5
	18歳	26.6	11.7	16.8	8.8
	19歳	9.7	2.9	7.9	6.3
50-59歳	15歳未満	0.0	0.7	0.0	0.0
	15-17歳	8.0	7.2	6.3	2.6
	18歳	23.2	12.3	7.3	3.9
	19歳	8.3	7.2	3.1	1.3
60-69歳	15歳未満	1.1	0.8	0.0	0.0
	15-17歳	4.6	6.3	1.9	2.3
	18歳	13.8	12.9	1.9	4.5
	19歳	5.4	5.5	0.0	0.0
70歳以上	15歳未満	0.0	1.8	0.0	0.0
	15-17歳	7.9	6.1	0.0	0.0
	18歳	10.0	11.0	0.0	2.8
	19歳	3.7	6.1	4.9	0.0

## 5. 禁煙の試み

現在習慣的に喫煙している者で、禁煙を試みたことがある者は、男性52.1%、女性57.0%であり、平成15年に比べあまり変化はみられない。

図15 現在習慣的に喫煙している者における禁煙を試みたことがある者の割合  
(平成15年と20年との比較)

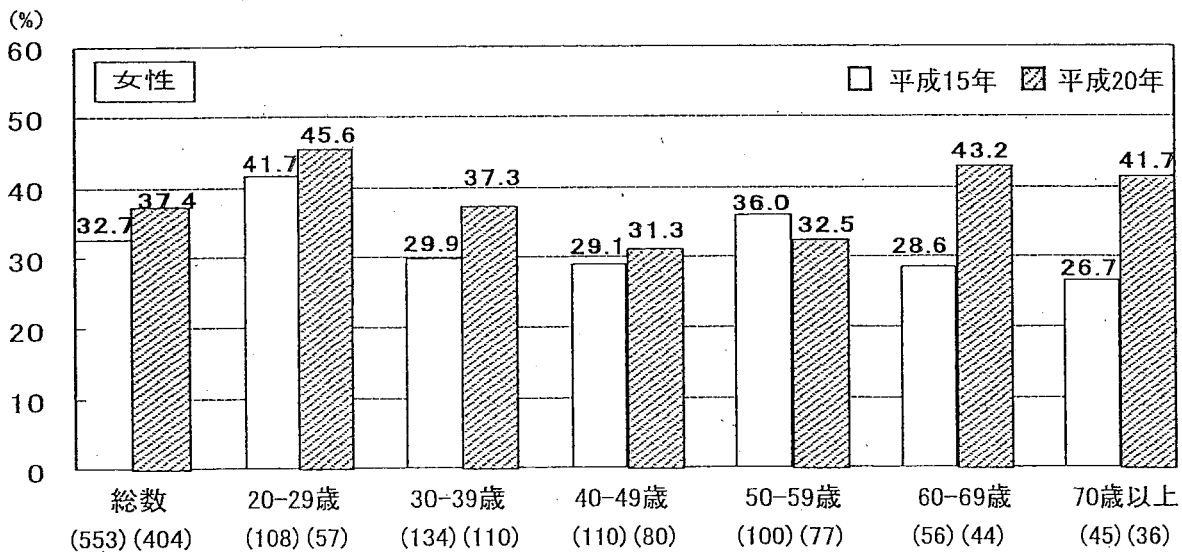
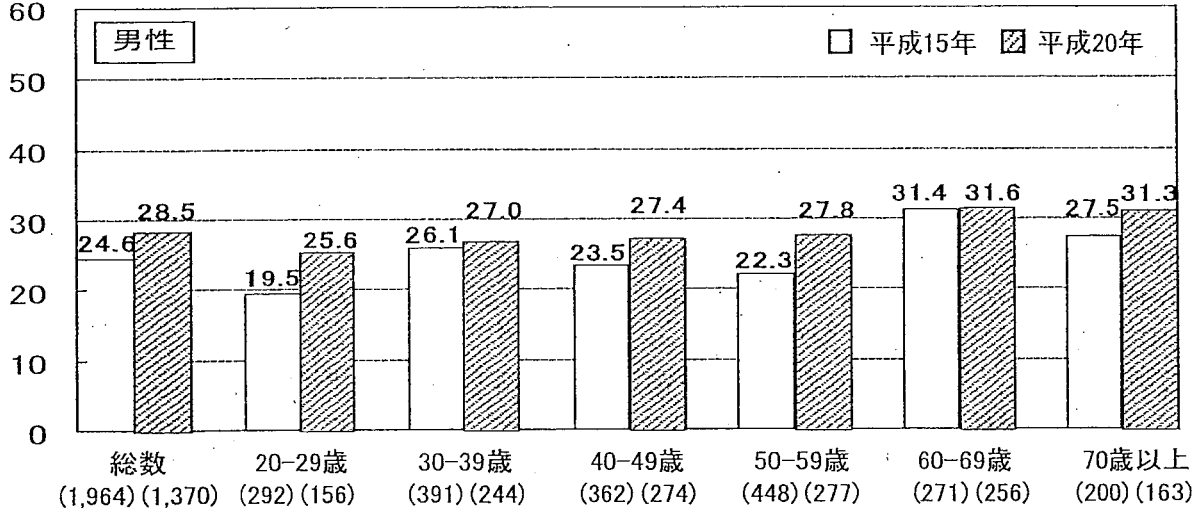


## 6. 禁煙の意思の有無

現在習慣的に喫煙している者で、たばこをやめたいと思う者は、男性28.5%、女性37.4%であり、平成15年に比べ男性では増加している。

図16 現在習慣的に喫煙している者におけるたばこをやめたいと思う者の割合

(平成15年と20年との比較)



※「たばこをやめたいと思いますか」の問に対して、「やめたい」と回答した者の割合

(参考) 「健康日本21」の目標  
喫煙をやめたい人がやめる

(参考) 表6 現在習慣的に喫煙している者における禁煙の意思を示す者の割合

男性		総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
平成15年	やめたい	24.6	19.5	26.1	23.5	22.3	31.4	27.5
	本数を減らしたい	40.5	35.6	35.8	42.0	45.8	43.2	39.0
平成20年	やめたい	28.5	25.6	27.0	27.4	27.8	31.6	31.3
	本数を減らしたい	32.9	30.8	30.7	31.8	34.3	38.3	29.4

女性		総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
平成15年	やめたい	32.7	41.7	29.9	29.1	36.0	28.6	26.7
	本数を減らしたい	35.8	27.8	38.1	40.9	34.0	44.6	28.9
平成20年	やめたい	37.4	45.6	37.3	31.3	32.5	43.2	41.7
	本数を減らしたい	25.5	28.1	21.8	33.8	23.4	27.3	16.7

※禁煙の意思を示す者：「たばこをやめたいと思いますか」の問に対して、「やめたい」「本数を減らしたい」と回答した者

## 7. 習慣的に喫煙している者の禁煙指導の体験

禁煙を試みたことがある者で、禁煙指導を受けたことがあると回答した者の割合は、男性9.2%、女性4.1%であり、そのうち、禁煙指導を受けた場所は、医療機関が7割を超えている。

図17 禁煙を試みたことがある者における禁煙指導を受けたことがあると回答した者の割合  
(平成15年と20年との比較)

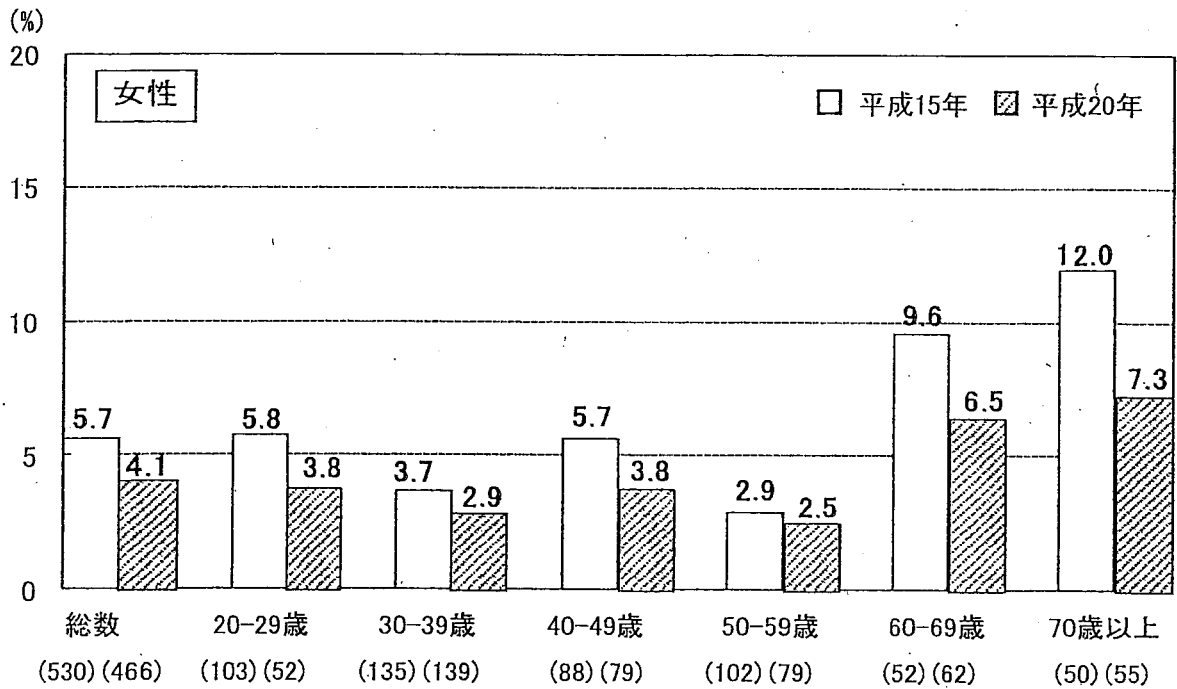
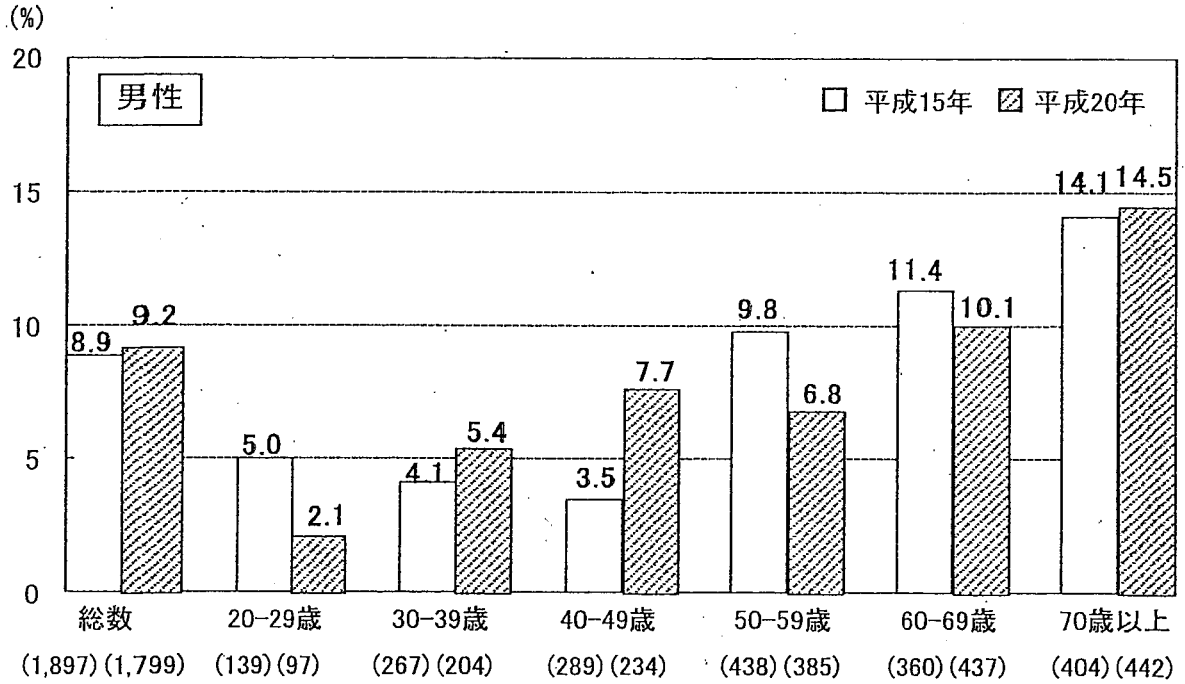


図18 禁煙指導を受けたことがあると回答した者における指導の場（平成15年と20年との比較）

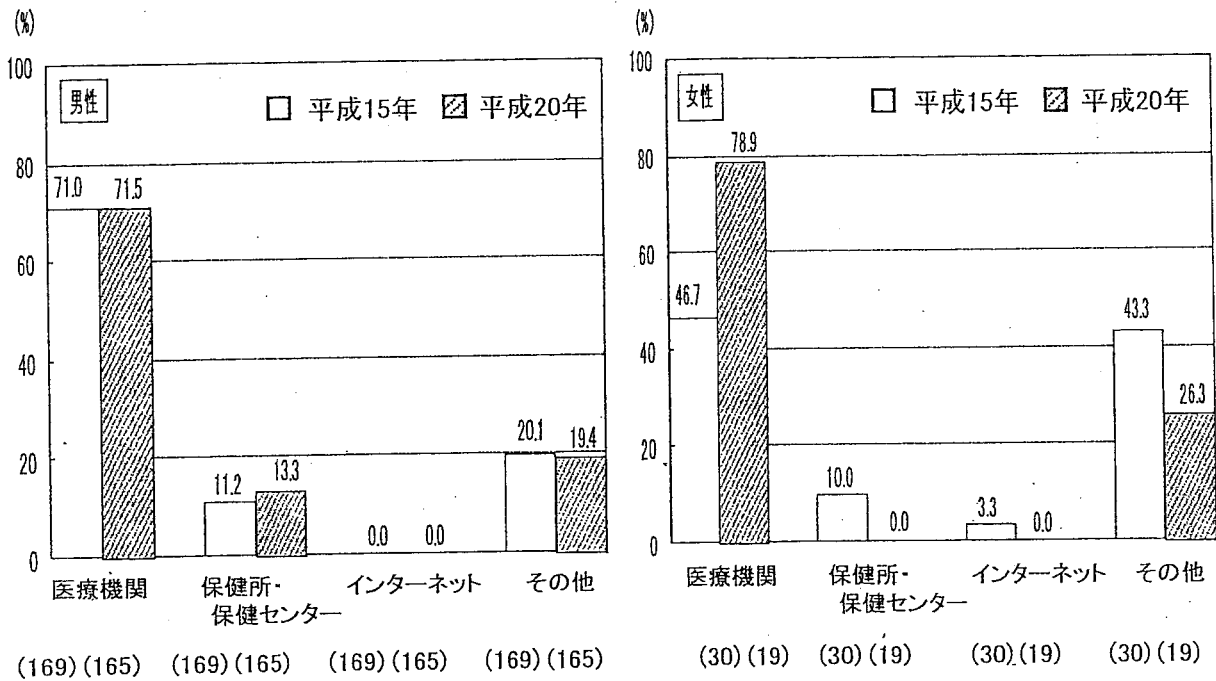
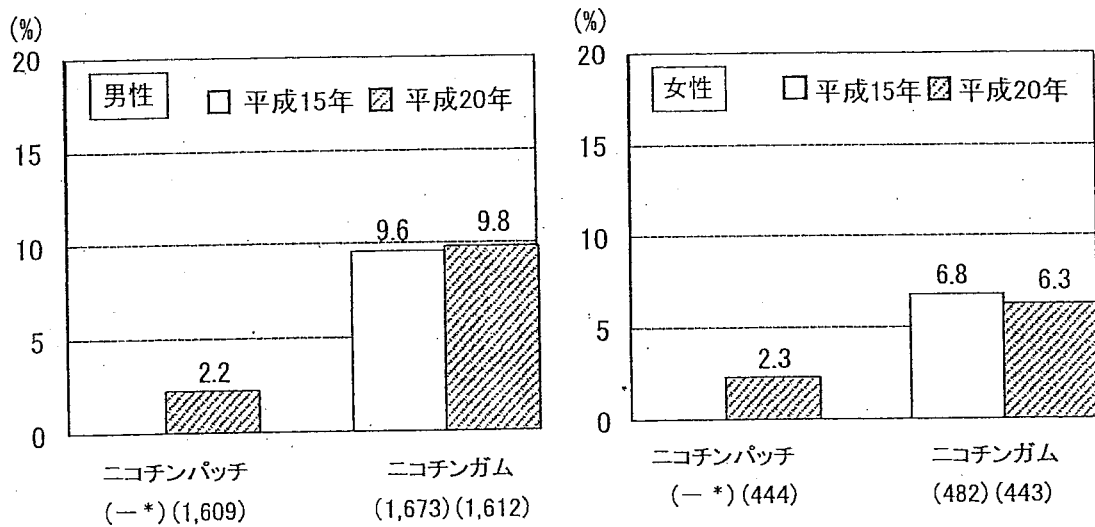


図19 禁煙指導を受けたことがないと回答した者における禁煙補助剤の使用（平成15年と20年との比較）

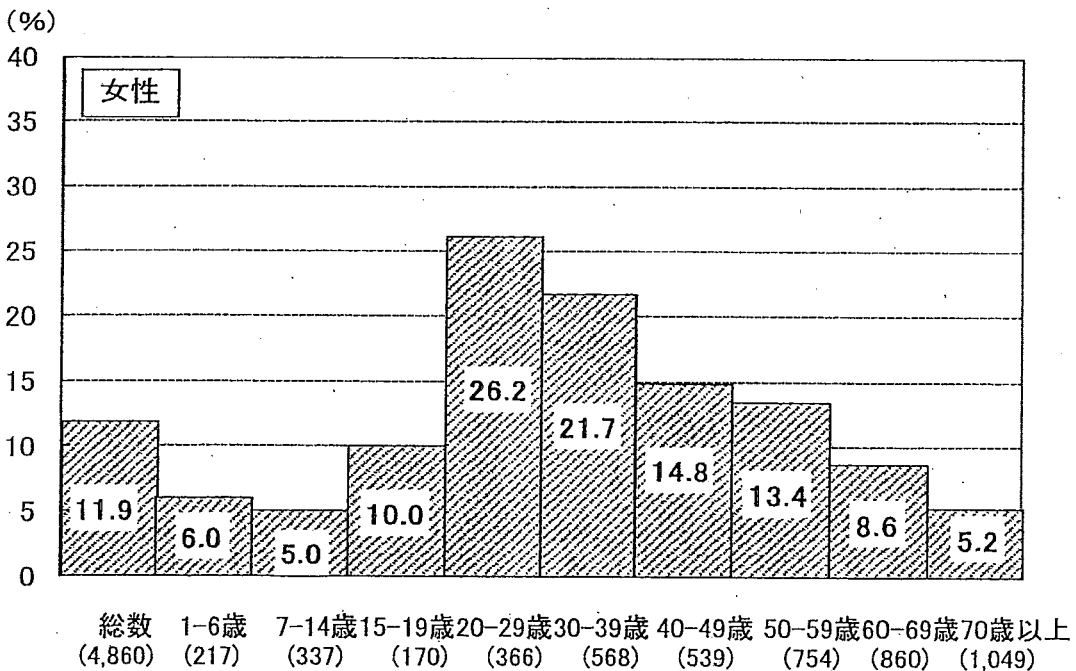
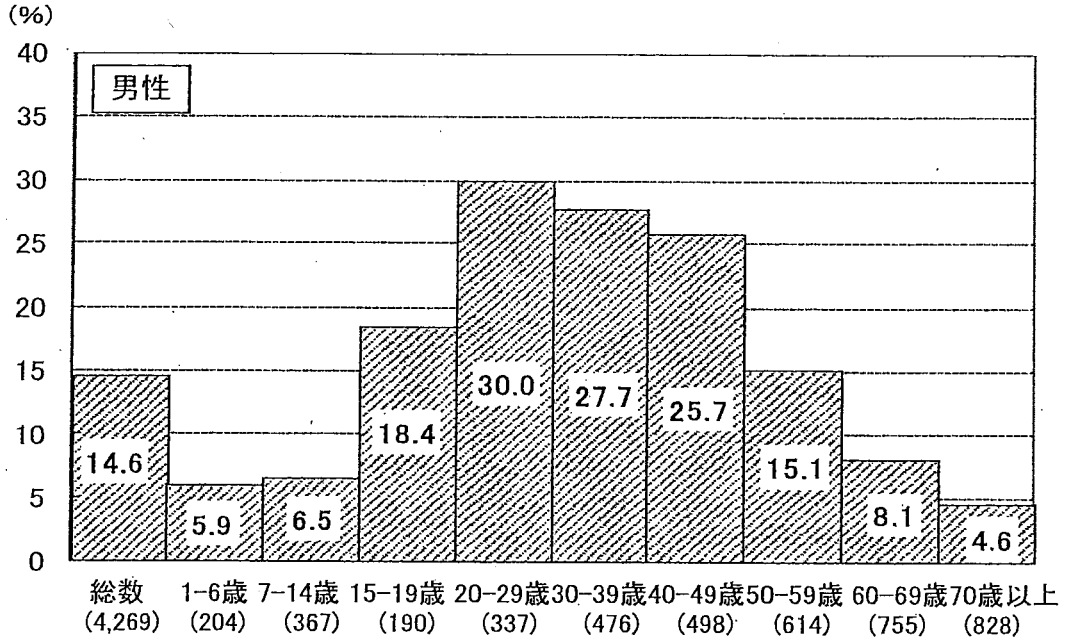


\*平成15年の調査では項目になかったため、回答なし

1. 朝食欠食の状況

朝食を欠食する者の割合は、男女とも、20歳代が最も多く、男性で30.0%、女性で26.2%である。また、年次推移をみると、20歳男性を除く成人男女で欠食率は増加している。

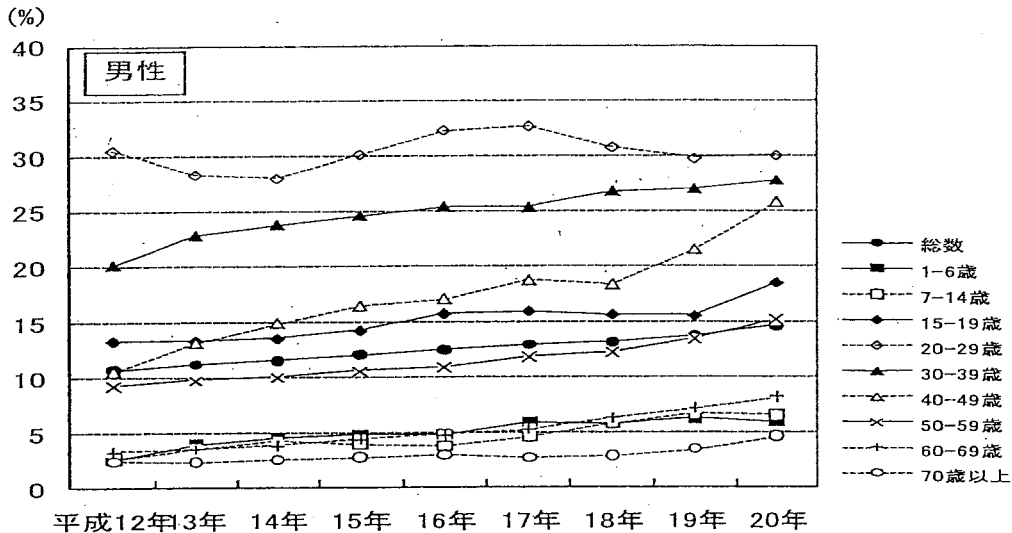
図20-1 朝食欠食の状況(1歳以上)



※報告でいう「欠食」とは、下記の3つの場合である。  
 ・菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみを食べた場合  
 ・錠剤などによる栄養素の補給、栄養ドリンクのみの場合  
 ・食事をしなかった場合

(参考) 「健康日本21」の目標  
 朝食を欠食する人の割合の減少  
 目標値：中学、高校生 0%  
 男性(20歳代) 15%以下  
 男性(30歳代) 15%以下

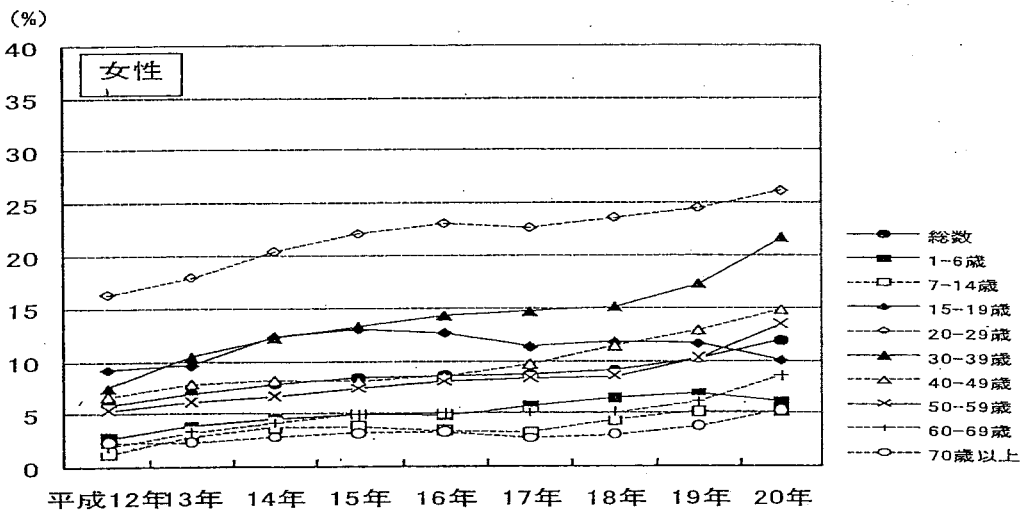
図20-2 朝食欠食率(1歳以上) (平成12年~20年の年次推移)



平成12年 13年 14年 15年 16年 17年 18年 19年 20年

(人)

男性	平成12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
総数	5,815	5,852	5,365	5,258	4,135	4,162	4,443	4,164	4,269
1-6歳	361	396	346	346	263	229	276	243	204
7-14歳	602	591	451	472	420	365	422	392	367
15-19歳	339	358	300	272	238	218	239	201	190
20-29歳	676	587	539	516	353	399	367	304	337
30-39歳	688	702	656	670	525	507	583	540	476
40-49歳	770	798	676	642	480	500	519	537	498
50-59歳	913	930	888	815	649	623	702	587	614
60-69歳	828	804	798	770	631	648	618	664	755
70歳以上	638	686	711	755	576	673	717	696	828



平成12年 13年 14年 15年 16年 17年 18年 19年 20年

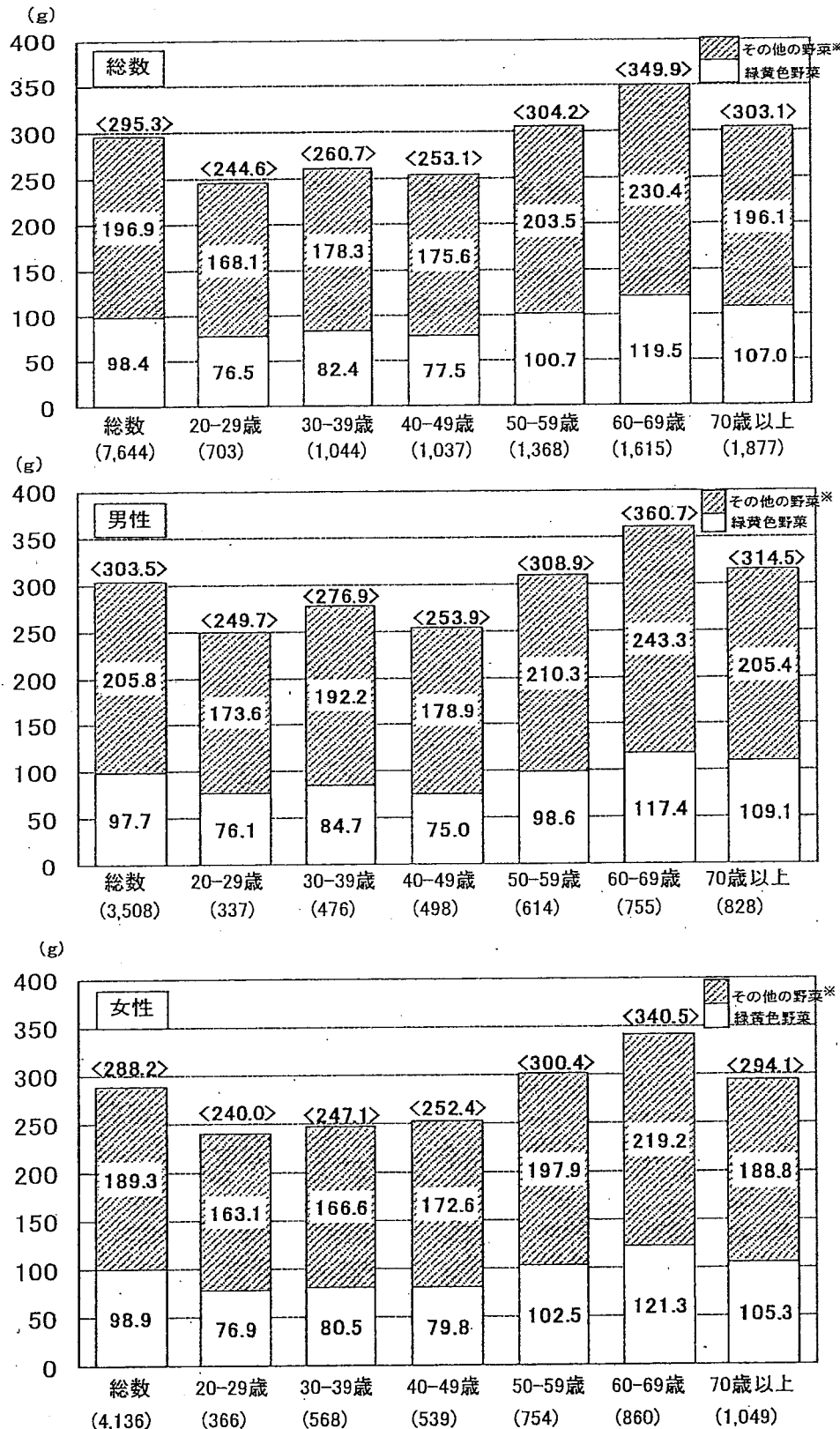
女性	平成12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
総数	6,456	6,629	6,106	5,841	4,627	4,731	4,980	4,721	4,860
1-6歳	343	401	341	292	257	234	283	245	217
7-14歳	581	580	464	467	351	376	393	403	337
15-19歳	369	330	314	291	196	211	219	192	170
20-29歳	692	695	607	552	450	404	413	361	366
30-39歳	787	843	723	722	599	545	671	661	568
40-49歳	874	868	741	688	565	590	582	570	539
50-59歳	1,050	1,033	994	914	725	723	781	681	754
60-69歳	854	912	883	870	737	778	723	762	860
70歳以上	906	967	1,039	1,045	747	870	915	846	1,049

※年次推移は、移動平均により平滑化した結果から作成

## 2. 野菜摂取量

野菜摂取量は、成人で平均295.3gである。また、年次推移をみると、横ばいの状況にある。

図21-1 野菜摂取量の平均値

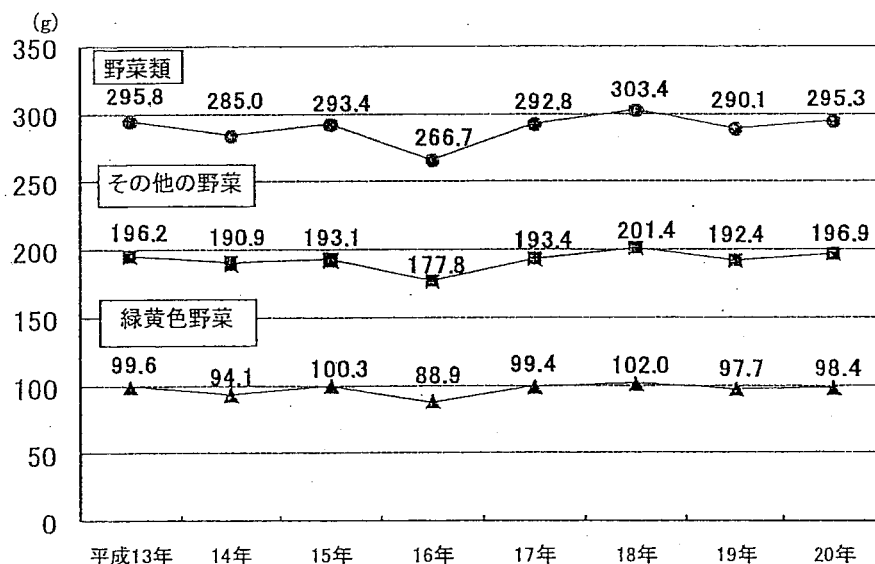


※< >内は、「緑黄色野菜」及び「その他の野菜(野菜類のうち緑黄色野菜以外)」摂取量の合計

(参考) 「健康日本21」の目標  
野菜摂取量の増加  
目標値：1日当たりの平均摂取量 350g以上



図21-2 野菜摂取量の平均値 (平成13年~20年の年次推移)



※平成13年国民栄養調査より、食品群の分類が変更したため、平成13年から年次推移を示した。

表7 野菜類の摂取状況

		70g(1皿)未満	70g(1皿)以上	140g(2皿)以上	210g(3皿)以上	280g(4皿)以上	350g(5皿)以上
男性	人	221	434	572	580	512	1,189
	%	6.3	12.4	16.3	16.5	14.6	33.9
女性	人	253	521	745	782	607	1,228
	%	6.1	12.6	18.0	18.9	14.7	29.7

※野菜70gを1皿とした場合

### 3. 食塩摂取量

食塩摂取量は、成人で平均10.9gであり、男性11.9g、女性10.1gである。また、年次推移をみると、男女とも減少している。

図22-1 食塩摂取量の平均値

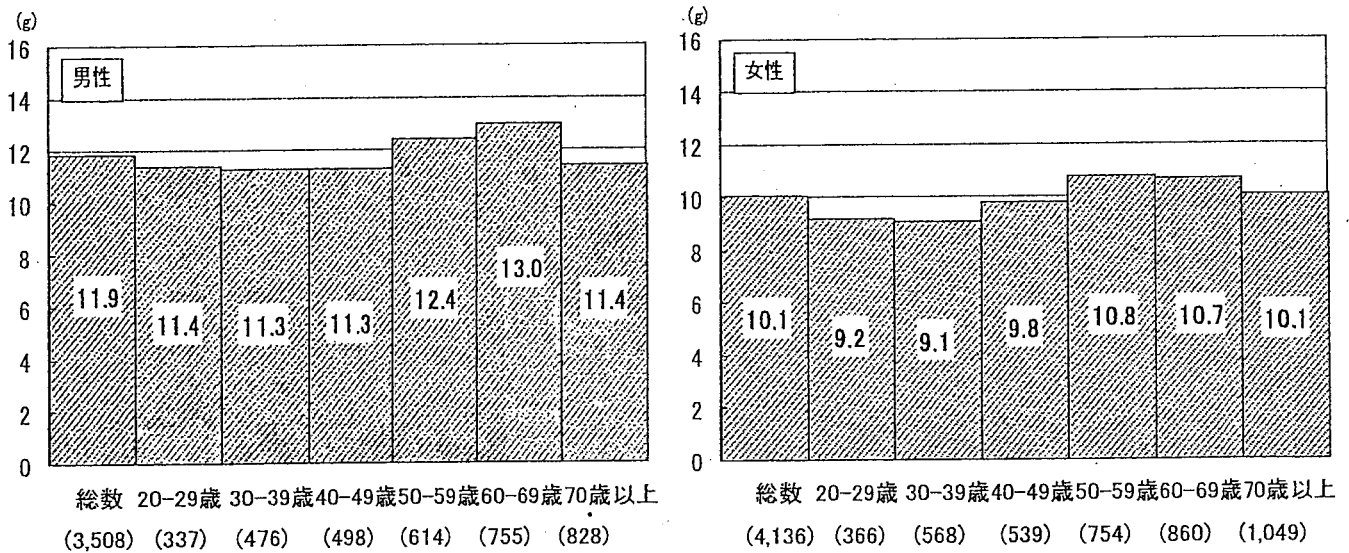
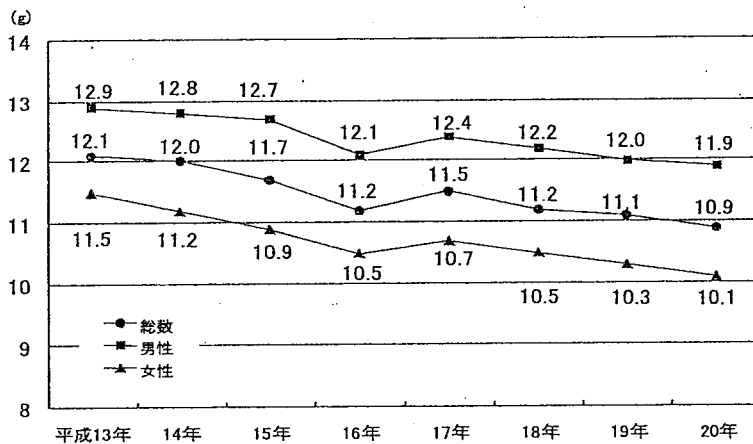


図22-2 食塩摂取量の平均値 (平成13年と20年の年次推移)



※平成13年国民栄養調査より、食品群の分類が変更したため、平成13年から年次推移を示した。

表8 食塩の摂取状況

性別	基準値	9.0g未満	9.0g以上～10.0g未満	10.0g以上
男性	人	1,000	330	2,178
	%	28.5	9.4	62.1
	人	28.3	4.8	66.9
女性	人	1,172	197	2,767
	%	28.3	4.8	66.9
	人	28.3	4.8	66.9

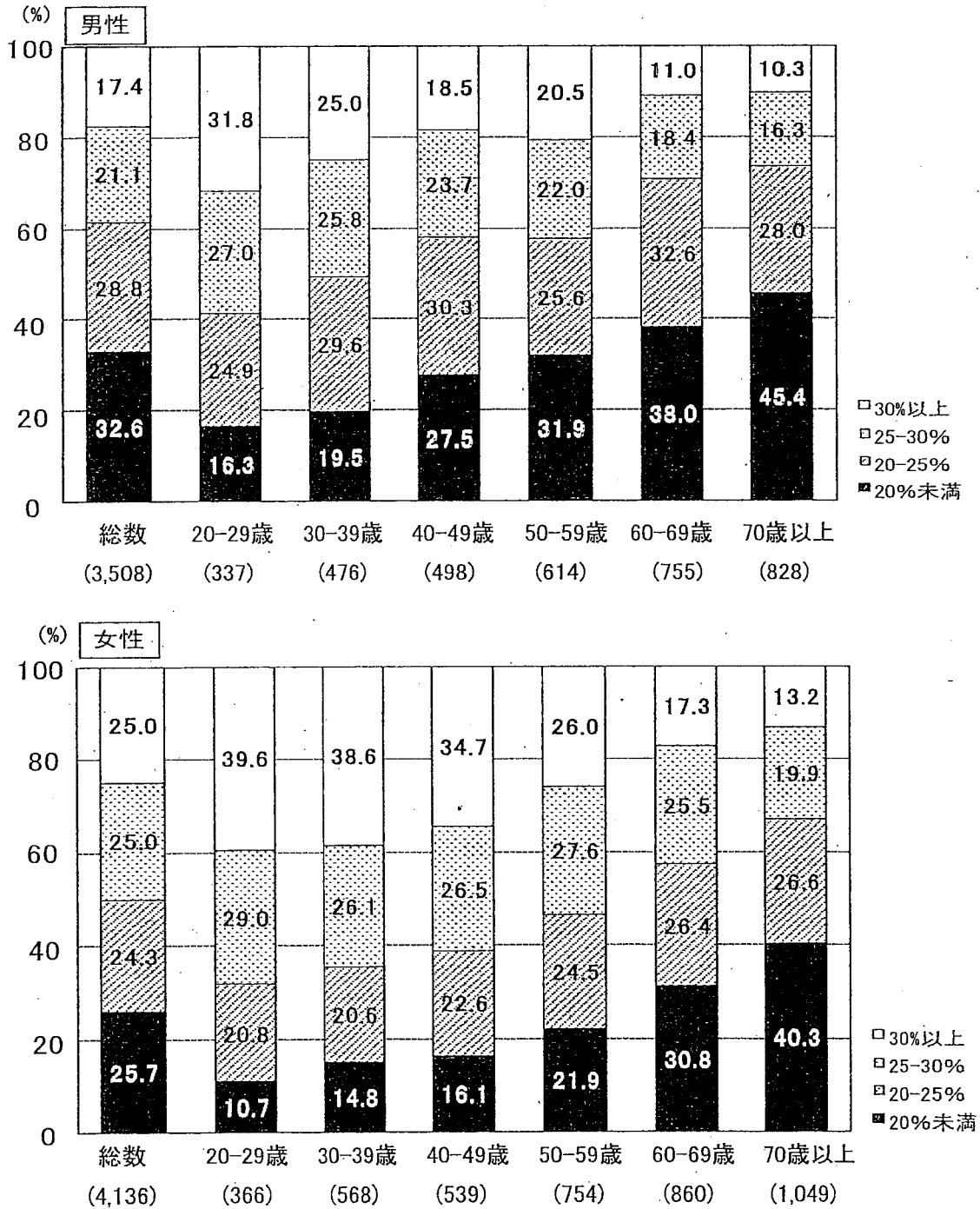
※食塩摂取量(g) = ナトリウム(mg) × 2.54 / 1,000

(参考) 食塩摂取の目標量  
「日本人の食事摂取基準」(2005年版)  
成人男性 10g未満  
成人女性 8g未満

#### 4. 脂肪エネルギー比率

脂肪エネルギー比率が30%以上の者の割合は、成人の男性で17.4%、女性で25.0%である。

図23 脂肪エネルギー比率の状況



※脂肪エネルギー比率：脂肪からのエネルギー摂取割合

(参考) 「日本人の食事摂取基準」(2005年版)  
 脂肪エネルギー比率  
 18~29歳:20%以上30%未満  
 30~69歳:20%以上25%未満  
 70歳以上:15%以上25%未満

「健康日本21」の目標  
 脂肪エネルギー比率の減少  
 目標値:20~40歳代 25%以下

## 5. 栄養素等摂取量

表9-1 栄養素等摂取量(1日あたり平均) (総数) -性・年齢階級別-

	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	(再掲) 20歳以上	
調査人数	人	9129	421	704	360	703	1044	1037	1368	1615	1877	7644
エネルギー	kcal	1867	1258	1936	2097	1883	1863	1894	1964	1956	1766	1883
たんぱく質	g	68.1	43.9	69.9	73.8	67.7	65.3	67.4	72.4	74.1	65.7	69.0
うち動物性	g	36.1	24.2	40.0	42.1	37.2	34.3	35.7	38.3	38.6	33.2	36.1
脂質	g	52.1	39.5	62.9	66.2	58.4	55.5	54.5	54.4	50.2	42.6	51.1
うち動物性	g	25.9	19.9	34.0	34.2	29.1	26.4	26.6	26.7	24.7	21.3	25.1
炭水化物	g	264.6	178.3	265.5	291.5	258.5	257.9	261.3	272.8	280.0	267.2	268.0
食塩(ナトリウム*2.54/1,000)	g	10.5	5.9	9.1	10.2	10.2	10.1	10.5	11.5	11.8	10.7	10.9
カリウム	mg	2287	1457	2188	2085	1955	2033	2108	2448	2686	2452	2351
カルシウム	mg	511	416	655	482	428	439	445	522	573	533	505
カルシウム(通常の食品:再掲)	mg	505	412	651	479	421	434	441	515	567	522	498
カルシウム(補助食品:再掲)	mg	4	1	1	2	4	3	2	6	3	6	4
カルシウム(強化食品:再掲)	mg	3	3	3	1	2	2	2	1	4	5	3
マグネシウム	mg	244	148	224	223	214	221	235	265	285	255	252
リン	mg	974	677	1064	1019	920	908	939	1027	1067	957	980
鉄	mg	7.8	4.6	7.0	7.5	7.6	7.1	7.4	8.4	9.0	8.2	8.1
鉄(通常の食品:再掲)	mg	7.7	4.5	6.8	7.4	7.0	7.3	7.3	8.3	8.9	8.1	7.9
鉄(補助食品:再掲)	mg	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
鉄(強化食品:再掲)	mg	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
亜鉛	mg	8.0	5.3	8.5	9.1	8.2	7.8	7.9	8.4	8.5	7.6	8.0
銅	mg	1.16	0.70	1.08	1.17	1.09	1.09	1.12	1.24	1.30	1.21	1.20
ビタミンA(レチノール当量)	μgRE	597	406	589	708	578	520	529	620	716	589	603
ビタミンD	μg	7.8	3.7	6.5	6.9	6.3	6.0	6.8	8.7	9.9	9.2	8.2
ビタミンE(α-トコフェロール量)	mg	8.6	4.4	6.5	7.0	7.5	7.6	8.2	10.2	9.1	10.0	9.1
ビタミンE(通常の食品:再掲)	mg	6.7	4.4	6.3	6.8	6.6	6.6	6.5	7.2	7.5	6.5	6.8
ビタミンE(補助食品:再掲)	mg	1.9	0.0	0.2	0.1	1.0	1.0	1.7	3.1	1.6	3.4	2.2
ビタミンE(強化食品:再掲)	mg	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビタミンK	μg	234	125	172	191	201	206	207	261	301	254	247
ビタミンB1	mg	1.52	0.57	0.92	0.97	1.42	1.06	1.21	1.62	1.65	2.36	1.66
ビタミンB1(通常の食品:再掲)	mg	0.83	0.57	0.89	0.93	0.88	0.81	0.82	0.88	0.88	0.78	0.84
ビタミンB1(補助食品:再掲)	mg	0.67	0.00	0.00	0.02	0.53	0.25	0.38	0.73	0.73	1.57	0.80
ビタミンB1(強化食品:再掲)	mg	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.04	0.01	0.01
ビタミンB2	mg	1.41	0.80	1.31	1.22	1.61	1.21	1.34	1.52	1.48	1.58	1.47
ビタミンB2(通常の食品:再掲)	mg	1.14	0.79	1.27	1.19	1.09	1.04	1.07	1.21	1.23	1.14	1.14
ビタミンB2(補助食品:再掲)	mg	0.27	0.00	0.04	0.02	0.51	0.17	0.27	0.31	0.24	0.43	0.32
ビタミンB2(強化食品:再掲)	mg	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01
ナイアシン	mgNE	14.6	7.6	11.9	13.7	13.9	14.0	15.2	16.4	16.8	14.4	15.3
ビタミンB6	mg	1.75	0.68	1.12	1.14	1.64	1.24	1.48	1.83	1.90	2.63	1.90
ビタミンB6(通常の食品:再掲)	mg	1.13	0.68	1.03	1.09	1.03	1.03	1.07	1.22	1.31	1.18	1.17
ビタミンB6(補助食品:再掲)	mg	0.61	0.00	0.08	0.03	0.61	0.20	0.41	0.61	0.58	1.44	0.72
ビタミンB6(強化食品:再掲)	mg	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01
ビタミンB12	μg	6.8	3.6	5.5	6.1	5.9	5.8	6.0	7.5	8.6	7.2	7.1
葉酸	μg	302	162	240	267	257	265	269	329	373	341	318
パントテン酸	mg	5.35	3.86	5.99	5.75	5.11	5.00	5.08	5.57	5.80	5.28	5.36
ビタミンC	mg	118	53	82	87	94	95	90	135	154	148	127
ビタミンC(通常の食品:再掲)	mg	100	52	74	75	72	76	78	109	131	129	107
ビタミンC(補助食品:再掲)	mg	15	0	4	3	19	13	11	22	18	17	17
ビタミンC(強化食品:再掲)	mg	3	2	4	9	3	6	1	5	4	1	3
コレステロール	mg	307	210	337	393	331	303	313	327	312	273	306
食物繊維総量	g	14.7	8.7	13.3	13.1	12.6	13.1	13.2	15.5	17.6	16.3	15.2
うち水溶性	g	3.4	2.2	3.3	3.0	3.0	3.1	3.0	3.5	3.9	3.6	3.4
うち不溶性	g	10.8	6.3	9.6	9.6	9.2	9.6	9.6	11.4	13.0	12.1	11.2
脂肪エネルギー比率	%	24.9	27.6	29.0	28.2	27.6	26.5	25.6	24.8	22.9	21.4	24.2
炭水化物エネルギー比率	%	60.4	58.4	56.4	57.5	58.0	59.3	60.0	60.4	61.8	63.7	61.1
動物性たんぱく質比率	%	51.0	53.3	56.3	55.4	52.4	50.5	51.2	50.9	50.1	48.4	50.2

※ 表中の「通常の食品」「強化食品」「補助食品」は次のとおりである。

- 通常の食品 : 通常の食品からの摂取
- 強化食品 : 通常の食品に強化されている部分からの摂取  
(例:カルシウム強化牛乳、鉄強化ヨーグルトなどの強化分)
- 補助食品 : 顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品からの摂取

表9-2 栄養素等摂取量(1日あたり平均) (男性) -性・年齢階級別-

	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	(再掲) 20歳以上	
調査人数	人	4269	204	367	190	337	476	498	614	755	828	3508
エネルギー	kcal	2077	1346	2065	2380	2134	2109	2082	2201	2182	1962	2105
たんぱく質	g	74.5	46.0	74.1	82.3	76.2	73.3	72.9	78.6	81.1	72.1	75.8
うち動物性	g	40.0	25.2	42.6	47.2	42.5	39.3	39.3	42.2	42.4	36.9	40.2
脂質	g	56.2	41.8	66.1	73.6	64.4	60.7	56.2	58.4	53.7	46.2	55.1
うち動物性	g	28.4	20.9	35.7	38.4	33.4	29.5	28.0	29.2	26.6	23.6	27.6
炭水化物	g	291.2	192.1	286.0	334.4	293.9	291.2	286.3	299.3	304.3	291.8	295.1
食塩(ナリウム*2.54/1,000)	g	11.4	6.0	9.6	10.9	11.4	11.3	11.3	12.4	13.0	11.4	11.9
カリウム	mg	2374	1531	2309	2223	2063	2181	2141	2466	2778	2588	2438
カルシウム	mg	524	437	693	517	449	453	431	514	584	550	511
カルシウム(通常の食品:再掲)	mg	520	432	689	516	447	451	429	511	579	544	507
カルシウム(補助食品:再掲)	mg	2	0	1	0	2	2	1	3	2	2	2
カルシウム(強化食品:再掲)	mg	2	5	3	0	0	1	1	1	3	4	2
マグネシウム	mg	258	154	237	239	232	242	245	275	304	273	268
リン	mg	1051	713	1127	1117	1022	1001	995	1093	1150	1039	1059
鉄	mg	8.1	4.7	7.4	7.9	7.6	7.7	7.7	8.6	9.4	8.7	8.4
鉄(通常の食品:再掲)	mg	8.1	4.6	7.3	7.9	7.6	7.7	7.5	8.5	9.3	8.6	8.4
鉄(補助食品:再掲)	mg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
鉄(強化食品:再掲)	mg	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
亜鉛	mg	8.8	5.6	9.0	10.4	9.3	8.9	8.6	9.1	9.2	8.3	8.9
銅	mg	1.26	0.73	1.14	1.30	1.23	1.22	1.20	1.33	1.41	1.31	1.30
ビタミンA(レチノール当量)	μgRE	626	432	642	724	554	577	567	638	725	639	631
ビタミンD	μg	8.4	3.4	6.7	6.6	7.5	6.9	7.1	9.3	10.5	10.3	9.0
ビタミンE(α-トコフェロール当量)	mg	8.1	4.7	6.8	7.6	7.4	7.3	6.9	9.0	8.6	10.0	8.5
ビタミンE(通常の食品:再掲)	mg	6.9	4.6	6.7	7.4	6.8	7.0	6.5	7.3	7.7	6.9	7.1
ビタミンE(補助食品:再掲)	mg	1.2	0.0	0.2	0.1	0.6	0.3	0.4	1.7	0.9	3.1	1.4
ビタミンE(強化食品:再掲)	mg	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビタミンK	μg	240	134	179	205	215	212	205	263	312	269	255
ビタミンB1	mg	1.47	0.60	0.99	1.11	1.24	1.01	1.03	1.76	1.67	2.19	1.59
ビタミンB1(通常の食品:再掲)	mg	0.91	0.59	0.95	1.07	0.99	0.91	0.87	0.95	0.94	0.85	0.91
ビタミンB1(補助食品:再掲)	mg	0.54	0.00	0.01	0.03	0.25	0.10	0.16	0.81	0.64	1.34	0.66
ビタミンB1(強化食品:再掲)	mg	0.02	0.00	0.03	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.02
ビタミンB2	mg	1.40	0.83	1.39	1.32	1.38	1.21	1.26	1.54	1.47	1.62	1.44
ビタミンB2(通常の食品:再掲)	mg	1.21	0.83	1.34	1.28	1.19	1.12	1.10	1.27	1.29	1.22	1.21
ビタミンB2(補助食品:再掲)	mg	0.19	0.00	0.04	0.03	0.19	0.08	0.16	0.27	0.15	0.40	0.23
ビタミンB2(強化食品:再掲)	mg	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.01
ナイアシン	mgNE	16.1	7.8	12.7	15.1	15.8	15.8	16.7	17.9	18.8	16.3	17.0
ビタミンB6	mg	1.62	0.71	1.21	1.23	1.49	1.29	1.33	1.76	1.87	2.21	1.74
ビタミンB6(通常の食品:再掲)	mg	1.22	0.70	1.11	1.19	1.11	1.14	1.14	1.29	1.42	1.29	1.26
ビタミンB6(補助食品:再掲)	mg	0.39	0.00	0.10	0.03	0.38	0.13	0.18	0.46	0.43	0.91	0.47
ビタミンB6(強化食品:再掲)	mg	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.02	0.00	0.00	0.02	0.00	0.01
ビタミンB12	μg	7.5	3.5	6.0	6.4	6.6	7.0	6.5	8.4	9.3	8.3	7.9
葉酸	μg	312	166	251	274	264	286	276	333	385	356	329
パントテン酸	mg	5.74	4.10	6.34	6.31	5.59	5.52	5.34	5.85	6.16	5.73	5.75
ビタミンC	mg	106	54	84	88	78	86	79	108	134	143	112
ビタミンC(通常の食品:再掲)	mg	97	53	76	74	70	78	76	98	124	132	103
ビタミンC(補助食品:再掲)	mg	6	0	4	2	7	6	3	7	6	12	7
ビタミンC(強化食品:再掲)	mg	2	1	5	12	1	1	1	3	3	0	2
コレステロール	mg	333	219	354	420	366	335	333	350	340	296	332
食物繊維総量	g	15.0	9.1	13.8	13.6	12.8	13.7	13.2	15.2	18.0	17.0	15.5
うち水溶性	g	3.4	2.3	3.4	3.2	3.0	3.2	3.0	3.5	4.0	3.8	3.5
うち不溶性	g	11.0	6.6	10.0	10.0	9.3	10.0	9.6	11.2	13.3	12.6	11.4
脂肪エネルギー比率	%	24.1	27.4	28.6	27.5	26.8	25.6	24.1	23.7	22.0	20.9	23.3
炭水化物エネルギー比率	%	61.4	58.9	57.0	58.5	58.9	60.4	61.7	61.9	63.1	64.3	62.2
動物性たんぱく質比率	%	51.8	53.4	56.5	55.3	53.5	51.7	52.3	51.7	50.2	49.1	51.0

※表中の「通常の食品」「強化食品」「補助食品」は次のとおりである。

通常の食品 : 通常の食品からの摂取

強化食品 : 通常の食品に強化されている部分からの摂取

(例:カルシウム強化牛乳、鉄強化ヨーグルトなどの強化分)

補助食品 : 顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品からの摂取

表9-3 栄養素等摂取量(1日あたり平均) (女性) -性・年齢階級別-

	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	(再掲) 20歳以上	
調査人数	人	4860	217	337	170	366	568	539	754	860	1049	4136
エネルギー	kcal	1682	1176	1794	1781	1652	1657	1721	1771	1759	1612	1695
たんぱく質	g	62.5	41.9	65.4	64.3	59.9	58.6	62.2	67.5	68.0	60.7	63.3
うち動物性	g	32.7	23.3	37.3	36.4	32.3	30.1	32.3	35.2	35.3	30.3	32.7
脂質	g	48.5	37.3	59.5	57.8	52.9	51.2	52.9	51.1	47.1	39.8	47.8
うち動物性	g	23.7	19.0	32.1	29.6	25.2	23.8	25.2	24.6	23.1	19.4	23.0
炭水化物	g	241.3	165.4	243.2	243.4	225.9	230.0	238.3	251.2	258.8	247.8	245.1
食塩(ナリウム*2.54/1,000)	g	9.8	5.8	8.5	9.4	9.2	9.1	9.8	10.8	10.7	10.1	10.1
カリウム	mg	2210	1388	2056	1931	1855	1909	2078	2433	2605	2345	2277
カルシウム	mg	501	396	614	443	408	428	457	528	564	519	499
カルシウム(通常の食品:再掲)	mg	492	394	610	437	397	420	452	518	556	505	490
カルシウム(補助食品:再掲)	mg	5	1	1	4	7	4	3	8	3	8	6
カルシウム(強化食品:再掲)	mg	3	1	4	2	3	3	3	1	4	5	4
マグネシウム	mg	231	142	210	206	197	204	226	258	268	240	239
リン	mg	906	643	995	909	826	829	886	973	994	893	913
鉄	mg	7.5	4.5	6.5	7.1	7.5	6.7	7.2	8.2	8.7	7.8	7.8
鉄(通常の食品:再掲)	mg	7.3	4.4	6.4	6.9	6.5	6.4	7.0	8.0	8.5	7.7	7.6
鉄(補助食品:再掲)	mg	0.2	0.0	0.0	0.0	0.9	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.2
鉄(強化食品:再掲)	mg	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
亜鉛	mg	7.3	5.0	7.8	7.8	7.1	7.0	7.3	7.7	7.8	7.0	7.3
銅	mg	1.08	0.66	1.01	1.02	0.97	0.99	1.04	1.18	1.21	1.13	1.11
ビタミンA(レチノール当量)	μgRE	571	381	532	691	601	472	493	606	707	550	579
ビタミンD	μg	7.3	4.0	6.3	7.2	5.2	5.3	6.4	8.3	9.4	8.4	7.6
ビタミンE(α-トコフェロール当量)	mg	9.0	4.2	6.2	6.3	7.6	7.9	9.4	11.3	9.6	9.9	9.6
ビタミンE(通常の食品:再掲)	mg	6.5	4.2	5.9	6.2	6.3	6.3	6.4	7.1	7.2	6.2	6.6
ビタミンE(補助食品:再掲)	mg	2.5	0.0	0.3	0.1	1.3	1.6	3.0	4.2	2.3	3.7	2.9
ビタミンE(強化食品:再掲)	mg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビタミンK	μg	228	117	164	175	187	202	209	260	291	243	241
ビタミンB1	mg	1.57	0.55	0.85	0.81	1.58	1.11	1.37	1.51	1.62	2.49	1.71
ビタミンB1(通常の食品:再掲)	mg	0.77	0.54	0.83	0.79	0.77	0.73	0.78	0.83	0.82	0.73	0.78
ビタミンB1(補助食品:再掲)	mg	0.79	0.00	0.00	0.01	0.80	0.37	0.58	0.67	0.80	1.75	0.93
ビタミンB1(強化食品:再掲)	mg	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01
ビタミンB2	mg	1.42	0.77	1.22	1.11	1.82	1.22	1.41	1.50	1.49	1.54	1.49
ビタミンB2(通常の食品:再掲)	mg	1.08	0.76	1.18	1.09	1.00	0.97	1.04	1.16	1.18	1.08	1.09
ビタミンB2(補助食品:再掲)	mg	0.34	0.00	0.03	0.02	0.81	0.25	0.37	0.34	0.31	0.46	0.40
ビタミンB2(強化食品:再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01
ナイアシン	mgNE	13.2	7.4	11.1	12.0	12.2	12.5	13.8	15.2	15.1	12.9	13.8
ビタミンB6	mg	1.87	0.66	1.02	1.03	1.78	1.20	1.63	1.89	1.93	2.97	2.03
ビタミンB6(通常の食品:再掲)	mg	1.05	0.65	0.96	0.99	0.95	0.93	1.01	1.16	1.22	1.09	1.08
ビタミンB6(補助食品:再掲)	mg	0.81	0.01	0.06	0.04	0.82	0.26	0.62	0.73	0.71	1.86	0.94
ビタミンB6(強化食品:再掲)	mg	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01
ビタミンB12	μg	6.1	3.7	5.0	5.8	5.3	4.8	5.6	6.8	8.0	6.3	6.4
葉酸	μg	294	157	227	259	250	247	263	326	363	328	308
パントテン酸	mg	5.01	3.64	5.60	5.12	4.66	4.56	4.83	5.33	5.48	4.93	5.03
ビタミンC	mg	130	52	79	85	109	103	100	158	171	151	140
ビタミンC(通常の食品:再掲)	mg	103	50	72	76	75	74	81	117	137	128	110
ビタミンC(補助食品:再掲)	mg	22	0	3	3	30	19	19	34	29	21	25
ビタミンC(強化食品:再掲)	mg	5	2	4	6	5	10	1	7	5	2	5
コレステロール	mg	285	201	318	363	300	277	295	308	289	254	284
食物繊維総量	g	14.5	8.3	12.8	12.4	12.5	12.6	13.2	15.8	17.3	15.7	15.0
うち水溶性	g	3.3	2.1	3.2	2.9	2.9	3.0	3.0	3.5	3.8	3.5	3.4
うち不溶性	g	10.6	6.0	9.2	9.1	9.1	9.2	9.7	11.7	12.7	11.7	11.0
脂肪エネルギー比率	%	25.5	27.9	29.5	29.0	28.3	27.3	27.0	25.6	23.8	21.8	24.9
炭水化物エネルギー比率	%	59.6	58.0	55.8	56.4	57.2	58.4	58.4	59.1	60.7	63.1	60.1
動物性たんぱく質比率	%	50.4	53.2	56.2	55.4	51.4	49.5	50.1	50.4	49.9	47.8	49.5

※表中の「通常の食品」「強化食品」「補助食品」は次のとおりである。

通常の食品 : 通常の食品からの摂取

強化食品 : 通常の食品に強化されている部分からの摂取

(例:カルシウム強化牛乳、鉄強化ヨーグルトなどの強化分)

補助食品 : 顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品からの摂取

6. 食品群別摂取量

表10 食品群別摂取量(1日あたり平均) -性・年齢階級別-

(g)

		総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	(再掲) 20歳以上
総数	調査人数(人)	9129	421	704	360	703	1044	1037	1368	1615	1877	7644
	穀類	448.8	269.0	426.7	529.7	480.5	463.7	468.5	461.4	454.4	437.0	457.0
	いも類	56.9	39.6	59.4	56.3	49.5	53.0	48.4	55.2	63.1	65.5	57.7
	砂糖・甘味料類	6.7	4.1	5.3	6.6	5.6	5.7	5.8	7.4	7.9	7.6	6.9
	豆類	56.2	28.5	45.8	40.1	41.7	46.2	51.5	63.2	70.3	65.9	59.5
	種実類	1.8	1.1	1.7	1.5	1.2	1.2	1.6	2.1	2.6	2.0	1.9
	野菜類	282.8	153.2	239.2	255.6	244.6	260.7	253.1	304.2	349.9	303.1	295.3
	うち緑黄色野菜	93.4	51.1	72.0	79.7	76.5	82.4	77.5	100.7	119.5	107.0	98.4
	果実類	116.8	99.0	97.8	80.3	71.8	70.4	75.9	122.8	157.9	160.5	121.3
	きのこ類	15.3	6.7	14.6	12.8	14.8	14.2	14.2	17.1	19.0	14.8	16.0
	藻類	10.0	5.1	7.7	8.6	8.5	7.9	10.4	10.5	12.6	11.0	10.5
	魚介類	78.5	30.8	53.8	62.0	63.6	62.7	72.7	91.5	103.0	88.4	84.1
	肉類	77.7	55.5	92.8	125.7	109.2	91.9	89.7	80.3	66.1	49.4	75.2
	卵類	33.6	23.6	36.3	46.9	36.2	33.0	34.1	35.2	32.2	31.2	33.2
	乳類	111.2	185.5	297.9	130.6	78.3	79.1	78.6	87.0	96.3	99.5	89.0
	油脂類	9.5	6.9	9.6	12.9	12.6	11.1	10.8	10.4	9.1	6.5	9.5
	菓子類	26.8	30.8	38.5	34.9	24.6	24.4	26.2	26.0	24.7	24.7	25.1
嗜好飲料類	597.2	184.9	271.7	422.2	501.2	614.9	704.1	743.3	737.7	585.1	658.1	
調味料・香辛料類	95.3	53.3	82.3	86.9	99.9	96.9	98.5	107.5	107.9	86.9	99.2	
補助栄養素・特定保健用食品	13.2	7.8	7.7	7.0	7.6	11.6	14.4	13.9	14.6	18.1	14.3	
男性	調査人数(人)	4269	204	367	190	337	476	498	614	755	828	3508
	穀類	520.3	296.1	465.9	629.8	586.2	549.5	546.3	544.5	524.8	493.2	533.1
	いも類	58.7	44.8	64.3	58.7	48.3	57.9	48.3	53.2	67.5	66.6	58.9
	砂糖・甘味料類	6.7	4.0	6.0	7.2	5.9	5.8	5.5	7.1	8.2	7.6	6.9
	豆類	58.4	28.1	46.2	42.1	43.9	51.8	50.4	64.3	76.9	68.4	62.3
	種実類	1.9	1.1	1.8	1.5	1.2	1.2	1.5	2.1	2.8	2.0	2.0
	野菜類	290.7	165.2	251.5	263.6	249.7	276.9	253.9	308.9	360.7	314.5	303.5
	うち緑黄色野菜	93.3	54.9	77.3	83.3	76.1	84.7	75.0	98.6	117.4	109.1	97.7
	果実類	103.1	94.7	96.4	74.8	48.8	62.3	64.2	94.0	134.5	161.8	105.8
	きのこ類	15.6	6.0	13.9	12.5	15.6	14.0	14.2	15.6	20.3	16.8	16.5
	藻類	10.4	5.6	8.2	7.0	9.2	8.7	11.1	10.7	13.0	11.8	11.1
	魚介類	87.9	30.7	56.3	66.2	74.0	73.1	84.7	101.9	116.7	100.4	95.7
	肉類	89.9	58.3	100.0	149.5	127.3	110.2	101.3	94.1	75.2	56.3	87.5
	卵類	35.8	24.8	38.4	47.4	39.7	36.5	35.5	37.6	34.4	32.8	35.5
	乳類	109.3	202.6	315.0	151.0	79.1	70.5	61.3	73.6	83.1	99.6	80.1
	油脂類	10.6	7.7	10.2	14.5	14.5	12.4	11.7	11.9	9.8	6.9	10.5
	菓子類	23.8	33.9	38.6	34.6	18.5	18.6	19.2	20.4	21.3	24.9	21.0
嗜好飲料類	666.4	191.4	297.6	441.0	561.0	685.7	807.5	861.7	841.7	641.1	744.9	
調味料・香辛料類	105.9	53.9	88.2	94.7	111.8	112.4	112.1	121.5	121.0	94.1	111.4	
補助栄養素・特定保健用食品	13.5	8.1	7.7	8.0	8.1	11.8	14.8	14.6	15.5	18.3	14.7	
女性	調査人数(人)	4860	217	337	170	366	568	539	754	860	1049	4136
	穀類	386.0	243.6	384.0	418.0	383.1	391.8	396.5	393.8	392.5	392.7	392.4
	いも類	55.4	34.7	54.1	53.7	50.6	48.9	48.5	56.8	59.3	64.6	56.6
	砂糖・甘味料類	6.6	4.3	4.5	5.9	5.4	5.5	6.1	7.7	7.7	7.6	6.9
	豆類	54.3	28.8	45.3	37.9	39.7	41.6	52.6	62.2	64.5	64.0	57.1
	種実類	1.8	1.0	1.5	1.6	1.1	1.2	1.6	2.1	2.4	1.9	1.8
	野菜類	275.9	141.9	225.8	246.7	240.0	247.1	252.4	300.4	340.5	294.1	288.2
	うち緑黄色野菜	93.5	47.6	66.2	75.6	76.9	80.5	79.8	102.5	121.3	105.3	98.9
	果実類	128.9	103.0	99.4	86.5	93.1	77.2	86.8	146.3	178.4	159.5	134.4
	きのこ類	15.0	7.3	15.3	13.1	14.1	14.4	14.3	18.3	17.9	13.3	15.5
	藻類	9.6	4.7	7.1	10.4	7.9	7.3	9.8	10.3	12.3	10.3	10.0
	魚介類	70.2	31.0	51.0	57.4	54.1	54.1	61.6	83.1	90.9	78.9	74.3
	肉類	66.9	52.9	84.8	99.2	92.6	76.6	79.0	69.1	58.2	44.0	64.8
	卵類	31.6	22.4	34.1	46.4	32.9	30.1	32.9	33.2	30.2	30.0	31.3
	乳類	112.9	169.3	279.2	107.9	77.6	86.3	94.6	98.0	107.9	99.5	96.6
	油脂類	8.6	6.0	9.0	11.2	10.9	9.9	10.0	9.1	8.4	6.2	8.6
	菓子類	29.4	28.0	38.3	35.2	30.2	29.3	32.7	30.5	27.6	24.5	28.5
嗜好飲料類	536.4	178.9	243.4	401.1	446.1	555.5	608.5	646.9	646.3	540.9	584.6	
調味料・香辛料類	85.9	52.7	75.8	78.3	88.8	84.0	85.9	96.2	96.4	81.2	88.8	
補助栄養素・特定保健用食品	12.9	7.5	7.7	5.9	7.3	11.4	14.2	13.4	13.8	17.9	13.9	

※補助栄養素・特定保健用食品: 顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品及び特定保健用食品からの摂取

## 市区町村におけるがん検診の費用に関する調査結果

	平成20年度実績額				平成21年度予算額			
	全てのがん検診		うち胃、子宮、乳、肺、大腸		全てのがん検診		うち胃、子宮、乳、肺、大腸	
	総費用 (千円)	その他の費用(千円) (自己負担額等)	総費用 (千円)	その他の費用(千円) (自己負担額等)	総費用 (千円)	その他の費用(千円) (自己負担額等)	総費用 (千円)	その他の費用(千円) (自己負担額等)
北海道	3,457,885	637,504	3,387,995	609,015	3,918,182	715,179	3,846,561	694,139
青森県	1,590,355	198,995	1,483,188	177,628	1,798,350	211,600	1,686,864	197,790
岩手県	1,646,706	250,216	1,512,146	218,596	1,731,937	276,239	1,595,592	239,852
宮城県	3,425,326	608,907	3,287,137	568,315	3,471,265	600,724	3,320,486	558,671
秋田県	907,165	194,161	811,350	167,811	1,033,903	214,111	914,627	189,671
山形県	1,552,416	466,581	1,427,111	402,183	1,810,499	523,902	1,652,557	453,953
福島県	3,104,832	287,010	2,579,160	278,341	3,077,691	323,979	2,935,775	312,698
茨城県	1,948,110	345,205	1,618,901	289,228	2,220,078	378,384	1,856,037	312,121
栃木県	1,958,125	240,999	1,490,966	196,224	2,126,434	262,651	1,711,184	220,970
群馬県	2,172,610	218,227	1,862,456	189,505	2,285,587	234,835	2,043,170	210,959
埼玉県	6,631,318	481,411	6,130,595	441,656	7,444,315	549,038	6,888,995	501,684
千葉県	6,893,067	557,728	6,058,646	474,545	7,620,919	645,458	6,693,737	550,317
東京都	10,597,629	443,965	9,973,365	408,120	12,777,093	490,226	11,962,394	439,846
神奈川県	7,416,493	1,064,480	6,998,249	1,028,752	7,718,994	987,995	7,358,802	947,606
新潟県	2,653,180	257,456	2,134,732	238,846	2,670,058	266,556	2,206,633	244,573
富山県	1,319,364	166,131	1,151,198	146,389	1,258,403	155,088	1,095,265	144,333
石川県	1,115,768	123,056	969,627	101,567	1,114,577	130,901	977,258	108,436
福井県	396,373	64,847	363,179	59,251	391,891	60,881	370,652	57,040
山梨県	1,165,912	169,552	714,469	115,259	1,303,993	173,092	760,490	120,695
長野県	1,442,877	317,506	1,230,075	262,633	1,724,802	393,060	1,481,216	325,738
岐阜県	1,301,540	198,640	1,219,800	184,430	1,468,891	220,860	1,380,625	203,180
静岡県	3,873,192	473,706	3,329,723	398,312	4,256,554	508,687	3,683,045	430,113
愛知県	6,480,586	852,489	6,106,802	791,545	7,364,597	1,023,554	6,808,088	938,810
三重県	1,504,892	282,902	1,221,473	207,370	2,103,725	261,436	1,576,341	213,824
滋賀県	529,129	94,128	518,054	92,684	636,155	100,224	622,545	97,086
京都府	1,089,542	53,418	1,050,891	52,468	1,222,082	61,151	1,185,013	60,163
大阪府	5,207,830	301,404	5,004,311	281,460	5,957,978	324,011	5,725,578	300,937
兵庫県	2,596,623	396,304	2,465,000	361,256	2,862,391	436,864	2,766,317	409,577
奈良県	811,338	150,599	799,446	148,467	988,889	169,055	973,472	166,567
和歌山県	820,682	85,266	778,360	79,976	978,480	98,981	922,883	93,458
鳥取県	886,057	138,131	727,911	115,945	955,269	154,776	903,420	140,841
島根県	406,977	68,036	374,118	60,283	441,891	70,258	402,290	63,289
岡山県	2,059,336	309,824	1,951,189	284,923	2,193,451	328,820	2,076,392	302,513
広島県	1,532,315	209,646	1,468,932	202,727	1,834,006	235,726	1,756,236	227,354
山口県	954,819	163,892	910,905	133,815	1,141,138	194,784	1,085,744	158,125
徳島県	432,250	64,947	402,225	61,039	587,805	82,432	550,843	74,063
香川県	870,117	171,932	743,296	148,404	999,802	202,725	848,239	176,880
愛媛県	797,837	160,757	555,741	88,683	967,163	195,673	646,208	102,586
高知県	360,779	39,733	352,455	38,877	444,197	45,707	434,757	44,616
福岡県	2,359,508	382,691	2,230,258	353,372	2,669,583	414,142	2,486,578	375,257
佐賀県	478,670	61,118	452,635	57,611	599,765	65,158	563,516	61,262
長崎県	1,206,452	122,521	930,024	96,891	1,348,492	137,578	1,039,378	109,292
熊本県	1,498,362	347,776	1,156,607	261,408	1,590,769	379,479	1,235,897	286,574
大分県	811,678	145,093	751,422	129,835	984,776	170,318	907,086	162,135
宮崎県	750,667	132,926	621,671	108,051	826,887	144,964	681,749	104,290
鹿児島県	1,362,288	236,948	1,248,666	199,617	1,450,886	237,835	1,357,498	192,231
沖縄県	694,037	146,093	678,496	143,323	728,224	150,469	702,156	145,929
合計	103,073,013	12,884,857	93,234,956	11,456,635	115,102,816	14,009,565	104,680,188	12,472,043

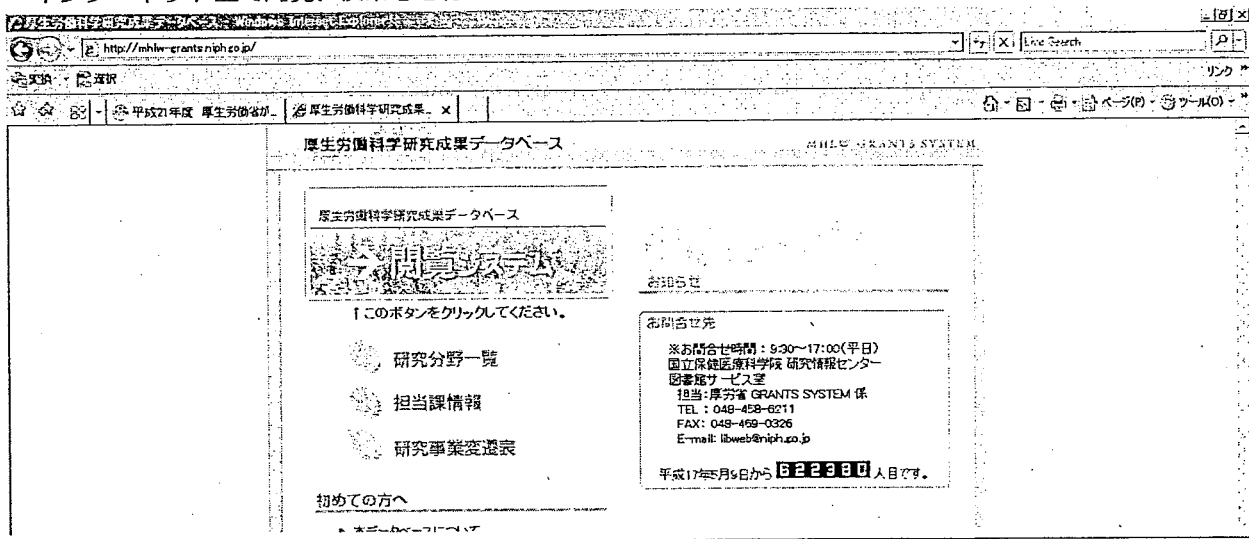
※ 各市区町村別の費用の調査結果については、第11回がん対策推進協議会終了後に、ホームページにて公表予定



# がんに関する研究成果の公表等

厚生労働科学研究成果データベース <http://mhlw-grants.niph.go.jp/>

厚生労働科学研究の研究成果を広く国民に情報公開するために、研究報告書をデータベース化しており、インターネット上で閲覧、検索等を行うことが可能。



## 第3次対がん総合戦略研究事業

平成20年度 平成21年2月28日(土) 13:00～15:30  
国際研究交流会館(東京・築地 国立がんセンター内)

平成21年度 年度中開催予定

## がん臨床研究事業

平成20年度 25件の成果発表会を開催 <http://www.jcancer.jp/kinten/2008jippan.html>

平成21年度 28件の成果発表会を開催予定 <http://www.jcancer.jp/kinten/2009jippan.html>

## がん研究助成金

平成20年度 平成20年10月18日(土) 公開講座「有効な新薬をより早く」

平成21年度 平成21年11月07日(土) 公開講座「わが国発の新しいがん治療薬の開発を目指して」

## がん研究戦略作業部会の設置について

平成21年7月22日  
科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
ライフサイエンス委員会

### 1. 設置の趣旨

我が国の死亡原因の第1位であるがんについては、がん対策基本法(平成18年法律第98号)に基づく「がん対策推進基本計画」(平成19年6月15日閣議決定)や「第3次対がん10か年総合戦略」(平成15年7月25日文部科学省・厚生労働省)が策定され、これまで関係府省により、がんの研究、予防及び医療を総合的に推進してきている。

このような背景を踏まえ、文部科学省として、基礎研究やその成果を積極的に医療へ応用する橋渡し研究において、総合的・戦略的にがん研究を推進するための今後の取組を調査するため、ライフサイエンス委員会にがん研究戦略作業部会を設置する。

### 2. 調査事項

- (1) がん研究の現状について
- (2) 今後のがん研究のあり方について
- (3) がん研究を総合的・戦略的に推進するための今後の取組について

### 3. 設置期間

作業部会の設置が決定された日から平成23年1月31日までとする。

## がん研究戦略作業部会 委員

(敬称略、五十音順)

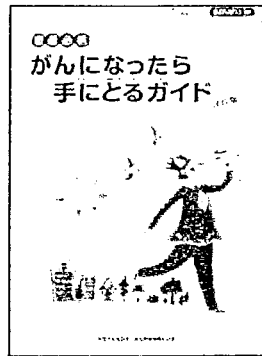
(◎: 主査、○: 主査代理)

- |              |             |                                  |
|--------------|-------------|----------------------------------|
| うえだ<br>上田    | りゅうぞう<br>龍三 | 名古屋市病院局 局長<br>名古屋市立大学大学院医学研究科 教授 |
| えすみ<br>江角    | ひろやす<br>浩安  | 国立がんセンター東病院 院長                   |
| ◎ かきぞえ<br>垣添 | ただお<br>忠生   | 国立がんセンター 名誉総長                    |
| たじま<br>田島    | かずお<br>和雄   | 愛知県がんセンター研究所 所長                  |
| たにくち<br>谷口   | ただつぐ<br>維紹  | 東京大学大学院医学系研究科 教授                 |
| つきた<br>月田    | さちこ<br>早智子  | 大阪大学大学院生命機能研究科/医学系研究科 教授         |
| なかむら<br>中村   | ゆうすけ<br>祐輔  | 東京大学医科学研究所 教授                    |
| にしかわ<br>西川   | しんいち<br>伸一  | 理化学研究所発生・再生科学総合研究センター副センター長      |
| のだ<br>野田     | てつお<br>哲生   | 財団法人癌研究会癌研究所 理事・所長               |
| はぶ<br>垣生     | そのこ<br>園子   | 順天堂大学医学部 客員教授                    |
| ひろはし<br>廣橋   | せつお<br>説雄   | 国立がんセンター 総長                      |
| ふかみ<br>深見    | きよこ<br>希代子  | 東京薬科大学生命科学部ゲノム情報学研究室 教授          |
| みやぞの<br>宮園   | こうへい<br>浩平  | 東京大学大学院医学系研究科 教授                 |
| ○ もんでん<br>門田 | もりと<br>守人   | 大阪大学 理事・副学長                      |
| わかばやし<br>若林  | けいじ<br>敬二   | 国立がんセンター研究所 所長                   |

# 患者必携配布に向けた検討について

インターネットの利用の有無に関わらず、得られる情報に差が生じないようにする必要  
があることから、がんに関する情報を掲載したパンフレットやがん患者が必要な情  
報を取りまとめた患者必携を作成し、拠点病院等がん診療を行っている医療機関  
に提供していく。

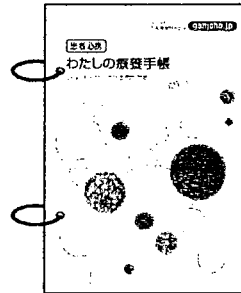
- 当該パンフレットや、がんの種類による特性等も踏まえた患者必携等に含まれる情  
報をすべてのがん患者及びその家族が入手できるようにすることを目標とする。



A4判 自宅保管

がんと向き合うための  
横断的情報

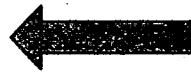
心のサポート  
療養情報  
生活支援情報  
体験談



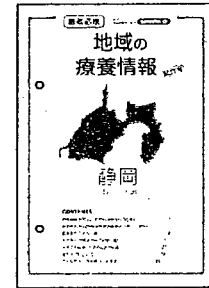
A5判 携帯

書き込み式  
バイнда

都道府県・地域の  
ページを差し込み



チェックリスト  
診療メモ  
ダイアリー  
かかりつけリスト



A5シート/冊子

地域に特化した  
情報

医療機関  
支援窓口

がん情報サービス [ganjoho.jp](http://ganjoho.jp)

## 前回以降の活動

- H21年 6月 第10回がん対策推進協議会に試作版提示  
試作版をがん情報サービスから公開  
Webアンケート(53名、11月26日時点)
- 7月 全国がん対策関係主管課長会議、都道府県がん診療連携  
拠点病院連絡協議会で紹介  
市民向けがん情報講演会(652名)
- 7月～ 普及方法について検討
- 7～9月 推進協議会メンバー等にヒアリング(6名)
- 9月 患者・市民パネルに「内容と構成」「普及の進め方」に関す  
るアンケート実施(68名回答)
- 10月 完成版にむけた患者市民パネル検討会(46名参加)
- 10～1月 6施設で試験配布(第3次対がん渡邊班)  
茨城県立中央、栃木がん、四国がん、高知医療セ  
琉球大学、静岡がん(医療者のみ)
- 12月 拠点病院に対するアンケート(同研究班)
- 12月 第11回がん対策推進協議会に完成版作成に向けた  
改修案・配布方針提示

がん情報サービス [ganjoho.jp](http://ganjoho.jp)

# 患者必携試作版に対する意見のまとめ

## <内容と構成について>

1. 各がん種の部分を含める必要はないのでは
2. 用語集を充実するべき
3. 「患者さんの手記」がもっとあった方がよい
4. 手にとるガイドも、大きさを統一し、携帯できるようにした方がよい。
5. 地域情報の作成は、各地域で取り組むことが望ましい

## <配布方法、普及の進め方について>

1. まずは、新たに診断された方を優先するべき
2. ただ、渡すだけでなく、医療者から使い方などについての説明が必要
3. 医療者についても、十分な説明が必要
4. しっかりと体制が整った施設から、配布を始める
5. すべての医療機関に見本をおくなど、広く存在を知らせることが必要
6. 配布施設について、まずは、拠点病院からということで良いが、地域の状況等踏まえ、各都道府県の推進協議会で検討するのが良いと考える。

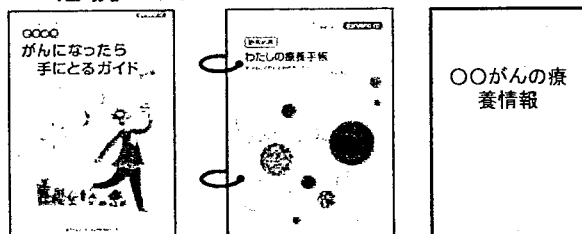
3

がん情報サービス [ganjoho.jp](http://ganjoho.jp)

# 患者必携完成版に向けた方針(案)

1. 「がんになったら手にとるガイド」のサイズ変更  
(A4版→A5版) 文字サイズはそのまま
2. 各がん種の療養情報を〇〇がんの療養情報として分冊化  
胃がん、大腸がん、乳がん、肝細胞がん、肺がん、血液・リンパのがん、小児がん、食道がん、胆道と膵臓のがん、子宮・卵巣がん、腎臓・尿管・膀胱のがん、前立腺がん、頭頸部のがん、脳の腫瘍、骨と軟部組織のがん、皮膚のがん(16種類)
3. 用語集・「患者さんの手記」を追加
4. 地域情報について、ひな形を示すのみとし、各都道府県版の作成は都道府県に委ねる

必携セット

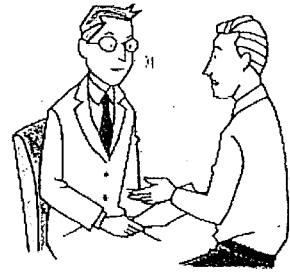


必携ファミリー



# 配布に向けた方針(案)

がんの診断が伝えられて間もない時期の患者に  
担当医の指示により  
担当医、看護師、相談員等医療機関スタッフから  
医療機関にて渡す



1. 都道府県拠点病院等、配布体制が整備された拠点病院から配布を開始する
2. 配布施設については、各都道府県で決めていただく(当初は、施設を限定し、段階的に増やしていく)
3. 受注・配送センターを準備し、配布施設からの連絡で配送する
4. 配布施設のためのマニュアル等の作成
5. 必携に関する問い合わせ窓口を用意する
6. 認知度向上のための広報を実施する

上記体制が整う平成22年度後半を配布開始を想定する。

5

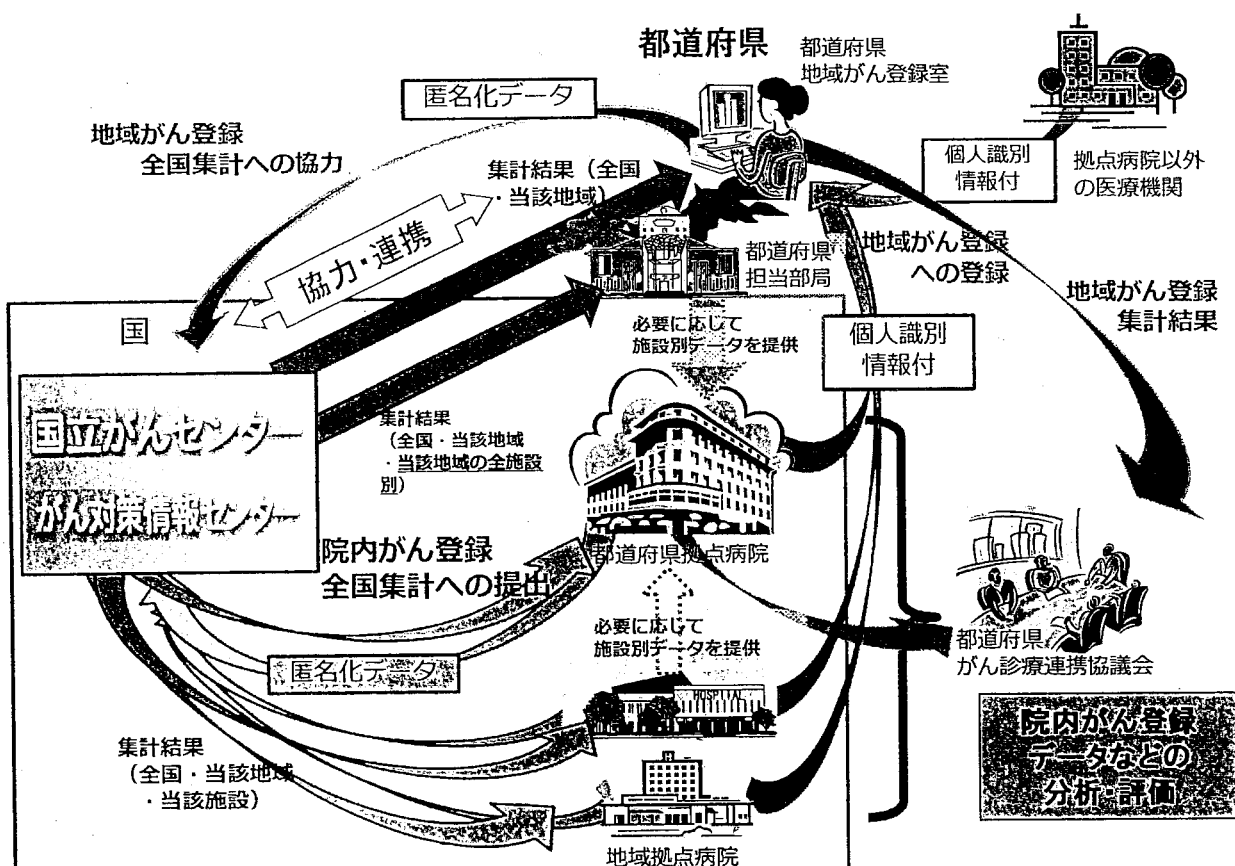
# がん診療連携拠点病院院内がん登録 全国集計報告書について

- ・ がん診療連携拠点病院の院内がん登録のデータを初めて集計した
- ・ 2007年1月1日～12月31日に拠点病院で、診断あるいは治療、または他施設で診断・治療後に、拠点病院を初診したケースを登録

305施設(353施設に依頼)の拠点病院より、327,889件を収集  
→がん罹患の約50%

※本報告書は  **ganjoho.jp**  
医療関係の方へ「統計」からダウンロードできます。

## 地域がん登録を含めた連携体制イメージ



## 今回の集計で見えてきたこと

- 拠点病院においても、胃・大腸・肺がんの登録件数が多い。
- 前立腺がんの登録件数が多い。(23,605例)  
=> 肝がん(16,782例)より多い
- がん検診等で発見された割合(検診+ドックで16.7%)などもより詳細な評価ができる可能性がでてきた。
- がんの種類とステージの組み合わせでの治療方法が改めて確認できた。
- 越境受診のパターンも見られ、都道府県毎の情報収集の方法の検討も必要であることを確認した。

## 拠点病院 院内がん登録の意義と展望

現在の院内がん登録の問題点や様々な状況に対する仮説が導かれた。



継続していくことで、問題点を改善したり、新しい課題を発見したりして、より正確で役に立つ情報を集めて公開していくことが可能となる。



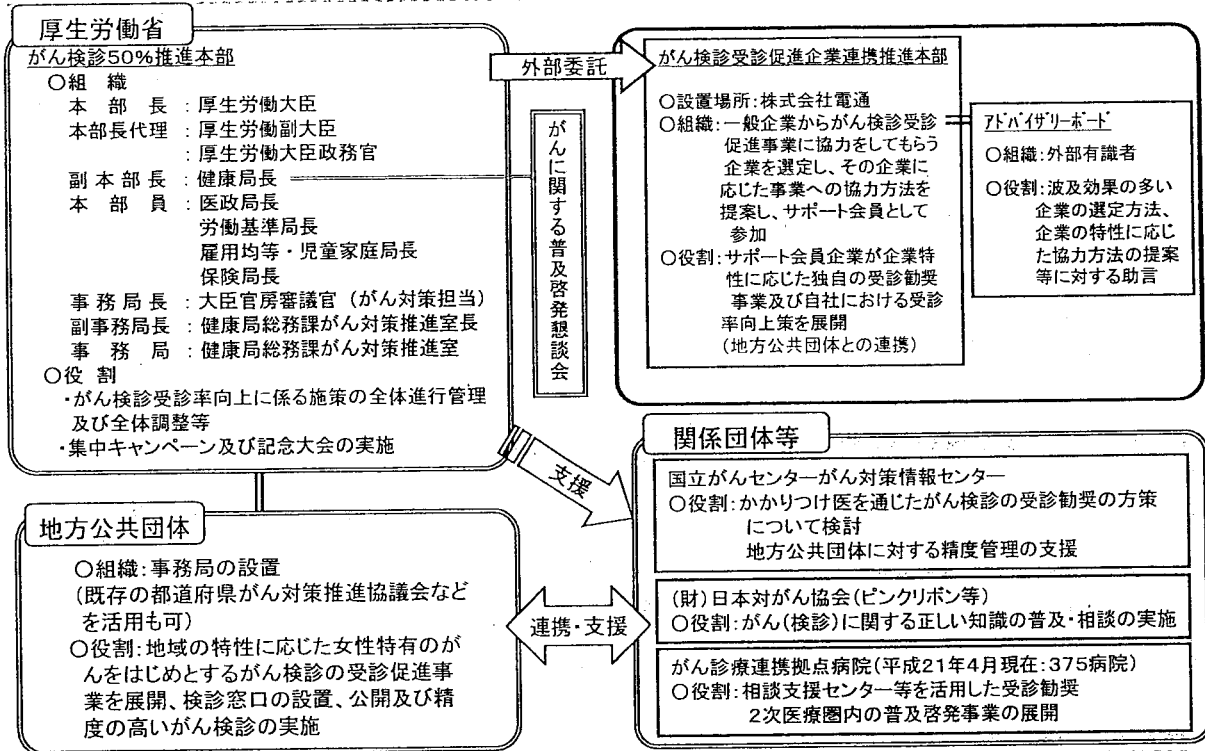
1. 各がん種、進行度、その治療の分布を把握し、国や都道府県のがん対策に役立てる。
2. 各施設が全国と比較した自施設のがん診療状況を把握し、がん診療の方向性等を検討する。

今後は、施設別データの公表を検討

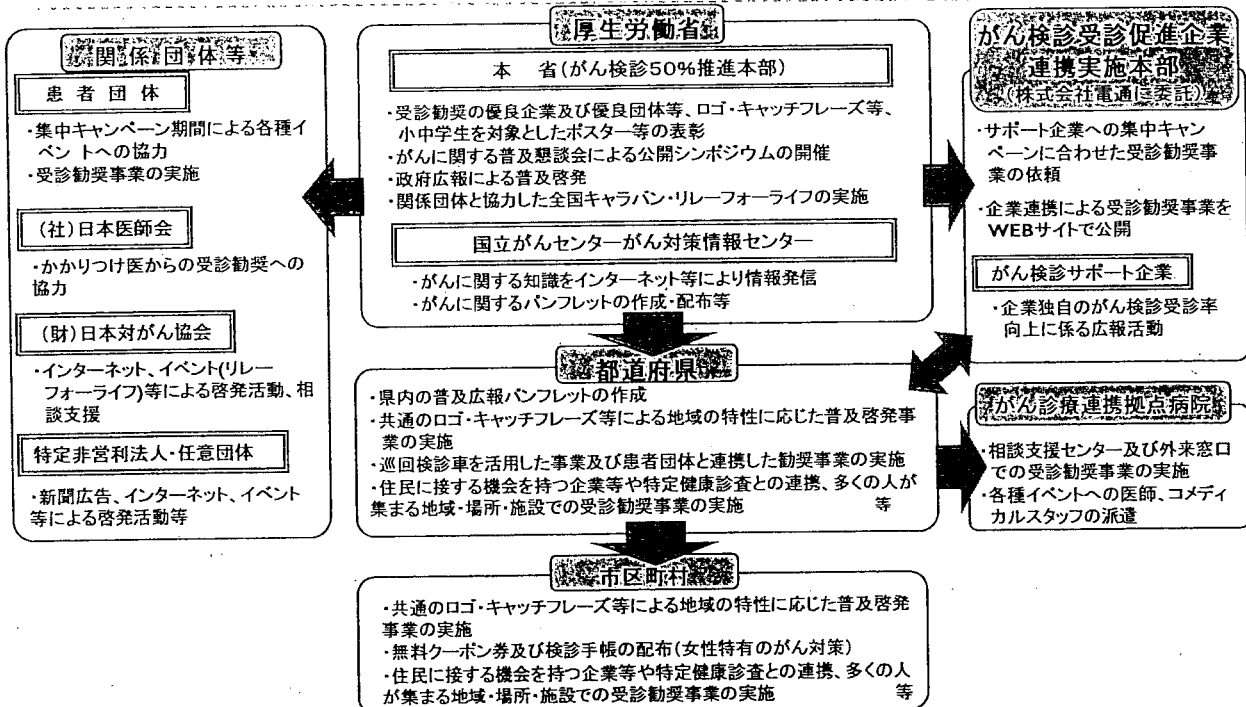
2011年に予後調査を実施し、3年生存率を算出予定



# がん検診受診率向上に係る組織体制



## がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン



集中キャンペーン(毎年度10月)に併せて、国・自治体・企業・関係団体等が相互に連携・協力して一体となった受診勧奨事業を展開

## 平成21年度がん検診50%推進全国大会（概要）



2009年10月10日

サンシャインシティ噴水広場（東京都豊島区）

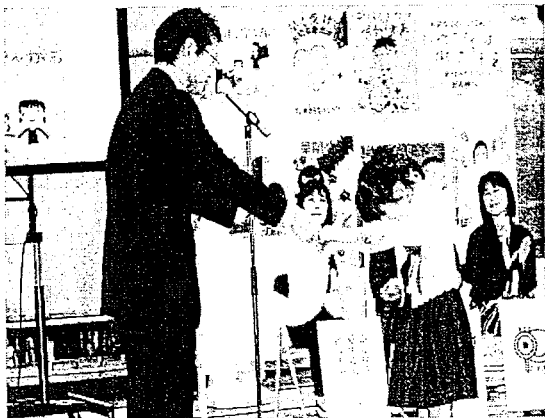
平成21年度がん検診50%推進全国大会において挨拶する長妻厚生労働大臣

厚生労働省では、10月1日（木）から31日（土）までの一ヶ月間を「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」と定め、国民の皆様のがん検診に対する意識の高揚を図るとともに、10月10日（土）には、東京都豊島区において「平成21年度がん検診50%推進全国大会」を開催し、がん検診の重要性をアピールしました。

大会のはじめに、長妻厚生労働大臣より主催者挨拶がありました。その中で長妻大臣は「政府としては、がんの早期発見に優先して取り組み、これを国家プロジェクトとして、あと2年半のうちにがん検診受診率50%以上を何としても達成をしたい」と決意表明しました。

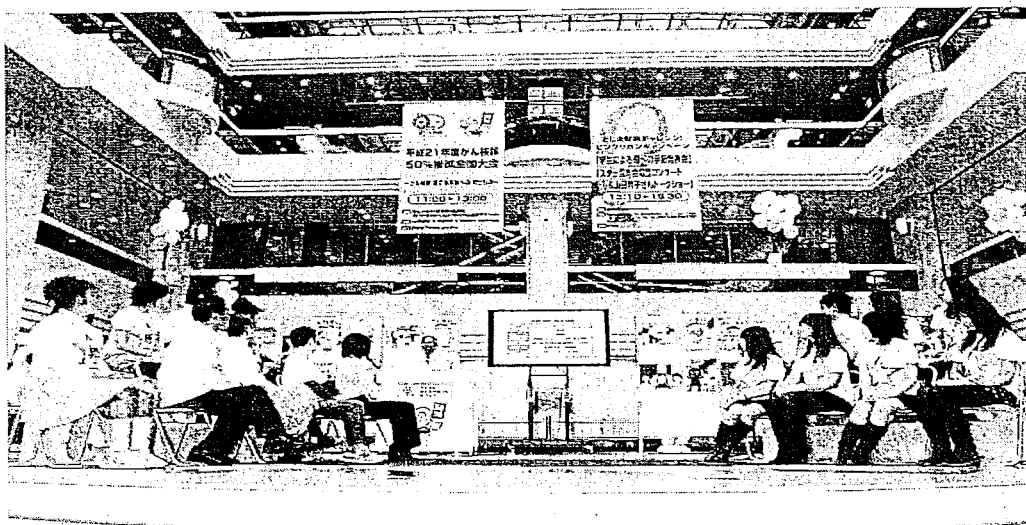
本大会に先立ち、厚生労働省では、がん検診受診率50%達成に向けた取組の趣旨を国民の皆様に分かり易く伝えることを目的として、がん検診50%推進ポスター、キャッチフレーズ、イメージキャラクター及びロゴマークを募集しました。

これらの応募作品のうち、厳正なる審査により選考された最優秀作品に対して、長妻厚生労働大臣より表彰状が授与されました。



平成21年度がん検診50%推進全国大会最優秀賞表彰式  
平成21年10月16日 サンシャインシティ地下鉄有明ホール

続いて、東京大学医学部附属病院放射線科准教授 中川恵一先生を講師、タレントの山田邦子さんをはじめとするスター混声合唱団の方々や学生代表の皆さんをゲストに迎え、公開シンポジウムが行われました。シンポジウムでは、がんに関するクイズやゲストからの質疑応答を交えて活発なやり取りが行われ、来場者はがん検診の重要性に対する理解を深めました。



また、会場内ブースでは、スター混声合唱団／学生コミュニティー「結」・がん新薬を普及する会／(財)日本対がん協会／(社)日本医師会・(社)東京都医師会・(社)豊島区医師会／がん検診受診促進企業連携実施本部／豊島区の6つの出展があり、がん検診受診率向上のための様々な啓発活動が行われました。

関係各位

## 「がん検診企業アクション」の事業概要のご案内

### 1. 事業名称

- 事業名称：「がん検診受診促進企業連携推進事業」
- 事業略称：「がん検診企業アクション」

### 2. 事業ロゴ



### 3. 主旨

がんは、今や2人に1人（生涯リスク：男性は54%、女性は41%）が罹患し、死亡原因の第1位に挙げられています。人口比における死亡割合は世界でも突出して高く、その実態は世界一の「がん大国」といっても過言ではありません。

そのため厚生労働省では、「がん対策推進基本計画」（平成19年閣議決定）の中で、5年以内にごがん検診の受診率を50%以上とすることを目標に掲げました。今年からこの目標を達成するために、国、地方自治体、企業、検診機関、患者団体などが一体となって、がん検診受診率の向上のための広報を全国展開しております。

がん検診の受診率の向上を図るためには、がんに関する正しい知識の普及が重要であり、家庭や地域において相互に学び合う環境づくりを行うこと、さらには企業において経営層及び従業員等が“がん”を知り、検診への意識を高め、がん検診受診のための具体的行動へと結びつけることが、今後のがん対策の推進に必要不可欠であります。

よって、今年度からは、「住民検診」の領域では、主に自治体のがん検診受診推進事業の一環として「子宮頸がん検診」及び「乳がん検診」を対象に「無料クーポン券」が約760万人に対して配布される一方、「職域健診」の領域では、本事業がその受け皿となり、企業の経営者層及び従業員の皆さま方に、がん検診の重要性を訴求するための各種啓発活動を推進する運びとなりました。

がん検診企業アクションは、最終的には、がん検診を“自分事化”させるための、がんへの理解醸成に向けた啓蒙活動（＝国民運動化）として推進し、がん検診受診率向上を早期に実現したいと存じます。

#### 4. 事業の狙い

本事業は、様々な企業・団体等関係者を巻き込み、職域におけるがん検診の必要性をより多くの企業経営者及び従業員に理解して頂き、がん検診受診率を向上させていくために取り組まれる事業です。特に、企業における受診率向上に向けては、「経営者の理解」、「費用負担の軽減」、「検診しやすい場の提供」、「社内の連携」という4つのポイントが欠かせない視点となります。

本事業では今年度から「推進パートナー制度」を設け、様々な企業・団体等の参画を基軸に、職域健診におけるがん検診受診率向上を目的としております。がんは早期発見されることで生存率が飛躍的に高まる病気でもあり、事業面では、“がん”の早期発見・早期治療による人財損失の回避と経営基盤の安定確保、社会面では、CSR（企業の社会的責任）をはたす企業として好イメージの確立など、大きな効果が期待できます。

また、事務局として推進パートナー企業の活動を直接的・間接的にサポートしていきます。今年度、従業員のがん検診の意識を高めていただくための小冊子（「がん検診のススメ」企業規模に応じて一定部数を無料配布：上限3,000部）、がん検診受信を啓発するためのポスター、チラシの無料配布を開始いたしました。今後は、ホームページを通じた企業の主導による先駆的な取り組み等の紹介、社内における研修会・勉強会等への講師の派遣、マスコミへの情報提供による話題づくりへの対応等を強化していきます。

尚、がん検診企業アクションでは、効率的・効果的に事業を推進するために、医療関係者・有識者及び著名人等から構成されるアドバイザリーボード（議長：中川恵一東京大学医学部附属病院准教授／緩和ケア診療部長、厚生労働省がん対策推進協議会委員、厚生労働省がんに関する普及啓発懇談会座長 他9名）を設置し、有用な助言・提言等を頂きながら事業運営を推進しております。

以上

がん検診企業アクション事務局

（株式会社 電通内）

〒105-7001 東京都港区東新橋1-8-1

担当連絡先：洗川・中島（Tel 03-5815-7925 Fax 03-3827-1995）

参考資料①：がん大国日本

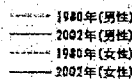
○日本は、人口比における"がん"の死亡割合が世界でも突出して高く、その実態は世界一のがん大国といっても過言ではありません。年間における死亡者は約 34 万人、継続的な医療を受けている人は約 142 万人にのぼり、がん関連の年間医療費は一般診療医療費全体の約 10%を占める 2 兆 4,836 億円にも達しています。

○働き盛りの世代に増えている"がん"もあり、企業にとって、"がん"による人財の損失リスクは無視できない深刻な問題です。



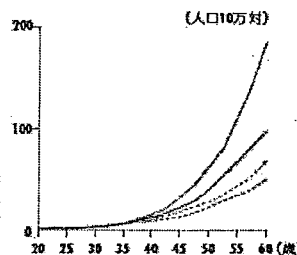
働き盛りの世代に増えているがんがあります。

■年齢階級別がん罹患率推移 (1980年、2002年)  
働き盛り(20~60歳)の世代において、20年前と比較し、大腸がんや乳がん等のがんの発生が増えています。

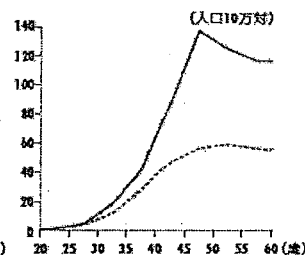


出典：国立がんセンターがん対策情報センター

大腸(結腸+直腸)がん



乳がん(女性)

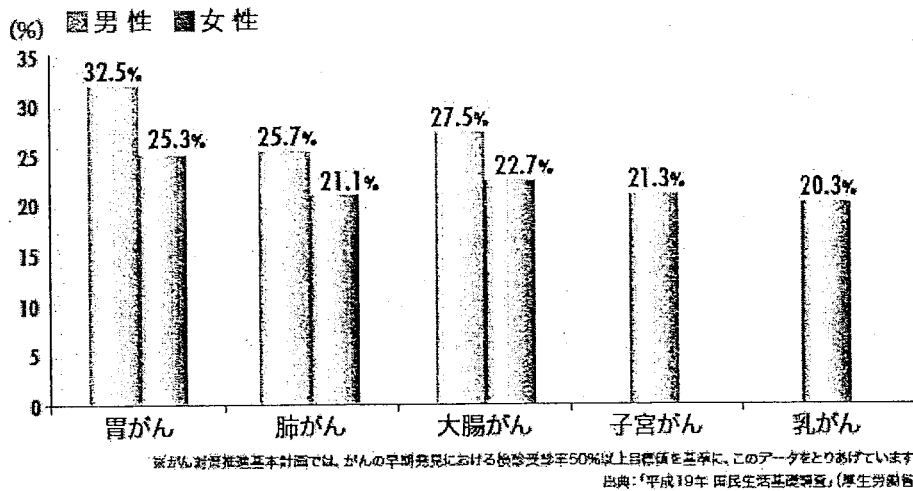


参考資料②：がん検診の実情（低い受診率）

○日本のがん検診受診率は、OECD（経済協力開発機構）加盟国 30 カ国の中で最低レベルです。欧米の検診受診率が約 70%～80%に対し、日本は 20～30%とがん検診の受診率は低く、関心があまり高くありません。

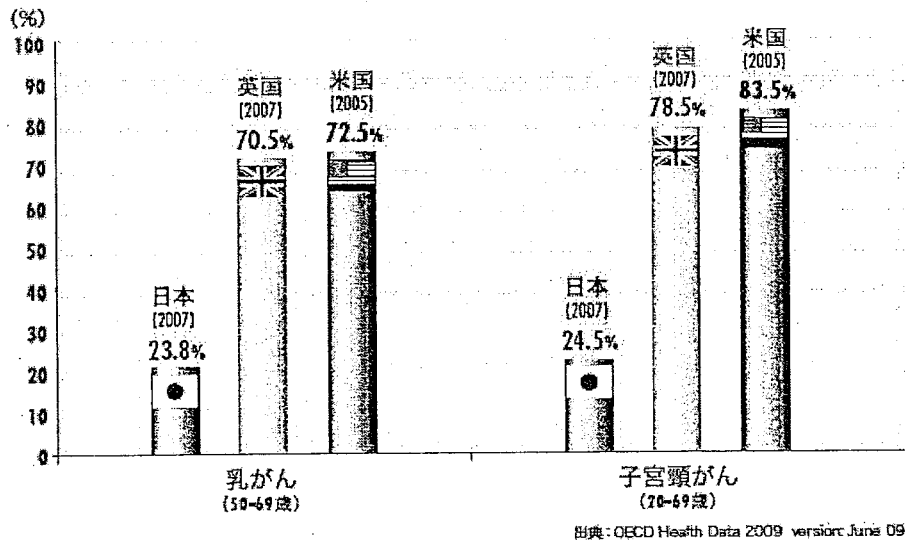
○特に、若い女性が罹患する割合が高まっている「乳がん検診」、「子宮頸がん検診」の受診率は、米国や英国と比べると日本は 1/3 以下の 20%強と低い状況にあります。

■ 日本の5がんの検診受診率



■ 日本と英国、米国における乳がん、子宮頸がん検診受診率の比較

子宮頸がんの検診の場合、米国では84%の女性が受けているのに対し、日本の受診率は21%です。とくに、20歳代の女性では子宮頸がん検診を受けている割合は11%という極めて低い状況です。



参考資料③：本事業の意義・価値

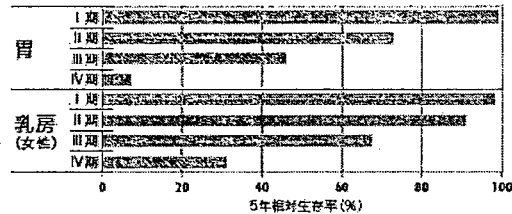
○がんは早期発見されることで生存率が飛躍的に高まる病気になっております。本事業に推進パートナーとして参画することで、事業面では、"がん"の早期発見・早期治療による人財損失の回避、従業員が安心して働ける環境や経営基盤の安定性の確保が期待できます。また、従業員の生命を大切に考える企業姿勢は、CSR（企業の社会的責任）をはたす企業として好イメージを確立できるといった効果も期待できます。

早期発見すれば、  
従業員の職場復帰率もぐんとアップ。  
大切な即戦力を維持でき、  
経営基盤の強化につながります。

■臨床病期別5年相対生存率

胃がんや乳がん等では、早期に発見されれば、治療効果が期待できるため、生存率が100%近くなります。

I～IV期はがんの病期を表します。I期に近いほどがんが小さくとどまっている状態、IV期に近いほどがんが広がっている状態（進行がん）です。



出典：国立がんセンターがん情報センター

**効果 1**

**(事業的価値を守る)**  
男性の2人に1人、女性の3人に1人が「がん」になる可能性があるが、がん検診受診は企業の経営基盤を守る最も有効なリスクマネジメントです。

- 「大切な人財」の損失を回避**  
早期発見・早期治療により、企業の財産としての従業員・経営者の健康維持につながり生産性の向上につながる。
- 従業員が安心して働ける環境**  
がん検診受診率の向上により、女性社員を含め従業員が働きやすい職場づくりの整備が可能。
- 従業員の家族を守る経営**  
社員およびその家族(主婦等)に対し、がん検診受診を推進することで従業員への福利厚生が充実できる。

**効果 2**

- 社会的責任の履行**  
日本を代表する企業群で構成される推進パートナー企業の一員として、社会貢献に寄与できる。
- 企業姿勢の向上**  
生命の大切さを第一に考える企業姿勢が定着し、消費者、株主、学生などの各ステークホルダーに対しブランドイメージが向上。
- 社会的認知の向上**  
キャンペーンのロゴマークやキャラクターを広告・PR活動に活用でき、社会に対して積極的にアピールできる。



取組事例：がん検診企業アクションの取り組み

■推進パートナーとして本事業に参画していただける企業・団体様の募集

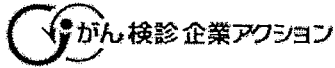
『がん検診企業アクション』に賛同いただいている団体・企業  
(50音順 2009年11月30日現在 16社)

- 株式会社朝日新聞社
- アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
- エイボン・プロダクツ株式会社
- 株式会社サニーサイドアップ
- JAL リゾート シーホークホテル福岡
- ジョンソン・エンド・ジョンソングループ健康保険組合
- 株式会社千趣会
- 第一生命保険相互会社
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- フコクしんらい生命保険株式会社
- 富士フイルム株式会社
- 富士フイルムメディカル株式会社
- 株式会社毎日新聞社
- 株式会社メディネット
- リコーリース株式会社
- 株式会社ワコールホールディングス

■ ホームページの開設

http://www.gankenshin50.go.jp

企業で働く皆さんのがん検診受診率向上を応援します



文字サイズ 小 中 大

→ FAQ → リンク集 → サイトマップ → お問い合わせ

がん検診企業アクションとは    がん検診について    がんについて    パートナー企業・団体    活動レポート

がん大国  
高死亡率  
低受診率  
早期発見  
企業の検診

企業で働く皆さんのがん検診受診率向上を応援します

- お知らせ・イベント情報** >> 一覧を見る
- 2009/11/17 パートナー企業を2社追加しました。
  - 2009/11/16 孫志新画「ココカラ・ライフ」ワークショップ2009が開催されます。
  - 2009/11/10 パートナー企業を1社追加しました。
  - 2009/11/09 パートナー企業を1社追加しました。
  - 2009/11/02 パートナー企業を2社追加しました。
  - 2009/10/23 パートナー企業を1社追加しました。

**パートナー企業・団体の取り組み紹介**

ここでは、がん検診企業アクションにパートナー認定された企業・団体の取り組みを掲載しています。今後の更新にご期待下さい！

**パートナー企業・団体の取り組み紹介**

がん検診企業アクション公式小冊子  
「がん検診のススメ」

ホームページ

地方自治体のがん検診への取り組み  
がん検診無料クーポン券

毎年10月に開催される厚生労働省 月間キャンペーン  
がん検診50%キャンペーン

がん検診のススメ

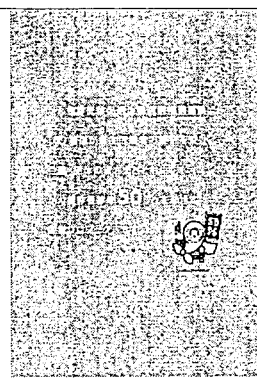
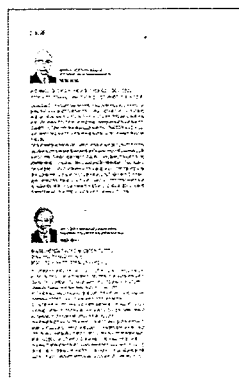
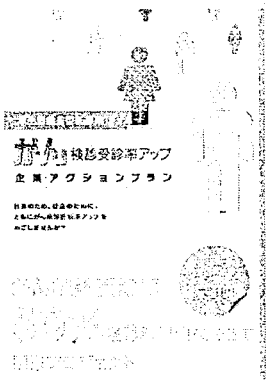
- がんになる原因
- がん細胞が一日にできる数
- 早期がんを発見できる時間
- がんが見つかるまでにかかる時間
- 早期に見つけるメリット
- 日本人が、がんになる確率
- タバコがなくなれば、がんが減る
- 胃がんが減っている
- がんの治療法

がんの予防と検診を早くスタート!!

★ プライバシーポリシー → このサイトについて

Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare. All rights Reserved.

■パンフレットの作成



**国民の**  
2人に1人が「がん」になり、  
3人に1人が「がん」で亡くなっています。

あなたの企業は、大切な「人財」を「がん」によって失うリスクを考えていますか？

- がん検診実施
- がん検診費用負担
- がん検診結果通知書
- がん検診結果報告書
- がん検診結果報告書
- がん検診結果報告書

**がん大国日本**

がん検診率 34.5%

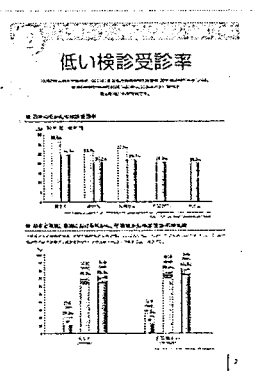
がん検診率 14.7%

がん検診率 59.1%

がん検診率 67.2%

がん検診率 38.5%

がん検診率 2,483%



**がん対策推進基本計画**

すべての世代・地域への安心

**企業の役割**

**推進パートナー参加のお誘い**

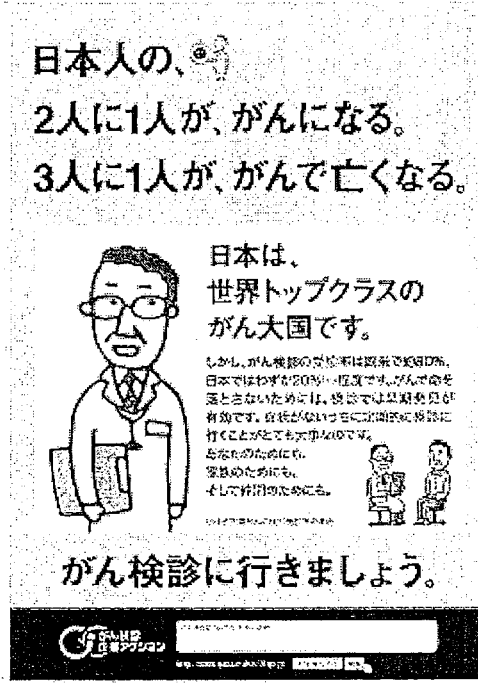
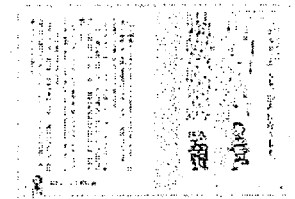
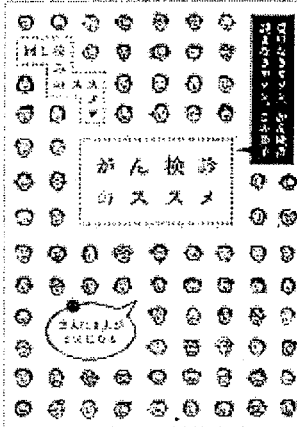
**推進パートナー企業へのお誘い**

**がん検診率向上のための企業アクションプラン**

**がん検診率向上のための企業アクションプラン**

- (左) 小冊子の配布 (企業規模に応じて一定部数無料配布: 上限 3,000 部)  
【文庫サイズ/56 ページ/オールカラー】

- (右) ポスター【B3サイズ】



- ちらし【両面カラー/A4サイズ】

**がん検診 ススメ**

「がん検診」のススメ。がん検診は、がんを早期発見するための大切な手段です。がん検診を受けることで、がんを早期発見し、治療のチャンスを増やせます。

**がんを知っていますか？**

日本人の2人に1人が、がんに罹ります。がんは、細胞のコピーミスから作られます。がんは、早期発見すれば、治療のチャンスが増えます。がん検診は、1日に3000部もできます。がんは、見つかるまでに10年から20年かかります。

**受けなきヤソン！がん検診**

早期に受ければがんは治癒します。がん検診は、がんを早期発見するための大切な手段です。がん検診を受けることで、がんを早期発見し、治療のチャンスを増やせます。

**がんの診断法は、自分で選ぶことができます。**

がん検診は、がんを早期発見するための大切な手段です。がん検診を受けることで、がんを早期発見し、治療のチャンスを増やせます。

**受けなきヤソン！この冊子**

がん検診のススメ。がん検診は、がんを早期発見するための大切な手段です。がん検診を受けることで、がんを早期発見し、治療のチャンスを増やせます。

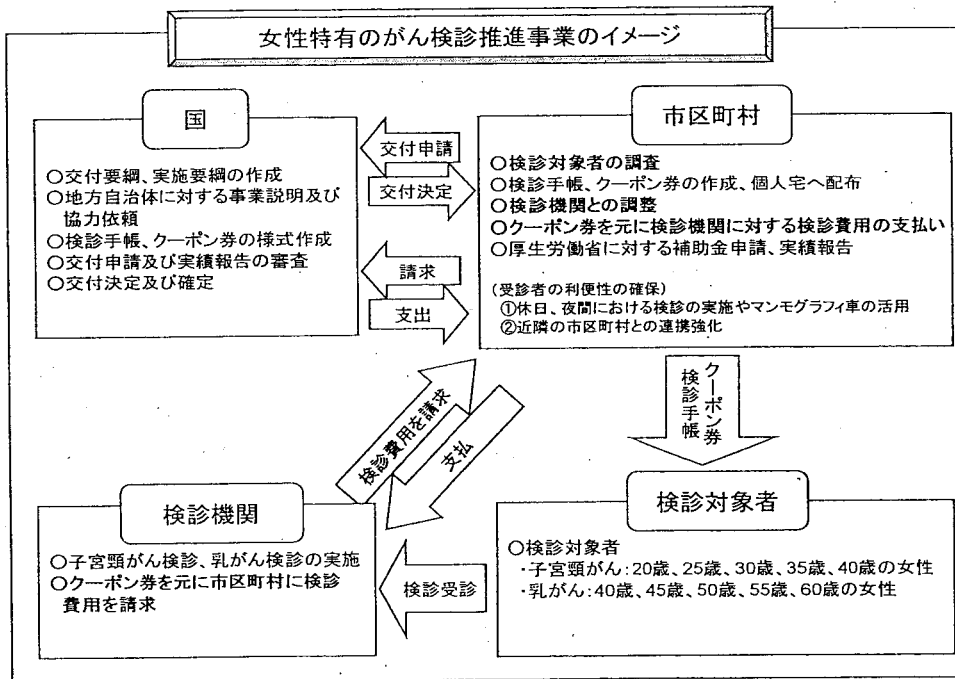
がん検診企業アクション事務局  
www.gankanshin.jp

平成21年度補正予算額 216億円

【事業概要】

市区町村が一定の年齢に達した女性に対し、子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券及び検診手帳を配布することにより、検診受診率の向上を図る事業に対して財政支援を行う。

- 対象年齢：
  - 子宮頸がん検診（20歳、25歳、30歳、35歳及び40歳）
  - 乳がん検診（40歳、45歳、50歳、55歳及び60歳）
- 経費：補助金
- 補助先：市区町村
- 補助率：検診費（10/10）、事務費（10/10）



平成22年度概算要求額 114億円

- 対象年齢、経費、補助先：変更なし
  - 補助率：検診費（10/10）、事務費（1/2）
- ※ 検診費用については、がん検診受診率50%を目標として、地方交付税措置による受診率約20%の差分である約30%分相当を補助対象とした。
- また、事務費については、市区町村に応分の負担を求めることとし、補助率を1/2とした。

## 女性特有のがん検診推進事業について(平成21年9月1日現在)

1 全市区町村数 1797 市区町村

2 事業実施数 1770 市区町村

### (1)クーポン券等の配布状況

- ・8月末時点配布済 609 市区町村
- ・9月中配布予定 723 市区町村 9月1日配布済 120件を含む。
- ・10月配布予定 391 市区町村
- ・11月以降配布予定 47 市区町村

### (2)予算措置状況

- ・補正予算措置済 984 市区町村
- ・9月補正予定 645 市区町村
- ・10月補正予定 10 市区町村
- ・12月補正予定 47 市区町村
- ・3月補正予定 10 市区町村
- ・流用、予備費を予定 73 市区町村

3 未実施数 27 市区町村

都道府県	市区町村名					
福島県	矢祭町					1
群馬県	上野村	片品村				2
千葉県	旭市	神崎町				2
東京都	利島村	八丈町	青ヶ島村			3
長野県	川上村	茅野市	下諏訪町	原村		4
静岡県	御殿場市	牧之原市	南伊豆町	小山町	吉田町	5
奈良県	天川村	野迫川村				2
鳥取県	日野町					1
山口県	和木町					1
高知県	梼原町					1
熊本県	美里町					1
鹿児島県	喜界町	和泊町	知名町	与論町		4
						27

### ○未実施の主な理由

- ・本事業は補正予算で計上された単年度事業ということで、一部の住民しか対象とならないことは不公平感が強く生まれるため。
- ・既に無料検診を実施している。
- ・既に今年度の検診は終了しており、自己負担分の返還だけとなってしまう。
- ・本事業の対象者に偶数年齢と奇数年齢が入っていることから、市区町村で行っている隔年実施と整合性がとれず、混乱するおそれがあるため。